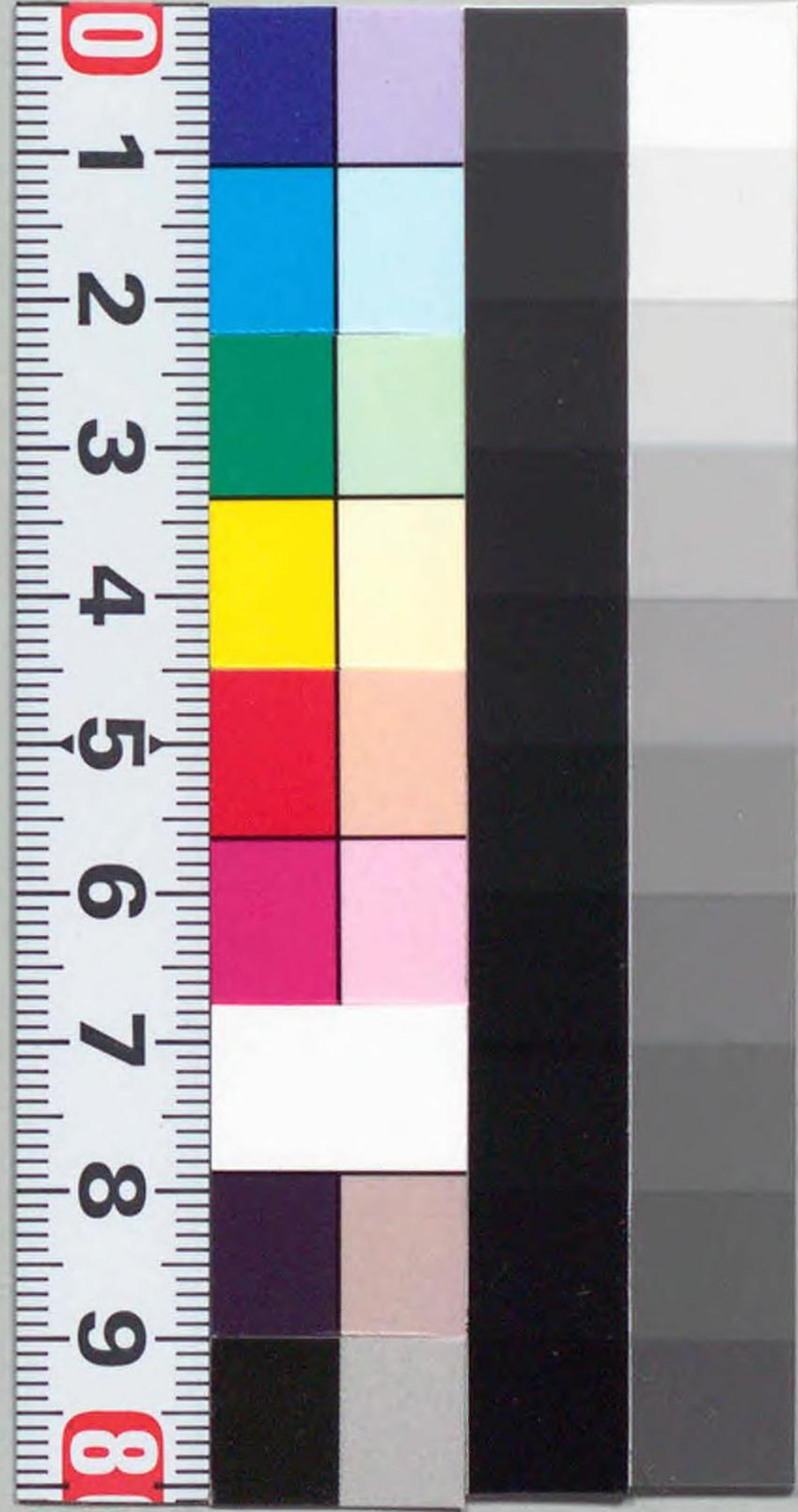


CZ-451-012



1200901599350

14.
7
426

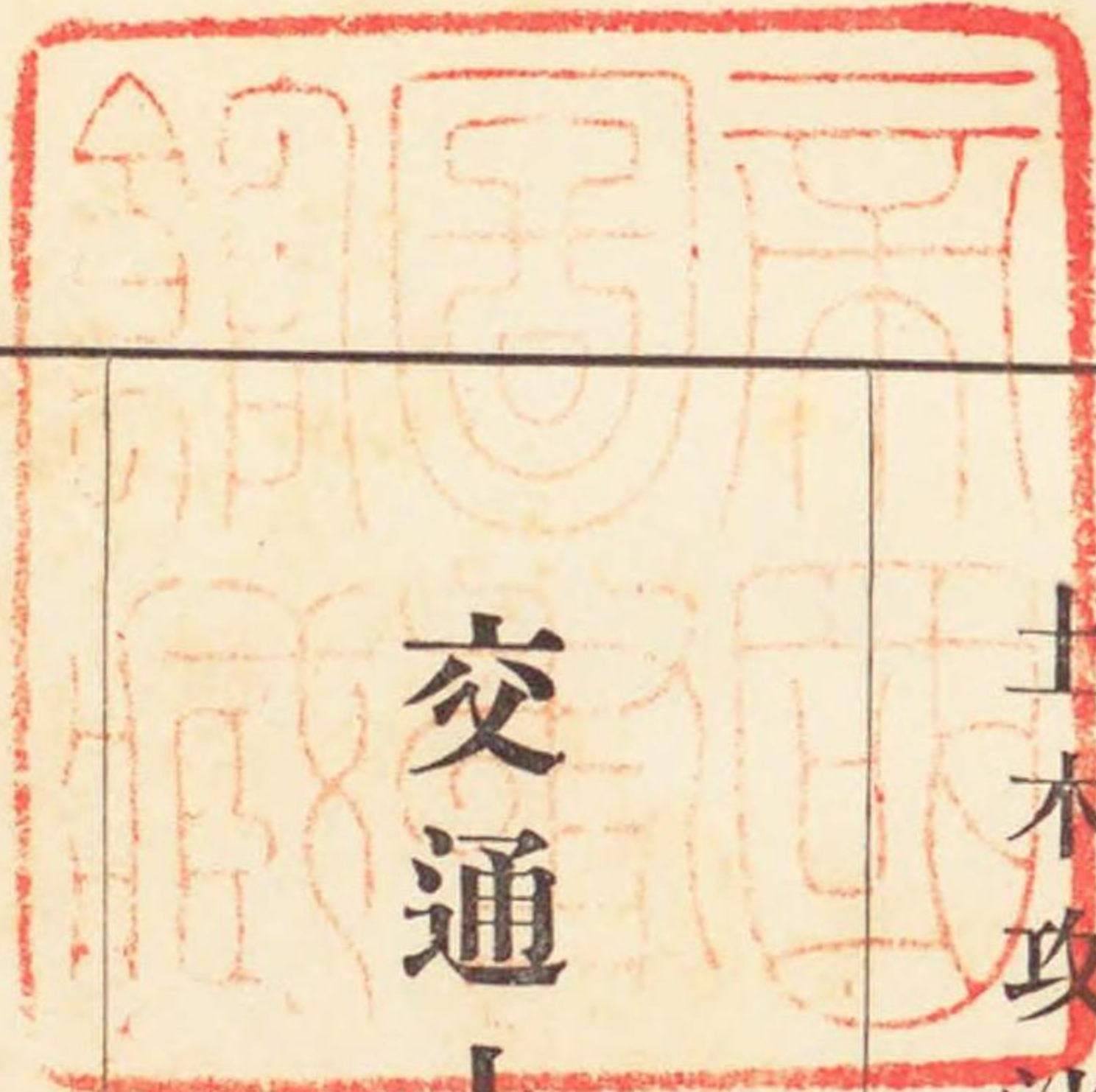


441

土木攻法會編纂

交通土木法規總攬

東京常磐書房



14.7-426

C.2
451
0/2

軌道
鐵道
道路
無軌條電車
自動車專用道路
自動車保護
自動車取締



附錄

土地收用
要塞地帶法
鐵道船舶郵便法
登錄稅法
警視廳交通取締規則
警視廳自動車施行細則

軌

道

軌道目次

目次

軌道法(大正十年四月十四日法律第七六號)……………一

軌道法施行規則(大正十二年十二月二十日內務、鐵道兩省令)……………二〇

軌道法第一條第二項ノ規定ニ依ル一般交通ノ用ニ供セサル軌道ニ關スル件(大正十二年十二月二十九日內務省令第四五號)……………二三

軌道敷設若ハ變更ノ際陸軍省ヘ協議ノ件(大正三年四月二十八日陸軍次官照會陸軍省第一二五三號)……………二四

軌道敷設特許失效其ノ他ノ場合ニ陸軍省ヘ通牒ノ件(明治四十年三月二十日陸軍省第二七號內務次官回答)……………二四

併用軌道敷維持修繕費用負擔ニ關スル件(大正十四年七月二十二日山梨縣知事宛土木、監督兩局長回答)……………二五

軌道建設規程(大正十二年十二月二十日內務、鐵道省令)……………二六

軌道ヲ敷設スヘキ道路幅員ニ關スル件(明治四十年十月十二日陸軍省第九號陸軍大臣宛內務大臣回答)……………二六

軌道車輛手用制動機省略ニ關スル件(大正十四年十二月十一日監規第二二八九號各地方長官宛監督、土木兩局長通牒)……………二六

軌道用車輛ニ關スル内規(内務省土木局).....三三

軌道運輸規程(大正十二年十二月二十).....三三

軌道運輸規程(九日鐵道省令第四號).....三三

軌道運轉信號保安規程(大正十二年十二月二十).....三三

軌道運轉信號保安規程(九日鐵道省令第五號).....三三

軌道連結車輛ノ制限ニ關スル件(大正四年四月二十六日閣議提).....三三

軌道ノ車輛連結延長陸軍省ヘ協議ノ件(大正五年四月二十一日監).....三三

軌道ノ車輛進行速度ニ關スル件(大正九年十一月十日監軌第九四八號).....三三

軌道係員規程(大正十二年十二月二十).....三三

軌道係員規程(九日鐵道省令第六號).....三三

軌道會計規程(大正十二年十二月二十).....三三

電氣軌道ニシテ電氣事業法ニ依リ許可認可失效等ノ場合通牒方ノ件(明治四十五年一月八日監乙第一七四二號遞).....三五

軌道法第二十五條ノ規定ニ依ル職權委任ニ關スル件(大正十二年十二月二十).....三五

軌道取締ニ關スル件(大正十三年三月二十二日乙第七號福).....三五

電車停留場廢止手續ニ關スル件(大正十三年十一月十八日京鐵第一八號).....三五

軌道事務取扱ニ關スル件(大正十四年七月二十八日第一二三號北海道廳).....三五

大正十二年内務、鐵道省令軌道法第二十五條ノ規定ニ依ル市ヲ指定ノ件(大正十二年十二月二十九日內務省告示第四〇四號).....三五

軌道法施行ニ關スル件(大正十二年十二月二十日發甲第一).....三六

軌道法施行期日ノ件(大正十二年十二月十).....三六

軌道法解釋ニ關スル件(大正十四年三月十日一三乙第一二六號).....三六

軌道法疑義ノ件(大正十三年八月二十九日鐵第一二號).....三六

御陵墓附近ヘ建造物及取締ノ件(明治三十年三月二十三日).....三六

御陵墓附近ヘ電車鐵道敷設方ノ件(明治四十四年十一月十日警普第八).....三六

電氣軌道ノ原動力ノ方式ニ關スル件(大正七年三月二十日三特甲第七二九號).....三六

市内軌道ニ單線架空式軌道敷設ノ件(大正七年三月二十日三特甲第七二九號).....三七

軌道事務取扱ニ關スル件 (大正十三年七月一月内務省靜土第一一五) 七〇

軌道敷設工事方法變更ニ付公共團體ノ議會ノ意見ニ關スル件 (大正十五年一月二十日香土第三三號) 七二

軌道工事著手及竣工報告ノ件 (大正十三年八月七日發土第三三號各) 七二

軌道ニ關スル書類ニ通送付ノ件 (明治四十一年十一月十八日鐵第六八七號) 七三

軌道取扱ニ關スル件 (大正十四年三月三十日發甲第五號) 七三

軌道事務取扱ニ關スル件 (大正十五年六月於土) 七三

軌道法施行規則ノ各樣式 七七

軌道營業報告書樣式ノ件 (大正十四年六月十三日鐵道、内務省告示) 九一

軌道統計報告書樣式ノ件 (大正十四年六月十三日鐵道、内務省告示) 九一

軌道營業報告書樣式及軌道統計報告書樣式制定ノ件 (大正十四年六月二十九日監軌第一二九四號) 九一

軌道表ニ關スル件 (大正十四年六月十三日發甲第一五號各地方長官宛土木局長通牒) 九二

鐵道船舶郵便法及鐵道船舶郵便規則ヲ軌道法ニ依ル運送業者ニ準用ノ件 (大正八年四月二十六日遞信省令第二一號) 一〇九

軌道ノ抵當ニ關スル法律 (明治四十二年四月十日法律第二八號) 一一〇

軌道抵當取扱規則 (明治四十二年七月二日閣令第六號) 一一一

軌道抵當法取扱ニ關スル件 (明治四十二年十二月二十八日閣甲第五四號) 一一三

登錄稅法第三條ノ二ニ依ル輕便鐵道及軌道ノ抵當原簿登錄稅額報告方ノ件 (大正八年三月八日藏第二四八七號) 一一四

監督局長宛大藏省主稅局長照會 一一四

軌道法

(大正十年四月十四日) 法律第七六號

第一條 本法ハ一般交通ノ用ニ供スル爲敷設スル軌道ニ之ヲ適用ス
一般交通ノ用ニ供セサル軌道ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

◎軌道法第一條第二項ノ規定ニ依ル一般交通ノ用ニ供セサル軌道ニ關スル件

第二條 軌道ハ特別ノ事由アル場合ヲ除クノ外之ヲ道路ニ敷設スヘシ

第三條 軌道ヲ敷設シテ運輸事業ヲ經營セムトスル者ハ主務大臣ノ特許ヲ受クヘシ

◎軌道敷設若ハ變更ノ際陸軍省ヘ協議ノ件 (大正三年四月二十八日陸軍) 二四
次官照會陸普第一二五三號

◎軌道敷設特許失效其ノ他ノ場合ニ陸軍省ヘ通牒ノ件 (明治四十年三月二十日陸) 二四
甲第二七號內務次官回答

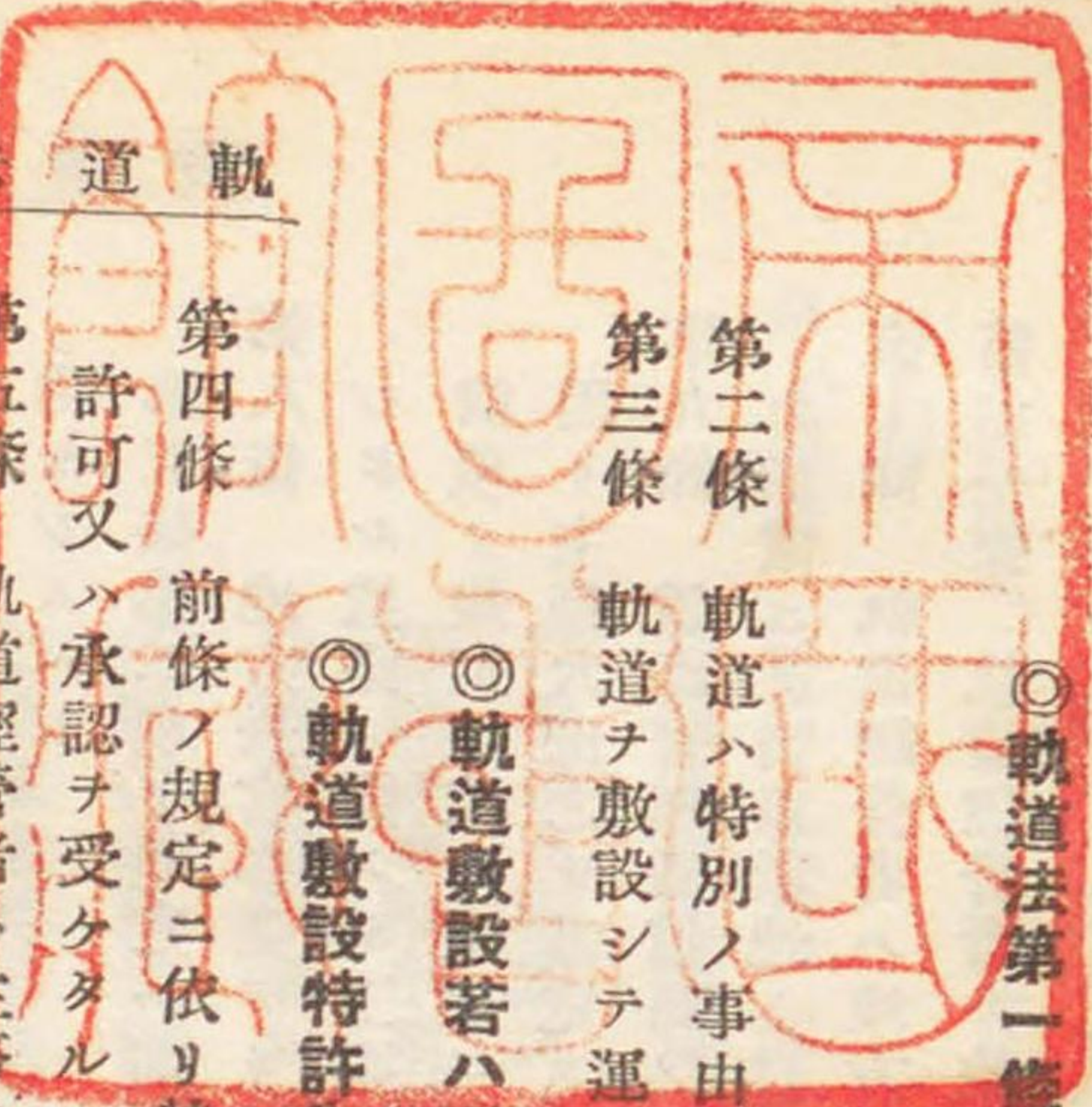
第四條 前條ノ規定ニ依リ特許ヲ受ケタル軌道經營者ハ軌道敷設ニ要スル道路ノ占用ニ付道路管理者ノ
許可又ハ承認ヲ受ケタルモノト看做ス此ノ場合ニ於ケル道路ノ占用料ニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依ル

第五條 軌道經營者ハ主務大臣ノ指定スル期間内ニ工事施行ノ認可ヲ申請スヘシ

天災事變其ノ他已ムコトヲ得サル事由ニ因リ前項ノ期間内ニ工事施行ノ認可ヲ申請スルコト能ハサル
場合ニ於テハ其ノ期間ノ伸長ヲ申請スルコトヲ得

軌道法

1



第六條 軌道經營者工事施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ道路ニ關スル工事ニ付道路管理者ノ許可又ハ承認
ヲ受ケタルモノト看做ス河川法、砂防法及之ニ基キテ發スル命令ニ依ル許可又ハ認可ニ付亦同シ

第七條 軌道經營者工事施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ主務大臣ノ指定スル期間内ニ工事ニ著手シ之ヲ竣
功セシムヘシ

第五條第二項ノ規定ハ前項ノ期間ニ付之ヲ準用ス

第八條 地方長官必要アリト認ムルトキハ道路管理者ヲシテ道路ニ敷設スル軌道工事及之ヲ爲必要ヲ生
シタル道路ニ關スル工事ノ全部又ハ一部ヲ執行セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル工事ニ要スル費用ノ負擔ニ付道路管理者及軌道經營者ノ協議調ハサルトキハ申請ニ
因リ主務大臣之ヲ裁定ス

第九條 道路管理者道路ノ新設又ハ改築ノ爲必要アリト認ムルトキハ軌道經營者ノ新設シタル軌道敷地
ヲ無償ニテ道路敷地ト爲スコトヲ得

第十條 軌道經營者ハ地方長官ノ認可ヲ受ケルニ非サレハ運輸ヲ開始スルコトヲ得ス

第十一條 軌道經營者ハ旅客及荷物ノ運賃其ノ他運輸ニ關スル料金並運輸時刻ヲ定メ主務大臣ノ認可ヲ
受クヘシ

主務大臣ハ公益上必要アリト認ムルトキハ運賃、料金又ハ運輸時刻ノ變更ヲ命スルコトヲ得

第十二條 軌道經營者ハ軌條間ノ全部及其ノ左右各二尺ヲ限リ道路ノ維持及修繕ヲ爲スヘシ
地方長官必要アリト認ムルトキハ道路管理者ヲシテ前項ノ維持及修繕ヲ爲サシムルコトヲ得此ノ場合

ニ於ケル費用ノ負擔ニ付テハ第八條第二項ノ規定ヲ準用ス

第九條ノ規定ニ依リ道路敷地ト爲シタルモノニ付テハ第一項ノ維持及修繕ハ道路管理者之ヲ爲スヘシ

◎併用軌道敷維持修繕費用負擔ニ關スル件 (大正十四年七月二十二日山梨縣) 二五

第十三條 主務大臣又ハ地方長官ハ監督上必要アリト認ムルトキハ軌道經營者ヲシテ帳簿、書類及圖面
ヲ提出セシメ又ハ監査員ヲ派遣シテ軌道ノ設備、事業ノ狀況並會計及財産ノ實況ヲ監査セシムルコト
ヲ得

第十四條 軌道ノ建設、運輸、運轉、係員及會計ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

◎軌道建設規程 (大正十二年十二月二十) 二六

◎軌道ヲ敷設スヘキ道路幅員ニ關スル件 (明治四十年十月十二日陸甲第九) 三六

◎軌道車輛手用制動機省略ニ關スル件 (大正十四年十二月十一日監軌第二二八九) 三六

◎軌道用車輛ニ關スル內規 (內務省) 三七

◎軌道運輸規程 (大正十二年十二月二十) 四二

◎軌道運輸信號保安規程 (大正十二年十二月二十) 四五

◎軌道連結車輛ノ制限ニ關スル件 (大正四年四月二十六日閣議提出) 五六

◎軌道ノ車輛連結延長陸軍省ヘ協議ノ件 (大正五年四月二十一日閣議決定) 五七

◎軌道ノ車輛進行速度ニ關スル件(大正九年十一月十日監軌第九四八號) 五七
兵庫縣知事宛土木、監督兩局長回答

◎軌道係員規程(大正十二年十二月二十) 五八
九日鐵道省令第六號

◎軌道會計規程(大正十二年十二月二十) 五九
九日鐵道省令第七號

第十五條 軌道經營者ハ主務大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ニ限り特許ニ因リテ生スル權利義務ヲ他人ニ讓渡スコトヲ得

第十六條 軌道經營者ハ主務大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ニ限り軌道ノ讓渡又ハ事業若ハ運轉ノ管理ノ委託若ハ受託ヲ爲スコトヲ得

第十七條 軌道經營者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ主務大臣ノ認可ヲ受ケルニ非サレハ軌道ノ附屬物件ノ讓渡又ハ貸渡ヲ爲スコトヲ得ス

第十八條 國又ハ公共團體ニ於テ公益上ノ必要ニ因リ軌道ノ全部又ハ一部及其ノ附屬物件ヲ買收セムトスルトキハ軌道經營者ハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第十九條 地方鐵道法第三十一條乃至第三十五條ノ規定ハ國ニ於テ前條第一項ノ規定ニ依ル買收ヲ爲ス場合ニ於テ第一項ノ規定ニ依ル買收ヲ爲ス場合ニ於テハ軌道經營者ハ兼業ニ屬スル資産及軌道經營ニ必要ナル貯藏物品ヲ買收セムトスルトキハ軌道經營者ハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第二十條 公共團體力第十八條第一項ノ規定ニ依ル買收ヲ爲ス場合ニ於テ公益上ノ必要ニ因リ兼業ニ屬スル資産及軌道經營ニ必要ナル貯藏物品ヲ買收セムトスルトキハ軌道經營者ハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第二十一條 軌道會社ハ株金全額拂込前ト雖主務大臣ノ認可ヲ受ケ線路ノ延長又ハ改良ノ費用ニ充ツル爲其ノ資本ヲ增加スルコトヲ得

第二十二條 軌道會社ハ地方鐵道會社ニ非サル會社カ兼業トシテ軌道ヲ敷設スル場合ニハ之ヲ適用セス

第二十三條 左ノ場合ニ於テハ特許ハ其ノ效力ヲ失フ

一 工事施行ノ認可申請期間内ニ認可ヲ申請セサルトキ

二 工事施行ノ認可ヲ受ケサルトキ

三 事業廢上ノ許可ヲ受ケタルトキ

四 特許ヲ受ケタル者會社ノ發起人ナルトキハ工事施行ノ認可申請期間内ニ會社設立ノ登記ヲ爲サザ

ルトキ

◎電氣軌道ニシテ電氣事業法ニ依リ許可認可失效等ノ場合通牒方ノ件

(明治四十五年一月八日監乙第一七四二) 五九
號電氣局長宛監理部長、土木局長回答)

第二十四條

軌道經營者軌道ニ關スル工作物ノ使用ヲ廢止シタルトキハ地方長官ノ指示スル所ニ從ヒ道路ヲ原狀ニ回復スヘシ

地方長官必要アリト認ムルトキハ軌道經營者ノ負擔ニ於テ道路管理者ヲシテ前項ノ規定ニ依ル工事ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十五條 本法ニ規定スル主務大臣ノ職權ノ一部ハ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ地方長官ニ委任スルコトヲ得

◎軌道法第二十五條ノ規定ニ依ル職權委任ニ關スル件 (大正十二年十二月二十) 五九
(九日內務、鐵道省令)

◎軌道取締ニ關スル件 (大正十三年三月二十二日乙第七號) 六二
(福岡縣知事宛土木、監督兩局長回答)

◎電車停留場廢止手續ニ關スル件 (大正十三年十一月十八日京鐵第一八號) 六三
(各地方長官宛土木、監督兩局長通牒)

◎軌道事務取扱ニ關スル件 (大正十四年七月二十八日第一二三號北海道) 六三
(廳長官各府縣知事宛土木、監督兩局長通牒)

◎大正十二年內務、鐵道省令軌道法第二十五條ノ規定ニ依ル市ヲ指定ノ件 (大正十二年十二月二十九日) 六三
(內務省告示第四〇四號)

◎軌道法施行ニ關スル件 (大正十二年十二月二十日發甲第一) 六四
(一號各地方長官宛土木局長通牒)

第二十六條 地方鐵道法第七條第二項第三項、第八條第一項、第十條第二項、第十一條、第十五條、第十七條、第十九條第二項、第二十三條第二項第三項、第二十五條、第二十七條、第三十條第二項及第三十六條ノ規定ハ軌道ニ之ヲ準用ス但シ地方鐵道法第七條第三項及第八條第一項中鐵道抵當法トアルハ明治四十二年法律第二十八號トス

第二十七條 軌道經營者カ法令若ハ法令ニ基キテ爲ス命令又ハ特許、許可若ハ認可ニ附シタル條件ニ違反シ其ノ他公益ヲ害スル行爲ヲ爲シタルトキハ主務大臣ハ左ノ處分ヲ爲スコトヲ得

一 取締役其ノ他ノ役員ヲ解任スルコト
二 他人ヲシテ軌道經營者ノ計算ニ於テ必要ナル施設又ハ事業ノ管理ヲ爲サシムルコト
三 特許ノ全部又ハ一部ヲ取消スコト

前項ノ規定ニ依リテ解任セラレタル取締役其ノ他ノ役員ハ再任セラレルコトヲ得ス

第一項第二號ノ規定ニ依リ事業ノ管理ヲ爲ス者ハ其ノ管理ニ付主務大臣ニ對シ當該軌道經營者ト共ニ其ノ責ニ任ス

第二十八條 特許ヲ受ケスシテ軌道ヲ敷設シ又ハ認可ヲ受ケスシテ運輸ヲ開始シタル者ハ百圓以上二千圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十九條 左ノ場合ニ於テハ軌道經營者又ハ其ノ役員若ハ使用人ヲ十圓以上千圓以下ノ過料ニ處ス
一 前條ノ場合ヲ除クノ外本法ニ依リ許可又ハ認可ヲ受クヘキ事項ヲ許可又ハ認可ヲ受ケスシテ爲シタルトキ

二 法令ニ基キテ爲シタル命令又ハ特許、許可若ハ認可ニ附シタル條件ニ基キテ爲シタル命令ニ違反シタルトキ

三 監査員ノ職務ノ執行ヲ妨ケタルトキ

四 法令又ハ法令ニ基キテ爲ス命令ニ依リテ爲スヘキ届出、報告其ノ他ノ書類圖面ノ提出若ハ調製ヲ怠リ又ハ虚偽ノ届出、報告若ハ記載ヲ爲シタルトキ

非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前項ノ過料ニ之ヲ準用ス

第三十條 前二條ノ規定ハ公共團體力軌道ヲ經營スル場合ニ之ヲ適用セス

第三十一條 本法ハ一般交通ノ用ニ供スル軌道ニ準スヘキモノニ之ヲ準用ス

前項ノ軌道ニ準スヘキモノハ命令ヲ以テ之ヲ定ム
第三十二條 國ニ於テ軌道ヲ敷設シテ運輸事業ヲ經營セムトスルトキハ當該官廳ハ主務大臣ニ協議ヲ爲スヘシ其ノ工事施行ニ付亦同シ

國ニ於テ經營スル軌道ニ付テハ第二條、第十二條第一項、第十四條及第二十四條第一項ノ規定ヲ除クノ外本法ヲ適用セス但シ第十四條中軌道ノ係員及會計ニ付テハ此ノ限ニ在ラス
第一項ノ規定ニ依リ主務大臣ニ協議ヲ了シタルトキハ第四條及第六條ノ規定ヲ準用ス

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

◎軌道法施行期日ノ件 (大正十二年十二月十日勅令第五〇八號) 六四

軌道條例ハ之ヲ廢止ス

舊法ニ依リテ爲シタル特許、認可、處分、手續其ノ他ノ行爲ハ本法中之ニ相當スル規定アル場合ニ於テハ本法ニ依リテ之ヲ爲シタルモノト看做ス但シ其ノ特許、認可其ノ他ノ處分ニ附シタル條件ニシテ本法ニ牴觸スルモノハ其ノ效力ヲ失フ

他ノ法令中軌道條例トアルハ軌道法トス

◎軌道法解釋ニ關スル件

(大正十四年三月十日一三乙第一二六號) 六四
福岡縣知事宛土木、監督兩局長回答

◎軌道法施行規則(大正十二年十二月二日)

(十日內務、鐵道省令)

第一條 軌道ノ特許申請書ニハ左ノ書類及圖面ヲ添附スヘシ

一 起業目論見書

二 線路豫測圖

三 建設費概算書(第一號様式)

四 運輸事業ノ收支概算書(第二號様式)

軌道ヲ道路ニ敷設スルコトヲ得サル場合ニ在リテハ其ノ事由書ヲ前項申請書ニ添附スヘシ

第二條 起業目論見書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 目的(旅客運送、荷物運送ノ別)

二 商號又ハ名稱、主タル事務所ノ設置地

三 軌道事業ニ要スル資金ノ總額及其ノ出資方法

四 線路ノ起終點及併用軌道ノ始終點ノ地名、地番並其ノ經過市町村名

五 軌道ヲ敷設スヘキ道路ノ種類毎ノ延長、一般幅員及計畫幅員

六 線路ノ延長及單線複線等ノ別

七 軌間及車輛ノ最大幅員

八 動力(人力、馬力、蒸汽、電氣等ノ別)、電氣ヲ動力トスルモノニシテ自ラ發電設備ヲ有スルモノニ

在リテハ原動力ノ種類(火力、水力ノ別)、他ヨリ電力ノ供給ヲ受ケルモノニ在リテハ供給者名

第三條 線路豫測圖ハ縮尺二萬五千分一以上ノ平面圖トシ線路ノ經過市町村名、地形、一キロメートル

又ハ半哩毎及單線複線等ノ分界點ノキロメートル程又ハ哩程、道路ノ種類並沿線人家連檐ノ狀況ヲ記

シ縮尺、方位ヲ示スヘシ

第四條 地方長官特許申請書ヲ受付タルトキハ期限ヲ指定シ軌道敷設ニ關シ關係道路管理者ノ意見ヲ徵スヘシ

道路管理者ハ前項ノ意見ヲ決定スルニ付期限ヲ指定シ道路ニ關スル費用ヲ負擔スル公共團體ノ議會ノ意見ヲ徵スヘシ

前二項ノ場合ニ於テ期限内ニ意見ヲ答申セサルトキハ直ニ之ヲ處理スルコトヲ得

第五條 地方長官ハ特許申請書ニ左ノ事項ニ關スル調査書ヲ添ヘ特許ノ許否ニ關スル意見ヲ附シ之ヲ進達スヘシ

一 申請者ノ資産及信用程度

二 事業ノ成否

三 事業ノ效果

四 道路管理者ノ意見

五 他ノ鐵道又ハ軌道(未開業ノ鐵道又ハ軌道ヲ含ム)ニ及ホス影響

六 他ノ鐵道又ハ軌道ノ競願アルトキハ其ノ鐵道又ハ軌道ノ名稱、區間、申請者名及申請書ノ受付年

月日

第六條 工事施行ノ認可ヲ受クル前ニ於テ起業目論見書ノ記載事項ヲ變更セムトスルトキハ内務大臣及鐵道大臣ノ認可ヲ受クヘシ但シ商號又ハ名稱、主タル事務所ノ設置地及電力供給者ノ變更ハ之ヲ届出ツヘシ

前項ノ場合ニ於テ記載事項ノ變更カ道路ニ重大ナル關係ヲ有スルトキハ第四條ノ規定ヲ準用ス

第七條 工事施行認可申請書ニハ左ノ書類及圖面ヲ添附スヘシ

一 線路實測圖

二 工事方法書

三 建設費豫算書(第三號様式)

四 特許ヲ受ケタル者會社ノ發起人ナルトキハ定款及會社設立登記謄本

第八條 線路實測圖ハ左ノ三種トス

一 平面圖

縮尺ハ二千五百分一以上トシ線路ノ左右各四十メートル又ハ二十間以内ノ地形ヲ明ニシ道路ノ種類、軌道ノ中心線、線路ノ單線複線等ノ分界點ノキロメートル程又ハ哩程、道路水路等ノ附換、人家連檐又ハ連檐スヘキ箇所、行政區劃ノ境界、縮尺及方位ヲ示スヘシ

線路ノ中心線ニハ二百メートル又ハ八分一哩毎ニキロメートル程又ハ哩程ヲ記シ曲線ノ半徑、交角、停留場ノ位置、名稱及中心キロメートル程又ハ哩程ヲ記スヘシ

二 縱斷面圖

縮尺ハ横平面圖ト同一、縱二百分の一以上トシ中心線ノ地盤高及施工基面高ヲ二十メートル又ハ一鎖毎ニ記シ隧道ノ長、橋梁溝橋ノ徑間及徑間數、桁ノ種類及材質、停留場ノ名稱及中心キロメートル程又ハ哩程、交通頻繁ナル踏切道並線路ノ勾配ヲ記シ縮尺ヲ示スヘシ

三 軌道ヲ敷設スル道路ノ橫斷定規圖

軌道ノ中心、車道歩道ノ區別、橫斷勾配、路上建設物ノ位置、車體外有效幅員ヲ記スヘシ

第九條 工事方法書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 動力

二 軌間

三 單線、複線等ノ別

四 軌道中心間隔

五 最小曲線半徑及最急勾配

六 土工定規(新設軌道ニ限ル)

七 橋梁、溝橋

八 隧道

九 軌條、轉轍器、轍又及枕木

十 停留場

- 十一 踏切ノ構造(圖面ニ依リ明示スルコト)
 - 十二 他ノ軌道又ハ鐵道トノ交叉方法
 - 十三 閉塞信號機
 - 十四 車輛
 - 十五 特殊設計
- 電氣ヲ動力トスルモノニ在リテハ前項ノ外左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 送電系統
 - 二 電氣軌道ノ方式
 - 三 發電所、變壓所、蓄電所及配電所
 - 四 送電線路及饋電線路
 - 五 電車線路
 - 六 電氣機關車及電車
 - 七 軌道ノ動力トシテ他ヨリ電力ノ供給ヲ受ケル場合
 - (イ)供給電力ノ電氣方式、最大電壓、容量及受給時間
 - (ロ)送電上ノ責任分界點、電氣工作物ノ所有權分界點(圖面ニ依リ明示スルコト)
 - (ハ)受電設備ノ大要(圖面ヲ添附シ説明スルコト)
- 地方鐵道法施行規則第十二條ノ規定ハ前二項ニ規定スル事項ノ記載方法ニ之ヲ準用ス

- 併用軌道ニ在リテハ前三項ニ規定スルモノヲ除クノ外左ノ事項ヲ記載スヘシ
- 一 道路ノ種類毎ニ區別セル併用軌道ノ延長及其ノ始終點ノ地名、地番
 - 二 軌道ノ構造及道路ノ鋪裝(圖面ニ依リ明示スルコト)
 - 三 軌道ノ排水設備(圖面ニ依リ明示スルコト)

第十條 地方長官工事施行認可申請書ヲ受付タルトキハ軌道工事ニ關シ關係道路管理者ノ意見ヲ徵シ認可ノ可否ニ關スル意見ヲ附シ之ヲ進達スヘシ

第四條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

- ◎御陵墓附近へ建造物及取締ノ件 (明治三十年三月二十三日) 六八
- ◎御陵墓附近へ電車鐵道敷設方ノ件 (明治四十四年十一月十日警普第八) 六八
- ◎電氣軌道ノ原動力ノ方式ニ關スル件 (大正七年三月二十日三特甲第七二九號) 六九
- ◎市内軌道ニ單線架空式軌道敷設ノ件 (大正七年三月二十日三特甲第七二九號) 七〇
- ◎軌道事務取扱ニ關スル件 (大正十三年七月一日內務省靜土第一一五) 七〇

第十一條 工事施行ノ認可ヲ受ケタル後線路ヲ變更セムトスルトキハ第八條ノ規定ニ準シ線路實測圖(新舊對照圖添附)ヲ、工事方法書ノ記載事項ヲ變更セムトスルトキハ第九條ノ規定ニ準シ變更セムト

スル事項ニ關スル工事方法書(停留場ノ變更ニ在リテハ新舊對照圖添附)ヲ作製シ其ノ事由ヲ具シ内務大臣及鐵道大臣ノ認可ヲ受ケヘシ
前項ノ認可申請書ニハ工費豫算書ヲ添附シ工費支出ノ途ヲ明ニスヘシ但シ重要ナラサル變更ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

◎軌道敷設工事方法變更ニ付公共團體ノ議會ノ意見ニ關スル件

(大正十五年一月二十日香土第三) 七一
(六號香川縣知事宛土木局長回答)

第十二條 工事施行又ハ前條第一項ノ認可申請書ヲ提出スルトキハ同時ニ軌道敷設ノ爲ニスル道路及河川ノ占用面積圖ヲ地方長官ニ提出スヘシ
工事施行又ハ前條第一項ノ認可アリタルトキハ地方長官其ノ旨ヲ道路又ハ河川管理者ニ通知シ前項ノ占用面積圖ヲ添附スヘシ

第十三條 軌道經營者工事ニ着手シ又ハ之ヲ竣功セシメタルトキハ遲滞ナク地方長官ニ届出ツヘシ
前項ノ届出ヲ受ケタルトキハ地方長官ハ遲滞ナク之ヲ内務大臣及鐵道大臣ニ報告スヘシ

◎軌道工事着手及竣工報告ノ件

(大正十三年八月七日發土第三三號) 七二
(各地方長官宛土木、監督兩局長通牒)

第十四條 地方長官軌道法第八條ノ規定ニ依リ道路管理者ヲシテ工事ヲ執行セシムトスルトキハ道路管理者及軌道經營者ノ意見ヲ徵シ事由ヲ具シ左ノ書類ヲ添附シ内務大臣及鐵道大臣ノ認可ヲ受ケヘシ

一 工事設計書

二 工費豫算書

三 工費負擔調書

四 道路ニ關スル費用ヲ負擔スル公共團體ノ當該年度歲入出豫算書

第十五條 地方長官前條ノ認可ヲ受ケタルトキハ工事ノ設計、着手及竣功ノ期限並工費豫算書ヲ道路管理者ニ示シ工事ヲ執行セシメ軌道經營者ニ之ヲ通知スヘシ

道路管理者工事ヲ竣功セシメタルトキハ遲滞ナク工事竣功調書及工費精算書ヲ作製シ地方長官ニ報告シ軌道經營者ニ通知スヘシ

第十六條 道路管理者軌道法第九條ノ規定ニ依リ軌道敷地ヲ道路敷地ト爲サムトスルトキハ其ノ事由及區間ヲ記載シ工事設計書ヲ添附シ内務大臣及鐵道大臣ノ認可ヲ受ケヘシ此ノ場合ニ於テハ道路管理者ハ軌道經營者ノ意見ヲ徵シ之ヲ申請書ニ附記スヘシ

道路管理者前項ノ認可ヲ受ケタルトキハ遲滞ナク道路敷地ト爲スヘキ區間ヲ示シ工事設計書ヲ添附シ其ノ旨ヲ軌道經營者ニ通知スヘシ

第十七條 地方長官運輸開始認可申請書ヲ受付タルトキハ工事ヲ檢查シ支障ナシト認メタル場合ニ限り運輸開始ヲ認可スヘシ

軌道經營者運輸ヲ開始シタルトキハ遲滞ナク其ノ旨ヲ鐵道大臣及地方長官ニ届出ツヘシ

第十八條 第十五條ノ規定ハ軌道法第十二條第二項及第二十四條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十九條 旅客運賃ノ認可申請書ニハキロメートル制又ハ哩制ニ在リテハ一キロメートル當又ハ一哩當ノ運賃、區間制ニ在リテハ區間ノ運賃、均一制ニ在リテハ均一運賃及運賃計算ノ方法ヲ記載シ鐵道大臣ニ之ヲ提出スヘシ

前項ノ申請書ニハキロメートル制又ハ哩制及區間制ニ在リテハ實測換算中心キロメートル程表又ハ哩程表(第四號様式)營業キロメートル程表又ハ哩程表(第五號様式)及旅客運賃表(第六號様式)ヲ添附スヘシ

第二十條 荷物運賃ノ認可申請書ニハ手荷物、荷物等ヲ區別シ其ノ品種等級ニ依リキロメートル制又ハ哩制ニ在リテハ一キロメートル當又ハ一哩當運賃、區間制ニ在リテハ區間ノ運賃、均一制ニ在リテハ均一運賃並運賃計算ノ方法ヲ記載シ鐵道大臣ニ之ヲ提出スヘシ

荷物運賃ニ關シ別ニ營業キロメートル程又ハ哩程ヲ制定セムトスルトキハ其ノ增加割合ヲ前項ノ申請書ニ記載シ其ノ計算方法ヲ附記シ荷物營業キロメートル程表又ハ哩程表(第七號様式)ヲ添附スヘシ

第二十一條 旅客運賃又ハ荷物運賃ヲ變更セムトスルトキハ其ノ事由ヲ具シ變更後ニ於ケル收支豫算書ヲ添附シ鐵道大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第二十二條 運輸ニ關スル料金ノ認可申請書ニハ其ノ種類及金額ヲ記載シ鐵道大臣ニ之ヲ提出スヘシ
運輸ニ關スル料金ヲ變更セムトスルトキハ其ノ事由ヲ具シ鐵道大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第二十三條 前四條ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケタル運賃又ハ料金ヲ實施シタルトキハ遲滞ナク其ノ月日ヲ鐵道大臣及地方長官ニ届出ツヘシ

第二十四條 運轉時刻ノ認可申請書ニハ發着時刻表ヲ添附スヘシ但シ左ノ事項ヲ記載シタル場合ニ於テハ之ヲ省略スルコトヲ得

一 運轉系統

二 各運轉系統ニ於ケル始發及終發時刻

三 各運轉系統ニ於ケルキロメートル程又ハ哩程、運轉所要時分及停車時分(新設軌道ト併用軌道ト其ノ平均運轉速度ヲ異ニスルトキハ區別記載スルコト)

四 各運轉系統ニ於ケル發車度數(第八號様式)

前項ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケタル事項ヲ變更セムトスルトキハ其ノ事由ヲ具シ認可ヲ受クヘシ

前二項ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケタル運轉時刻ヲ實施シタルトキハ遲滞ナク其ノ月日ヲ鐵道大臣及地方長官ニ届出ツヘシ

第二十五條 軌道法第十八條第二項ノ規定ニ依ル買收ノ認可申請書ニハ左ノ書類ヲ添附スヘシ

一 買收ノ事由書

二 買收物件ノ範圍ニ關スル調書

三 買收價格算出説明書

四 買收ニ關シ軌道經營者ト爲シタル交渉ノ顛末書

五 買收代價支拂ニ關スル説明書(支拂ノ方法、時期等ヲ記載スルコト)

六 買收ニ關スル公共團體ノ議會ノ決議書謄本

七 買收後ニ於ケル軌道事業計畫書及收支豫算書

八 公共團體ノ當該年度歳入出豫算書

第二十六條 車輛ノ衝突、顛覆其ノ他旅客ニ死傷ヲ生シタル重大ナル運轉事故ハ即時電信、電話又ハ口頭ヲ以テ内務大臣、鐵道大臣及地方長官ニ報告スルノ外七日以内ニ第九號様式ニ依リ内務大臣、鐵道大臣及地方長官ニ之ヲ届出ツヘシ

前項以外ノ事故ハ一月分ヲ取纏メ翌月十五日限り第十號様式ニ依リ鐵道大臣及地方長官ニ之ヲ届出ツヘシ

第二十七條 地方鐵道法施行規則第三條、第八條、第十三條、第十五條、第二十條、第二十一條、第二十五條第一項第二項、第二十六條、第二十七條、第三十條乃至第三十三條、第四十五條、第四十六條、第四十八條、第四十九條、第五十一條及第五十二條ノ規定ハ之ヲ軌道ニ準用ス但シ監督官廳トアルハ内務大臣及鐵道大臣トス

地方鐵道法施行規則第十八條ノ規定ハ新設軌道ニ之ヲ準用ス但シ監督官廳トアルハ内務大臣、鐵道大臣及地方長官トス

第二十八條 地方鐵道法施行規則第二十條但書ノ場合ニ於テ内務大臣ニ提出スル申請書ニハ地方鐵道ノ車輛ニ限リ機關車ニ在リテハ重量、主要寸法(圖面ヲ除ク)、制動機ノ種類及裝置ヲ、客車及貨車ニ在リテハ車種、輛數、自重、定員、定員一人ニ對スル客室面積、積載容積及積載重量、最大寸法、固定輪軸距、制動機ノ種類及裝置並汽動車、電氣機關車及電車ニ關スル事項ヲ記載スヘシ地方鐵道法施行

規則第二十六條ノ認可申請ニ付亦同シ

第二十九條 軌道法又ハ本令ノ規定ニ依ル特許、許可及認可申請書並届書ハ軌道ヲ敷設スル地ヲ管轄スル地方長官ヲ經由スヘシ但シ二府縣以上ニ互リ敷設スル軌道ニ在リテハ事件カ二府縣以上ニ關スル場合ニ限リ其ノ起點所在地ヲ管轄スル地方長官ヲ經由スヘシ
前項但書ノ場合ニ於テ申請書又ハ届書ヲ受付ケタル地方長官ハ關係地方長官ニ商議スヘシ

◎軌道ニ關スル書類ニ通送付ノ件(明治四十一年十一月十八日鐵第六八七號) 七二
各地方長官宛内務次官、遞信次官通牒

附 則

本令ハ軌道法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

從來爲シタル處分、手續其ノ他ノ行爲ハ本令中之ニ相當スル規定アル場合ニ於テハ本令ニ依リテ之ヲ爲シタルモノト看做ス

◎軌道取扱ニ關スル件(大正十四年三月三十日發甲第五號) 七二
各地方長官宛土木、監督兩局長通牒

◎軌道事務取扱ニ關スル件(大正十五年六月) 七三
於土木主任官會議指示

◎軌道法施行規則ノ各様式 七七

◎軌道營業報告書様式ノ件(大正十四年六月十三日) 九一
鐵道、内務兩省告示

◎軌道統計報告書様式ノ件(大正十四年六月十三日) 九一
(鐵道、内務兩省告示)

◎軌道營業報告書様式及軌道統計報告書様式制定ノ件
(大正十四年六月二十九日監軌第一二九四號) 九一
(各地方長官宛監督、土木兩局長通牒)

◎軌道表ニ關スル件(大正十四年六月十三日發甲第一五號) 一〇九
(各地方長官宛土木局長通牒)

◎鐵道船舶郵便法及鐵道船舶郵便規則ヲ軌道法ニ依ル運送業者ニ準用ノ件
(大正八年四月二十六日) 一〇九
(遞信省令第二一號)

◎軌道法第一條第二項ノ規定ニ依ル一般交通ノ用ニ

供セサル軌道ニ關スル件(大正十二年十二月二十九日)
(内務省令第四五號)

第一條 一般交通ノ用ニ供セサル軌道ヲ道路ニ敷設セムトスル者ハ地方長官ノ許可ヲ受クヘシ

第二條 明治四十三年内務省令第二十七號第一條乃至第五條ノ規定ハ前條ノ許可申請ニ之ヲ準用ス

許可申請書ニハ運轉及信號ニ關スル方法ヲ記載スヘシ

第三條 地方長官第一條ノ許可ヲ爲サムトスルトキハ軌道ノ敷設ニ關シ關係道路管理者ノ意見ヲ徵スヘシ

第四條 大正八年閣令第十九號專用鐵道規程第三條、第四條、第七條乃至第十條ノ規定ハ本令ニ規定スル軌道ニ之ヲ準用ス

第五條 軌道法第十二條、第十八條、第十九條及第二十四條ノ規定ハ本令ニ規定スル軌道ニ之ヲ準用ス但シ主務大臣トアルハ地方長官トス

第六條 許可ヲ受ケタル者カ法令若ハ法令ニ基キテ爲ス命令又ハ許可若ハ認可ニ付シタル條件ニ違反シ其ノ他公益ヲ害スル行爲ヲ爲シタルトキハ地方長官ハ許可ノ全部又ハ一部ヲ取消スコトヲ得

第七條 許可ヲ得スシテ本令ニ規定スル軌道ヲ敷設シタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

附 則

本令ハ大正十三年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令ニ規定スル軌道ニシテ本令施行ノ際現ニ存スルモノハ本令ニ依リ許可ヲ受ケタルモノト看做ス但シ
地方長官ハ本令施行ノ日ヨリ三月内ニ六月ヲ下ラサル期間ヲ指定シ其ノ期間經過後許可ノ效力ヲ失フヘ
キ旨ヲ告示スルコトヲ得

◎軌道敷設若ハ變更ノ際陸軍省ヘ協議ノ件(大正三年四月二十八日陸軍次官照會陸普第一二五三號)

軌道施設若ハ線路變更ノ出願ニ對シ處分方詮議ノ際國道縣道假定縣道ニ關係有之場合ハ從來豫メ當省ニ
協議有之然ラサル場合ハ別ニ協議無之許可相成居候處當省所管ノ兵營、病院、彈藥庫、射擊場、演習場
等ノ關係上相互ニ於テ不都合ノ廉相生シ候向有之候ニ付爾後出願有之候場合ニハ總テ豫メ當省ヘ一應御
協議ノ上處分方詮議相成様致度候也

追テ別紙圖面ニ記載セル當省所管諸營造物、射擊場、演習場等ノ所在地外ニシテ國道縣道假定縣道ニ
關係ナキモノニアリテハ認可後當省ニ通牒相成支障無之候

(圖面略ス)

◎軌道敷設特許失效其ノ他ノ場合ニ陸軍省ヘ通牒ノ件

(明治四十年三月二十日陸軍次官照會陸普第二七號內務次官回答)

二月七日送甲第一二九號ヲ以テ軌道條例ニ據ル起業出願ニ關シ以後ノ成行通牒方御照會ノ趣了承自今御
申越ノ場合ハ其都度當省土木局ヨリ貴省軍務局宛ニシテ可及通牒候條御承知相成度此段及回答候也

陸軍次官照會(明治四十年二月七日送甲第一二九號)

從來軌道條例ニ據ル起業出願ノ節ハ出願當時當省ノ意見ヲ提出スルニ止マリ後ノ成行不明ノ爲メ支障不
尠候間今後左記ノ場合ハ其都度通牒相成度

- 一 特許狀下付ノ月日
- 二 特許失效ノ節ハ其月日
- 三 營業開始及廢止ノ月日
- 但一部分ノ開廢ニ付テハ其區域ヲモ記載アリタシ
- 四 線路撤去ノ時ハ其月日
- 但一部分ノ撤去ニ付テハ其區域ヲモ記載アリタシ

◎併用軌道敷維持修繕費用負擔ニ關スル件(大正十四年七月二十二日山梨縣知事宛土木、監督兩局長回答)

五月二十日土收第一二一七號照會標記ノ件御意見ノ通りト存候

山梨縣知事照會(大正十四年五月三十日土收第一二一七號)

標記ノ件ニ關シテハ軌道法第十二條第一項ニ於テ軌道經營者ノ負擔スヘキ區域規定セラレ居候處目下國
庫補助ヲ受ケ施行中ナル大正十二年震災復舊工事ニ關聯シ軌道經營者ノ負擔ニ屬スル工事區間多キ爲多

額ノ金額ヲ要シ容易ニ之ヲ實施セサル状態ナルヲ以テ延イテハ復舊工事ノ進捗上ニ影響スル所不尠依テ同條第二項ノ規定ニ依リ道路管理者ヲシテ當該工事ヲ執行セシメ道路管理者ハ狀況ニ依リ法第十二條第一項ニ依ル算出金額ノ一部ヲ減額シ工事ノ進捗ヲ計ル様致度而テ本件ニ付テハ別段軌道法ニ抵触セサルモノト存候得共一應御意見承知致置度候

◎軌道建設規程(大正十二年十二月二十九日內務、鐵道省令)

第一章 總 則

第一條 軌道ノ建設ハ本令ノ定ムル所ニ依ルヘシ
第二條 車輛ノ運轉ニ常用スル線路ヲ本線路ト謂ヒ其ノ他ノ線路ヲ側線ト謂フ
第三條 道路上其ノ他公衆ノ通行スル場所ニ敷設スル軌道ヲ併用軌道ト謂ヒ其ノ他ノ軌道ヲ新設軌道ト謂フ

第二章 線路及建造物

第一節 軌間及輪緣路

第四條 軌間ハ直線ニ於テ軌條頭ノ内側ヨリ内側迄ノ距離ニ依リ之ヲ測定ス
第五條 軌間ハ七百六十二ミリメートル又ハ二呎六吋、一メートル〇六七又ハ三呎六吋、一メートル四三五又ハ四呎八吋半ト爲スヘシ
第六條 併用軌道ノ曲線ニ於テ軌間ニ擴度ヲ付スル場合ハ左ノ制限ニ依ルヘシ

- 一 軌間一メートル〇六七又ハ三呎六吋若ハ一メートル四三五又ハ四呎八吋半ニシテ曲線ノ半徑百二十メートル又ハ四百呎以下ノモノニ在リテハ二十五ミリメートル又ハ一吋以内
- 二 軌間七百六十二ミリメートル又ハ二呎六吋ニシテ曲線ノ半徑六十メートル又ハ二百呎以下ノモノニ在リテハ十三ミリメートル又ハ二分ノ一吋以内

第七條 輪緣路ハ車輛ノ輪緣ニ對シ適當ノ大サヲ有セシムヘシ

市街地ニ於ケル併用軌道ニシテ交通特ニ頻繁ナル箇所、轉轍器又ハ轍又ヲ設置スル箇所ニ在リテハ溝軌道ヲ用ヒ若ハ之ニ準スヘキ施設ヲ爲スヘシ

第二節 軌道 定 規

第八條 併用軌道ハ道路ノ中央ニ之ヲ敷設シ左ニ掲クル車體外有效幅員ヲ存セシムヘシ

道路ノ種別	車道歩道ノ區別	兩側人家連檐又ハ連檐スヘキ場所	其ノ他ノ場所
特ニ主要ナル街路	八メートル一八又ハ二十 七尺以上		
主要ナル街路	四メートル五五又ハ十五 尺以上		
主要ナル國道	三メートル六四又ハ十二 尺以上	四メートル五五又ハ十五 尺以上	四メートル一〇又ハ十三 尺五以上

國
主要ナル府縣道及市道
特ニ主要ナル町村道

三メートル六四又ハ十二尺以上

第九條 街路、特ニ主要ナル國道、主要ナル國道及特ニ主要ナル府縣道ヲ除ク他ノ道路ニ於テハ左ニ掲クル車體外有效幅員ヲ存シ軌道ヲ其ノ一方ニ偏シテ敷設スルコトヲ得

道路ノ種別	車道		歩道		區別		ナキ		道場路	
	側	側	側	側	側	側	側	側	側	側
國 主要ナル府縣道及市道 特ニ主要ナル町村道	四メートル五五又 ハ十五尺以上	二メートル七三又 ハ九尺以上	四メートル五五又 ハ十五尺以上	一メートル八二又 ハ六尺以上	四メートル五五又 ハ十五尺以上	一メートル八二又 ハ六尺以上	四メートル五五又 ハ十五尺以上	一メートル八二又 ハ六尺以上	四メートル五五又 ハ十五尺以上	一メートル八二又 ハ六尺以上
府 主要ナル町道	三メートル六四又 ハ十二尺以上	一メートル八二又 ハ六尺以上	三メートル六四又 ハ十二尺以上	〇メートル九一又 ハ三尺以上	三メートル六四又 ハ十二尺以上	〇メートル九一又 ハ三尺以上	三メートル六四又 ハ十二尺以上	〇メートル九一又 ハ三尺以上	三メートル六四又 ハ十二尺以上	〇メートル九一又 ハ三尺以上
市 道										
村 道										

第十條 本線路ニ於テハ並行セル兩軌道中心間ノ間隔ハ車輛ノ最大幅員ニ四百ミリメートル又ハ一呎四吋ヲ加ヘタルモノヨリ小ナルコトヲ得ス

本線路ニ於テハ車輛ト中央柱其ノ他ノ工作物トノ間隔ハ二百三十ミリメートル又ハ九吋ヨリ小ナルコトヲ得ス

本線路ノ曲線ニ於テハ前二項ニ規定スル間隔ハ之ニ兩車輛ノ偏倚スル寸法ヲ加ヘタルモノヨリ小ナルコトヲ得ス

第十一條 併用軌道ニ於テハ軌條間ノ全部及左右各六百ミリメートル又ハ二尺ハ其ノ軌道ヲ敷設スル道路ノ路面ト同一構造トシ軌條間ト道路間ト高低ナカラシムヘシ

第三節 電車柱、排水設備及地下工作物ニ對スル防備

第十二條 道路ニ建設スル電車柱ハ特別ノ事由アル場合ヲ除ク外之ヲ側柱式ト爲スヘシ
側柱ハ車道歩道ノ區別アル箇所ニ於テハ歩道ノ車道側ニ之ヲ建設スヘシ
中央柱式ニ依ル電車柱ニハ點燈ノ設備ヲ爲スヘシ

第十三條 併用軌道ニ於テハ排水ノ設備ヲ爲スヘシ

第十四條 軌道ヲ地下工作物ト交叉又ハ接近シテ敷設スル爲其ノ工作物ヲ防護スル必要アルトキハ適當ノ設備ヲ爲スヘシ

軌道ハ人孔、制水瓣等ノ操業ニ障礙ヲ與ヘサル適當ノ距離ヲ存シ之ヲ敷設スヘシ

第四節 曲線及勾配

第十五條 本線路ノ曲線半徑ハ十一メートル又ハ三十六呎ヨリ小ナルコトヲ得ス

第十六條 本線路ノ勾配ハ二十五分ノ一ヨリ急ナルコトヲ得ス但シ特殊ノ箇所ニ於テハ十五分ノ一迄ト爲スコトヲ得

停留場ニ於ケル本線路ノ勾配ハ百分ノ一ヨリ急ナルコトヲ得ス

第五節 軌道及橋梁

第十七條 軌道及橋梁ノ各部ハ動荷重ニ耐フル負擔力ヲ有スルコトヲ要ス

併用軌道ニ於ケル軌道及橋梁ノ構造ハ前項ニ規定スルモノヲ除クノ外街路ニ係ルモノハ街路構造令、其ノ他ノ道路ニ係ルモノハ道路構造令ノ規定ニ依ルコトヲ要ス

第十八條 新設軌道ノ橋梁ニシテ交通頻繁ナル道路上又ハ水面上ニ架設スルモノニ在リテハ物件ノ墜落ヲ防ク爲車輛ノ全幅員及其ノ兩側各三百ミリメートル又ハ一尺以上之ヲ蓋フコトヲ要ス

第六節 踏切道

第十九條 軌道ト道路トノ平面交叉ノ交角ハ特別ノ事由アル場合ヲ除クノ外國道、府縣道及主要ナル市道町村道ニ在リテハ四十五度以上其ノ他ニ在リテハ三十度以上ト爲スヘシ

第二十條 踏切道ハ軌條間ノ全部及其ノ左右各六百十ミリメートル又ハ二尺ニ木石其ノ他適當ナル材料ヲ敷キ軌條面ト道路面ト高低ナカラシムヘシ

新設軌道ノ踏切道ニハ通行人ノ注意ヲ惹クヘキ警標ヲ設ケ交通頻繁ナル箇所ニハ門扉其ノ他相當ノ保安設備ヲ爲スヘシ

第七節 保安裝置

第二十一條 線路カ本線路ヨリ分岐シ又ハ本線路カ鐵道、軌道ト平面交叉ヲ爲ス箇所ニハ相當ノ保安裝置ヲ爲スヘシ新設軌道ノ停留場ニ於テ車輛ノ行違ヲ爲スモノニ付亦同シ

第三章 車輪

第一節 裝置

第二十二條 車輛ニハ適當ナル制動機ヲ裝置スヘシ但シ貨車ニ在リテハ特別ノ事由アル場合ニ限り之ヲ

省略スルコトヲ得動力車ニハ手用制動機ヲ裝置スヘシ但シ特殊ノ軌道ニ使用スルモノニ在リテハ手用制動機及動力制動機ヲ備フヘシ

第二十三條 車輛ニハ救助器、擔彈機、音響器及乘務員間ノ合圖器ヲ裝置スヘシ但シ人力又ハ馬力ヲ動力トスル車輛及新設軌道ノミテ運轉スル車輛ニ在リテハ救助器ヲ裝置スルコトヲ要セス

客車ニハ前項ニ規定スルモノノ外乗降用把手及車窓保護棒ヲ裝置スヘシ二車以上連結スル車輛ニハ彈性ノ緩衝器及聯結器ヲ裝置スヘシ

第二十四條 客車内ニハ點燈ノ設備ヲ爲スヘシ但シ瓦斯燈又ハ電燈ナルトキハ豫備燈ノ設備ヲ爲スヘシ

第二節 車輪

第二十五條 車輪輪鐵ノ幅ハ左ノ寸法ニ依ルヘシ

一 軌間一メートル〇六七又ハ三呎六吋及一メートル四三五又ハ四呎八吋半ノモノニ在リテハ百五ミリメートル又ハ四吋八分ノ一以上百三十三ミリメートル又ハ五吋以下

二 軌間七百六十二ミリメートル又ハ二呎六吋ノモノニ在リテハ八十五ミリメートル又ハ三吋二分ノ一以上百十五ミリメートル又ハ四吋二分ノ一以下

三 主トシテ溝軌條ヲ使用スル線路ニ在リテハ七十五ミリメートル又ハ三吋以上百十五ミリメートル又ハ四吋二分ノ一以下

第二十六條 車輪輪緣ノ高ハ輪鐵中央ノ踏面ヨリ測リ常ニ左ノ寸法ヲ保タシムヘシ

一 軌間一メートル〇六七又ハ三呎六吋及一メートル四三五又ハ四呎八吋半ノモノニ在リテハ二十二

ミリメートル又ハ八分ノ七吋以上三十六ミリメートル又ハ一時十六分ノ七以下
二 軌間七百六十二ミリメートル又ハ二呎六吋ノモノニ在リテハ十九ミリメートル又ハ四分ノ三吋以上三十ミリメートル又ハ一時十六分ノ三以下
三 主トシテ溝軌條ヲ使用スル線路ニ在リテハ十三ミリメートル又ハ二分ノ一吋以上二十五ミリメートル又ハ一吋以下
輪縁ノ厚ハ輪鐵中央ノ踏面ヨリ十ミリメートル又ハ八分ノ三吋下位ニ於テ測リ常ニ左ノ寸法ヲ保タシムヘシ

一 軌間一メートル〇六七又ハ三呎六吋及一メートル四三五又ハ四呎八吋半ノモノニ在リテハ十六ミリメートル又ハ八分ノ五吋以上
二 軌間七百六十二ミリメートル又ハ二呎六吋ノモノニ在リテハ十三ミリメートル又ハ二分ノ一吋以上
三 主トシテ溝軌條ヲ使用スル線路ニ在リテハ十ミリメートル又ハ八分ノ三吋以上

第三節 機關車及電車

第二十七條 蒸汽機關車ニハ左ノ裝置ヲ爲スヘシ
一 給水器、驗水器、安全弁各二箇ヲ備フルコト
二 可鎔栓、實用最高汽壓ヲ特記シタル驗壓器各一箇ヲ備フルコト
三 煙室ニハ火粉止ヲ、灰箱ニハ灰爐止ヲ備フルコト

四 火室側控ニ知ラセ孔ヲ設クルコト

第二十八條 電氣機關車及電車ニハ左ノ裝置ヲ爲スヘシ

- 一 自動遮斷器ヲ備フルコト
- 二 特別ノ場合ヲ除クノ外前後ニ制御器ヲ備フルコト
- 三 架空線式ノ場合ニ在リテハ避雷器ヲ備フルコト

第四節 客車及汽動車

第二十九條 客車内ノ面積ハ乗客定員一人ニ付平均〇平方メートル二八又ハ三平方呎ヨリ小ナルコトヲ得ス但シ起立乗客ニ對スル相當ノ設備アル場合ニ限り之ヲ〇平方メートル一八又ハ二平方呎迄縮小スルコトヲ得

第三十條 客車ノ乗降階段ノ蹴上ハ三百八十ミリメートル又ハ十五吋以内、有效蹴込ハ二百十五ミリメートル又ハ八吋半以上タルコトヲ要ス

第三十一條 客車ノ出入口ノ戸ハ有效開キ五百五十ミリメートル又ハ二十二吋以上タルコトヲ要ス乗降臺ノ有效長ニ付亦同シ

第三十二條 汽動車ニハ蒸汽機關車及客車ニ關スル規定ヲ準用ス

第四章 雜則

第三十三條 第五條、第六條、第十條、第二十條第二項、第二十一條、第二十五條、第二十六條及第二十九條乃至第三十一條ノ規定ハ人力又ハ馬力ヲ動力トスル軌道ニ之ヲ適用セス

第三十四條 地方鐵道建設規程第十七條、第二十八條、第三十三條及第三十五條ノ規定ハ軌道ニ、第五條、第六條、第十六條、第二十條、第二十九條及第三十條ノ規定ハ新設軌道ニ之ヲ準用ス但シ人力又ハ馬力ヲ動力トスルモノニ在リテハ此ノ限ニ在ラス
第三十五條 特別ノ事由アル場合ニ於テハ内務大臣鐵道大臣ハ本令ニ依ラサル設計ヲ命スルコトヲ得
特別ノ事由アル場合ニ於テハ内務大臣鐵道大臣ノ許可ヲ受ケ前各條ニ規定スル設計ニ依ラサル事ヲ得

附 則

本令ハ大正十三年一月一日ヨリ之ヲ施行ス
從來爲シタル處分手續其ノ他ノ行爲ハ本令ニ依リテ之ヲ爲シタルモノト看做ス

◎軌道ヲ敷設スヘキ道路幅員ニ關スル件(明治四十年十月十二日陸甲第九) 四號陸軍大臣宛内務大臣回答

五月十六日送甲第八六六號ヲ以テ軌道條例ニ依リ道路上ニ布設ヲ許可スヘキ軌道ノ車體外ニ存スル幅員ノ標準ニ關シ御申越ノ趣一應了承就テハ右ニ付地方實際ノ狀況ニ照シ各地方長官ノ意見ヲ徵シ候處何レモ御協議ノ標準ニテハ軌道企業上不尠影響ヲ及ホシ地方交通機關ノ發展ヲ阻害可致トノ意見ニ有之篤ト尙詮議ヲ要スヘク候條軌道幅員ノ儀ニ付テハ從前ノ通各出願ニ付其都度御協議候様致度回答旁此段申進候也

陸軍大臣照會(明治四十年五月十六) 日送甲第八六六號

我國ニ於ケル道路ニ關スル諸規定ハ舊式ニ屬スルヲ以テ曩キニ貴省ニ於テ道路法規按セラレシモ當時終ニ成立ニ至ラス尙差向キ該法成定ニ至ルモノトモ相見エス候處近來公共道路ヲ利用スル諸般ノ鐵道勃興シ一般ノ交通ヲ妨碍セラル、ニ至ル傾向相生候ニ付爾今軌道條例ニ依リ道路上ニ敷設ヲ許可スヘキ鐵道ノ車體外ニ存スル幅員ハ左記ノ程度ヲ標準トスル方針ニ有之候間承知相成度候也
追テ當省ニ於テ取調タル我國現在ノ國縣道幅員參考ノ爲相添候也

左 記

一 軌道ハ人家連檐ノ場所若ハ連檐スヘキ場所ニ在テハ道路ノ中央ニ之ヲ布設シ車體外ノ各側ニ次ノ幅員ヲ存セシムル事

國道及之ニ相當スル道路 三間 以上

縣道及之ニ相當スル道路 二間半 以上

里道及之ニ相當スル道路 二間 以上

二 其他ノ場所ニ在テハ車體外ノ兩側ニ左ノ幅員ヲ存スル點迄道路ノ一方ニ偏シテ軌道ヲ布設スルコトヲ得

國道及之ニ相當スル道路 三間 以上

縣道及之ニ相當スル道路 二間半 以上

里道及之ニ相當スル道路

〔二〕 尺間以上

- 三 前二項ノ幅員ハ布設地ノ情況ニ依リ多少之ヲ増減スルコト
- 四 大ナル市街内ニ於テハ前號ノ外其時々ノ協定ニ據ル

◎軌道車輛手用制動機省略ニ關スル件

(大正十四年十二月十一日監軌第二二八九號) 號各地方長官宛監督、土木兩局長通牒

軌道電車ニハ軌道建設規程第二十二條第二項ニ據リ手用制動機ノ裝置ヲ必要ト致シ候處左記要項ニ依リ之ヲ省略シ得ルコトニ決定候條御了知相成度

左記

- 一 空氣制動機ト電氣制動機(「レオスタチックブレーキ」又ハ「パツキングモーター」)トヲ具フル電車ハ監督官立合ノ上左記ニ依ル實驗ニ合格シタルモノニ限リ軌道建設規程第三十五條第二項ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケ手用制動機ノ裝置ヲ省略スルコトヲ得ルモノトス
濕潤等ノ爲軌條面ノ摩擦係數最モ減少セル場合ニ於テ定員ノ二倍ニ相當スル重量ノ物品ヲ積載シ其ノ車輛ノ運行スル線路中運轉上最モ注意ヲ要スル坂路ニ於テ常用速度ニテ運轉シ電制動ヲ爲シタル際ニ「ハンドスコツチ」ヲ使用シテ停車シ得ルコトヲ證シタルトキ
- 二 前項ノ許可ヲ受ケ手用制動機ノ裝置ヲ爲ササル車輛ハ之ニ「ハンドスコツチ」ヲ常備シ且其ノ電氣制動機及空氣制動機ニ付特ニ檢査ヲ勵行シ完全ニ之ヲ保持スルモノトス

- 三 第一項ノ實驗ヲ爲シタルトキハ之ニ合格シタル車輛ニ付其ノ實驗ノ場合ニ於ケル線路ノ位置、勾配、曲度、車輛ノ速度、制動距離、制動時間及車輛重量等ヲ明示セル電氣制動曲線圖ヲ監督官廳ニ提出スルモノトス

◎軌道用車輛ニ關スル內規(內務省 土木局)

軌道用車輛ニ關スル事項

- 一 車輪々鐵内側距離ハ左記ノ寸法ニ依ルヘシ
 - (イ) 軌間一メートル〇六七又ハ三呎六吋ノモノニ在リテハ九百九十四ミリメートル又ハ三呎三吋八分ノ一以上一メートル又ハ三呎三吋八分ノ三以下但シ主トシテ溝軌條ヲ使用スル線路ニアリテハ一メートル〇一六又ハ三呎四吋迄擴大スルコトヲ得
 - (ロ) 軌間一メートル四三五又ハ四呎八吋半ノモノニ在リテハ一メートル三六二又ハ四呎五吋八分ノ五以上一メートル三六八又ハ四呎五吋八分ノ七以下但シ主トシテ溝軌條ヲ使用スル線路ニアリテハ一メートル三八四又ハ四呎六吋二分ノ一迄擴大スルコトヲ得
 - (ハ) 軌間七百六十二ミリメートル又ハ二呎六吋ノモノニ在リテハ七百ミリメートル又ハ二呎三吋二分ノ一以上七百五ミリメートル又ハ二呎三吋四分ノ三以下但シ主トシテ溝軌條ヲ使用スル線路ニ在リテハ七百十ミリメートル又ハ二呎四吋迄擴大スルコトヲ得
- 二 車輪一對ノ中心線ヨリ輪緣外面迄ノ距離ハ輪鐵中央ノ踏面ヨリ十ミリメートル又ハ八分ノ三吋下位

ニ於テ測リ常ニ左ノ寸法ヲ有セシムヘシ

- (イ) 軌間一メートル〇六七又ハ三呎六吋ノモノニ在リテハ五百十八ミリメートル又ハ一呎八吋八分ノ三以上五百二十七ミリメートル又ハ一呎八吋四分ノ三以下但シ主トシテ溝軌條ヲ使用スル線路ニ在リテハ五百十八ミリメートル又ハ一呎八吋八分ノ三以上五百三十三ミリメートル又ハ一呎八吋八分ノ七以下

- (ロ) 軌間一メートル四三五又ハ四呎八吋半ノモノニ在リテハ七百二ミリメートル又ハ二呎三吋八分ノ五以上七百十ミリメートル又ハ二呎四吋以下但シ主トシテ溝軌條ヲ使用スル線路ニ在リテハ七百二ミリメートル又ハ二呎三吋八分ノ五以上七百十四ミリメートル又ハ二呎四吋八分ノ一以下
- (ハ) 軌間七百六十二ミリメートル又ハ二呎六吋ノモノニ在リテハ三百六十六ミリメートル又ハ一呎二吋十六分ノ七以上三百七十五ミリメートル又ハ一呎二吋四分ノ三以下

軌道車輛制動機ニ關スル事項

- 一 本内規ニ於テ制動力トハ制輪子ノ車輪ヲ壓スル力ノ總計ヲ謂フ
- 二 制動機ヲ備フヘキ車輛ハ其ノ各車輪ニ對シ制輪子ヲ備フルヲ要ス但シ機關車ニ在リテハ之ニ依ラサルコトヲ得
- 三 車輛ノ制動力ハ左記ノ標準ニ依ル
 - (イ) 機關車ハ運轉整備ノ場合ニ於ケル働輪上ノ總重量ニ對シ百分ノ五十乃至百分ノ七十五トス
 - (ロ) 客車及客室ヲ有スル動力車ハ滿載ノ場合ニ於ケル總重量ニ對シ百分ノ五十乃至百分ノ七十五トス

ス但シ空車重量ノ百分ノ百十ヲ超ユルコトヲ得ス

- (ハ) 貨車及電動貨車ハ盈車ノ場合ニ於ケル總重量ニ對シ百分ノ四十乃至百分ノ六十トス
- 四 左記各號ノ一ニ該當スルモノニハ動力制動機ノ設備ヲ要ス
 - (イ) 六大都市(東京、京都、大阪、名古屋、横濱、神戸)及之ニ準スル交通頻繁ナル都市ノ道路上ヲ運轉スル電車但シ四輪電車ニシテ電氣抵抗ヲ以テ制動スル装置ヲ有スルモノハ此ノ限ニアラス
 - (ロ) 平坦線ニ於テ空車ノ場合一時間當リ四十キロメートル(二十五哩)以上ノ速度ヲ以テ走行シ得ヘキ電車但シ速度ハ走行抵抗ヲ一庭當リ十キログラム(一噸當リ二十封度)トシ電動機特性線ヲ用ヒ算定スルコト
 - (ハ) 滿載ノ場合ニ於ケル總重量二十庭(二十英噸)以上ノ動力車又ハ運轉整備ノ場合ニ於ケル重量十五庭(十五英噸)以上ノ機關車
 - (ニ) 一キロメートル(五十鎖)ヲ距ツル二點ヲ連接スル直線ノ勾配三十分ノ一以上ノ線路ヲ運轉スル動力車但シ運轉整備ノ場合ニ於ケル重量十庭(十英噸)以下ノモノハ之ニ依ラサルコトヲ得
- 五 一キロメートル(五十鎖)ヲ距ツル二點ヲ連接スル直線ノ勾配二十分ノ一以上ノ線路ヲ運轉スル動力車ハ直接動力ヲ異ニスル二種以上ノ動力制動機ヲ備フルコトヲ要ス但シ運轉整備ノ場合ニ於ケル重量十庭(十英噸)以上ノモノハ之ニ依ラサルコトヲ得
- 六 一時間平均三十キロメートル(十九哩)以上ノ速度ヲ以テ二車以上ヲ連結シ運轉スル列車ニハ貫通制動機ヲ設備スルコトヲ要ス

七 客車及客室ナ有スル動力車ノ總重量ハ自重ニ乗客一人當リ重量ヲ五十五キログラム(百二十封度)

トシ之ニ定員數ヲ乘シタルモノヲ加算シタルモノトス

八 手用制動機ノ取手ヨリ制輪子迄ノ槓杆率ハ千二百分ノ一以上タルコトヲ要ス

九 手用制動機ノ制動力ハ動力制動機ノ設備アル場合ニ限り第三項ノ制限ヨリ下ルコトヲ得但シ此ノ場合ニ取手ヨリ制輪子迄ノ槓杆率ハ千二百分ノ一乃至千分ノ一タルコトヲ要ス

十 制動取手ニ加ハル力ハ左記ニ依ル

(イ) 水平片手「ハンドル」竝ニ直立「ハンドホキール」三十キログラム(六十六封度)

(ロ) 水平兩手「ハンドル」竝ニ槓杆四十五キログラム(百封度)但シ足踏用槓杆ハ三十キログラム

(六十六封度)トス

(ハ) 水平「ハンドホキール」五十五キログラム(百二十封度)

十一 眞空制動機ノ眞空氣管内ノ有效壓力ハ每平方センチメートル〇・七キログラム(每平方吋十封度)

トス

十二 空氣制動管内壓力ハ左記ニ依ル

(イ) 直通式空氣制動機ニシテ

一 減壓弁ノ装置アル場合ニハ減壓弁ノ壓力

二 減壓弁ノ装置ナキ場合ニハ調壓機ノ壓力

(ロ) 自動式空氣制動機ニテハ常用最大衝程ニ於ケル制動管内ノ平衡壓力

十三 蒸汽制動機ノ制動管内ノ有效壓力ハ汽罐常用壓力ノ九割トス

十四 槓杆制動機(重錘附共)ノ短腕ハ鉛垂線ト三十度以上ノ角ヲ保タシメ其ノ有效長ハ五十ミリメートル(二吋)以上タラシムルコト

十五 各種制動機ノ全裝置傳力效率ハ左記ニ依ルモノトス

一 手用制動機ニ對シテハ其ノ「ブルロツト」ニ至ル迄ノ左記主要構造各部效率ト〇・七五ノ相乘積トス

(イ) 螺 旋 車 〇・三〇

(ロ) 齒 車 〇・九〇

(ハ) 傘 形 齒 車 〇・八五

(ニ) 鐵 鎖 捲 付 〇・七〇

(ホ) 槓 杆 及 曲 柄 〇・九〇

(ヘ) 床 下「ブレイキシヤフト」 〇・八五

以上ハ各一聯動及其ノ附屬部ニ對スル率トス

二 空氣制動機其ノ他之ニ準スルモノニ對シテハ〇・六五

十六 鐵鎖捲付制動機中「ブレイキシヤフト」或ハ「チェンホキール」等ニ單ニ鐵鎖捲付裝置ノミニシ

テ同鎖ヲ正確ニ捲キ締ムヘキ溝其ノ他ノ特殊構造ヲ有セサルモノノ力率ハ「ブレイキシヤフト」或ハ

「チェンホキール」ノ半徑ニ該鐵鎖ノ短徑ノ四分ノ一ヲ加ヘ算出スルコト

十七 制動機緩解ノ際制輪子ト車輪トノ間隔チ約十ミリメートル（八分ノ三吋）ニ保持シ得ル様適當ナル調整装置ヲ爲スコト

◎軌道運輸規程（大正十二年十二月二十）
（九日鐵道省令第四號）

第一章 總 則

第一條 軌道ノ運輸ハ本令ノ定ムル所ニ依ルヘシ但シ特別ノ事由アル場合ニ於テハ鐵道大臣ノ許可ヲ受ケ本令ニ依ラサルコトヲ得

鐵道大臣ハ軌道ノ狀況ニ依リ本令ニ依ラサル特別ノ運輸ヲ命スルコトヲ得

第二條 運賃、料金其ノ他ノ運送條件ハ公告ヲ爲シタル後ニ非サレハ之ヲ實施スルコトヲ得ス

運賃又ハ料金ノ増加ヲ爲サムトスル場合ニ於テハ前項ノ公告ハ二週間以上之ヲ爲スコトヲ得ス

第三條 軌道ハ見易キ場所ニ客車ノ運轉時刻表又ハ運轉系統、運賃表並旅客及公衆ノ取締ニ關スル法令ノ摘要ヲ揭示スヘシ

第四條 停留場ニハ見易キ場所ニ其ノ名稱ヲ示スヘシ

第五條 鐵道營業法第六條、第十條、第十三條及第十四條、鐵道運輸規程第二條、第四十八條及第四十九條ノ規定ハ軌道ノ運輸ニ付之ヲ準用ス

第二章 旅客運送

第六條 旅客ノ同伴スル四年未滿ノ小兒ハ無賃ヲ以テ之ヲ運送スヘシ

第七條 旅客ハ市街地ヲ運轉スル客車内ニ於テハ喫煙ヲ爲スヘカラス軌道カ指定スル客車内亦同シ

第八條 旅客ハ軌道係員ヨリ乗車券ノ検査及取集ヲ求メラレタルトキハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

無効ノ乗車券ヲ以テ乗車シタル旅客ニ對シテハ普通運賃ノ倍額ヲ請求スルコトヲ得

第九條 旅客ハ火藥類其ノ他危害ヲ他ニ及ホス虞アル物品ヲ客車内ニ持込ムコトヲ得ス但シ少量ノ銃用火藥類及玩具用普通火工品ヲ携帯スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十條 鐵道運輸規程第十六條及第三十三條ノ規定ハ軌道ノ旅客運送ニ付之ヲ準用ス

第三章 荷物運送

第十一條 長尺物、重量品、潤大品、危害ヲ他ニ及ホス虞アル物品、臭氣ヲ發シ若ハ不潔ナル物品ハ旅客ト同一車輛ヲ以テ之ヲ運送スルコトヲ得ス

第十二條 軌道ハ火藥類其ノ他爆發質危險品ヲ運送スルコトヲ得ス

第十三條 死體ヲ託送セムトスル者ハ死亡證書ヲ呈示シ其ノ寫ヲ提出スヘシ

死體ノ運送ニハ託送人ニ於テ附添人ヲ附シ之カ積卸ヲ爲サシムヘシ

第十四條 犬其ノ他ノ小動物ハ逸出ノ虞ナキ容器ニ容レルニ非サレハ之ヲ託送スルコトヲ得ス

第十五條 運送狀ノ交付ヲ請求セサル荷物ノ到達後六時間内ニ引取ラサルトキハ保管料ヲ請求スルコトヲ得

第十六條 鐵道營業法第七條乃至第九條、第十一條及第十二條、鐵道運輸規程第五十八條、第六十二條、

第六十五條第一項、第七十二條、第八十條、第八十一條第一項、第八十五條、第八十五條ノ二、第八

十八條乃至第九十二條、第九十四條、第九十七條、第九十八條、第一百條及第一百一條ノ規定ハ軌道ノ荷物運送ニ付之ヲ準用ス但シ監督官廳トアルハ鐵道大臣トス

第四章 罰則

第十七條 運送品ノ種類及性質ヲ詐稱シタル者ハ科料ニ處ス

第十八條 火藥類其ノ他爆發質危險品ノ種類及性質ヲ詐稱シ又ハ第九條ノ規定ニ違反シタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十九條 軌道係員ノ制止ニ反シ左ノ所爲ヲ爲シタル者ハ三十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一 客車ノ乗降口以外ヨリ乗降シタルトキ

二 旅客ノ乗用ニ供セサル場所ニ乗車シタルトキ

三 喫煙禁止ノ車内ニ於テ喫煙シタルトキ

第二十條 軌道係員ノ許諾ヲ受ケスシテ新設軌道内ニ立入りタル者ハ科料ニ處ス踏切番人ノ制止ニ反シ踏切道ニ立入りタル者亦同シ

第二十一條 前二條ノ罪ヲ犯シ又ハ車内ニ於テ秩序ヲ紊ルモノアルトキハ軌道係員ハ之ヲ車外又ハ軌道地外ニ退去セシムルコトヲ得

第二十二條 軌道係員職務取扱中旅客若ハ公衆ニ對シ失行アリタルトキハ科料ニ處ス

附則

本令ハ大正十三年二月一日ヨリ之ヲ施行ス

從來爲シタル處分、手續其ノ他ノ行爲ハ本令中之ニ相當スル規定アル場合ニ於テハ本令ニ依リテ之ヲ爲シタルモノト看做ス

◎軌道運轉信號保安規程(大正十二年十二月二十) 九日鐵道省令第五號

第一章 總則

第一條 軌道ノ運轉、信號及保安ハ本令ノ定ムル所ニ依ルヘシ但シ特別ノ事由アル場合ニ於テハ鐵道大臣ノ許可ヲ受ケ本令ニ依ラサルコトヲ得

鐵道大臣ハ軌道ノ狀況ニ依リ本令ニ依ラサル特別ノ運轉、信號及保安ヲ命スルコトヲ得

第二條 第四條、第五條、第十九條、第二十一條、第三章及第四章ノ規定ハ人力及馬力ヲ動力トスル軌道ニハ之ヲ適用セス

第二章 運轉

第一節 線路

第三條 線路ハ車輛ヲ安全且正確ニ運轉スルコトヲ得ヘキ狀態ニ之ヲ保持スルコトヲ要ス

第四條 本線路ニ於ケル轉轍器ノ取柄ハ車輛ノ對向通過ノ際之ヲ支持スヘシ但シ鎖錠其ノ他ノ安全裝置ヲ爲シタルモノハ此ノ限ニ在ラス

第五條 新設軌道ニ於ケル交通頻繁ニシテ遠方ヨリ展望スルコト能ハサル踏切道其ノ他必要ナル踏切道ニハ車輛運轉中番人ヲ置キ之ヲ看守セシムヘシ但シ夜間交通稀ナル際ハ此ノ限ニ在ラス

第二節 車 輛

第六條 車輛ハ安全ニ運轉スルコトヲ得ヘキモノノ外之ヲ使用スルコトヲ得ス

第七條 製作又ハ購入シタル車輛、重要ナル改造又ハ修繕ヲ爲シタル車輛及六月以上使用ヲ停止シタル車輛ハ其ノ各部ノ検査ヲ爲シタル後ニ非サレハ之ヲ使用スルコトヲ得ス

第八條 蒸氣機關車及汽動車ニ付テハ左ノ定期検査ヲ行フヘシ

一 使用ノ狀況ニ依リ三年ヲ超エサル期間毎ニ重要ナル部分ヲ取外シテ各部ノ検査及汽罐ノ試験ヲ行ヒ試運轉ヲ爲スコト

二 六月ヲ超エサル期間毎ニ汽笛及汽罐ノ内部、蒸氣管、放汽管、節汽弁、安全弁及檢壓器ノ検査ヲ爲スコト

三 毎月少クトモ一回火室内部、可鍛栓、火粉止器、檢水器、給水器及制動機ノ検査ヲ爲スコト
前項ノ規定ハ瓦斯機關車及瓦斯動車ノ定期検査ニ付之ヲ準用ス

第九條 電氣機關車及電車ニ付テハ左ノ定期検査ヲ行フヘシ

一 使用ノ狀況ニ依リ三年ヲ超エサル期間毎ニ重要ナル部分ヲ取外シテ各部ノ検査及電動機ノ絶縁耐力試験ヲ行ヒ試運轉ヲ爲スコト

二 一年ヲ超エサル期間毎ニ電動機、制御裝置、聚電裝置、開閉器、自働遮斷器、避雷器、布設電線、接續電纜及各種計器ノ検査ヲ爲スコト

三 毎月少クトモ一回電路ト大地トノ間ノ絶縁抵抗ノ試験ヲ行ヒ制動機ノ検査ヲ爲スコト

第十條 客車及貨車ニ付テハ使用ノ狀況ニ依リ客車ニ在リテハ一年半、貨車ニ在リテハ三年ヲ超エサル期間毎ニ重要ナル部分ヲ取外シテ定期検査ヲ行ヒ試運轉ヲ爲スヘシ

第十一條 第七條乃至第十條ノ規定ニ依リ施行シタル検査及試験ノ年月日及成績ハ之ヲ帳簿ニ記録スヘシ

第十二條 車輛ハ使用ノ狀況ニ依リ毎日少クトモ一回其ノ要部ヲ點檢スヘシ

第十三條 車輛ニハ左ノ事項ヲ標記スヘシ

- 一 所屬軌道ノ名稱又ハ徽章
- 二 番號
- 三 製造ノ年

四 客車ノ等級及定員、貨車ノ積載容積及積載重量

五 第八條第一項第一號、第九條第一號及第十條ノ規定ニ依リ施行シタル最近検査ノ年月

第三節 車 輛 運 轉

第十四條 併用軌道ニ於テハ車輛ヲ聯結シテ運轉スルコトヲ得ス但シ機關車ニ客車又ハ貨車一輛ヲ聯結スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十五條 動力車ノ停止中機關手又ハ運轉手其ノ位置ヲ離ルルトキハ制動機ヲ緊締シ其ノ他自働防止ノ手段ヲ爲シ置クヘシ

第十六條 客車ニハ外側見易キ場所ニ其ノ行先ヲ明示スヘシ

客車内ニハ夜間點燈スヘシ晝間ニ於テ隧道通過ニ二分時以上ヲ要スルトキ亦同シ

第十七條 車輛ハ停留場内ノ運轉其ノ他特別ノ場合ヲ除クノ外左方ノ線路ヲ進行スヘシ

第十八條 併用軌道ニ於ケル車輛ノ運轉速度ハ一時間平均十六キロメートル又ハ十哩、最高二十四キロメートル又ハ十五哩ヲ超ユルコトヲ得ス

第十九條 車輛ヲ聯結シテ運轉スル場合ニ於テハ線路ノ勾配百分ノ一ヨリ急ニシテ其ノ延長四百メートル又ハ二十鎖以上連續スル區間アルトキハ最後部ニ手用制動機ノ裝置アル車輛ヲ聯結スヘシ但シ最後部ノ車輛カ貨車ニシテ之ニ隣接スル車輛ニ手用制動機ノ裝置アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第二十條 車輛ノ平均運轉速度一時間十六キロメートル又ハ十哩ヲ超ユル場合

- 一 車輛ノ平均運轉速度一時間十六キロメートル又ハ十哩ヲ超ユル場合
- 二 前部ニ白色燈後部ニ赤色燈 各一箇

- 一箇
- 前部ニ白色燈

第二十一條 車輛ノ運轉保安ヲ施行セサル單線ニ於テ同一方面ニ二箇以上ノ車輛ヲ引續キ運轉スルトキハ必要ニ應ジ最後發以外ノ車輛ニハ其ノ前部ニ左ノ標識ヲ掲クヘシ

- 一箇
- 晝間 赤色圓板
- 一箇
- 夜間 赤色燈
- 一箇

第三章 信號

第一節 通則

第二十二條 天候ノ狀況ニ因リ相當距離ヨリ晝間ノ信號現示ヲ認識シ難キトキハ夜間ノ現示法式ニ依ルヘシ隧道内ニ於テ現示スル信號亦同シ

第二十三條 信號ヲ現示スヘキ場所ニ所定ノ信號ノ現示ナキトキハ停止信號ト看做スヘシ

第二十四條 信號ハ二箇以上ノ線路又ハ二種以上ノ目的ニ之ヲ兼用スルコトヲ得ス

第二節 信號機

第二十五條 常置信號機ハ柱上ニ裝置セル腕又ハ燈ヲ以テ車輛ニ對シ運轉ノ條件ヲ指示スルモノニシテ其ノ種類左ノ如シ

- 一 場内信號機 停留場ニ進入セムトスル車輛ニ對シ其ノ進入ノ可否ヲ表示ス
- 二 出發信號機 停留場ヨリ進行セムトスル車輛ニ對シ其ノ進行ノ可否ヲ表示ス

前項以外ノ常置信號機ヲ設ケムトスルトキハ其ノ信號ノ現示法式ヲ定メ鐵道大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第二十六條 同一柱上ニ同一種類ノ信號二箇以上ヲ設ケルトキハ最上位ニアルモノハ最左側ノ線路ニ屬シ以下順次右方ノ線路ニ屬ス

第二十七條 場内信號機及出發信號機ハ停止信號ヲ現示スルヲ定位トス

第二十八條 場内信號機及出發信號機ハ向テ之ヲ視ルトキ左ノ法式ニ依リ信號ヲ現示ス
停止信號

晝間 左腕ノ位置水平又ハ赤色燈

夜間 赤色燈

進行信號

晝間 左腕ノ位置下向四十五度又ハ綠色燈

夜間 綠色燈

第二十九條 場内信號機及出發信號機ノ腕ハ長方形トシ其ノ表面ヲ赤色、背面ヲ白色トシ腕端ニ近ク之
ト竝行シテ表面ニ白色線、背面ニ黑色線ヲ畫ス

第二十一款 閉塞信號機

第三十條 閉塞信號機ハ複線ニ於ケル閉塞區間ノ始點ニ之ヲ設置シ柱上ニ裝置シタル腕又ハ燈ヲ以テ閉
塞區間ニ進入セムトスル車輛ニ對シ運轉ノ條件ヲ指示ス

第三十一條 閉塞信號機ハ車輛カ閉塞區間ニ進入シタルトキハ目働作用ニ依リ停止信號ヲ現示シ車輛カ
閉塞區間ヲ通過シタルトキハ閉塞區間ノ終點トノ關聯動作ニ依リ進行信號又ハ注意信號ヲ現示スル裝
置タルヘシ

第三十二條 閉塞信號機ハ進行信號ヲ現示スルヲ定位トシ車輛カ閉塞區間ニ在ル間ハ停止信號ヲ現示ス

第三十三號 閉塞信號機ハ向テ之ヲ視ルトキ左ノ法式ニ依リ信號ヲ現示ス

一 三位式

停止信號

晝間 左腕ノ位置水平又ハ赤色燈
夜間 赤色燈

進行信號

晝間 左腕ノ位置上向九十度又ハ綠色燈
夜間 綠色燈

注意信號

晝間 左腕ノ位置上向四十五度又ハ橙黃色燈
夜間 橙黃色燈

二 二位式

停止信號

晝間 左腕ノ位置水平又ハ赤色燈
夜間 赤色燈

進行信號

晝間 左腕ノ位置下向四十五度又ハ綠色燈
夜間 綠色燈

第三十四條 閉塞信號機ノ腕端ハ尖形トシ腕ハ表面ヲ赤色、背面ヲ白色トシ腕端ニ近ク之ト竝行シテ表
面ニ白色線、背面ニ黑色線ヲ畫ス

第三十五條 車輛カ自働閉塞信號機ノ停止信號ノ現示ニ依リ停止スル場合ニ於テ三分時ヲ經過スルモ進行信號又ハ注意信號ノ現示ナキトキハ一時間十キロメートル又ハ六哩ヲ超エサル速度ヲ以テ前途支障ナキ箇所迄進行スルコトヲ得

第三十六條 閉塞信號機不良ノ場合ニ於テ車輛ヲ進行セシムトスルトキハ其ノ平均運轉速度ヲ一時間十六キロメートル又ハ十哩以下ニ制限シ前途支障ナキ箇所迄運轉セシムルコトヲ得

第三節 手信號

第三十七條 手信號ハ信號機ナキ場合又ハ之ヲ用フルコト能ハサル場合ニ於テ使用スルモノニシテ左ノ方式ニ依リ信號ヲ現示ス

停止信號

晝間 赤色旗ヲ提示ス但シ已ムコトヲ得サル場合ニハ兩腕ヲ高ク舉ケ又ハ綠色旗以外ノ任意ノ物體ヲ急激ニ振り廻シテ之ニ代フルコトヲ得

夜間 赤色燈ヲ提示ス但シ已ムコトヲ得サル場合ニハ綠色燈以外ノ任意ノ燈ヲ急激ニ振り廻シテ之ニ代フルコトヲ得

進行信號

晝間 綠色旗ヲ提示ス但シ已ムコトヲ得サル場合ニハ片腕ヲ高ク舉ケテ之ニ代フルコトヲ得

夜間 綠色燈ヲ提示ス

徐行信號

晝間 橙黃色旗ヲ提示ス但シ已ムコトヲ得サル場合ニハ頭上ニ高ク赤色旗及綠色旗ヲ交叉シテ之ニ代フルコトヲ得

夜間 橙黃色燈ヲ提示ス但シ已ムコトヲ得サル場合ニハ綠色燈ヲ明滅シテ之ニ代フルコトヲ得

第四節 發雷信號

第三十八條 發雷信號ハ雷管ノ爆音ニ依リ停止信號ヲ現示ス

第三十九條 雷管ハ相當ノ距離ヲ隔テ二箇以上ヲ軌條ニ裝置スヘシ但シ併用軌道ニ於テハ之ヲ裝置スヘカラス

第四章 保安

第一節 通則

第四十條 車輛ノ運轉保安ハ閉塞信號機ヲ設置スル區間ヲ除クノ外通票式又ハ票券式ニ依ルヘシ但シ左ノ場合ニ於テハ指導法ニ依ルコトヲ得

- 一 一時線路ヲ中斷シ又ハ複線ニ於テ一線ヲ閉塞シタルトキ
- 二 通票ノ破損又ハ喪失シタルトキ

第四十一條 左ノ場合ニ於テハ車輛ノ運轉保安ヲ施行セサルコトヲ得

- 一 全線ヲ通シ二箇以上ノ車輛ヲ運轉セサルトキ
- 二 車輛ノ平均運轉速度一時間十六キロメートル又ハ十哩ヲ超エサルトキ

第四十二條 軌道經營者ハ車輛ノ運轉保安ノ法式又ハ車輛ノ運轉保安ヲ施行セサル理由ヲ具シ鐵道大臣

- 隣接保安區間ノ通券ハ其ノ色ヲ異ニスヘシ
- 第五十一條 通券ハ當該保安區間ノ通票ヲ以テスルニ非サレハ開ク事ヲ得サル通券函ニ之ヲ保管スヘシ
通券ハ車輛ニ授與スルトキニ非サレハ通券函ヨリ之ヲ取出スコトヲ得ス
- 第五十二條 通券ハ同一保安區間ニ二箇以上ノ車輛ヲ同一方向ニ運轉スル場合ニ於テ先發車輛ニ限り之ヲ使用スヘシ
續行車輛ハ先發車輛ノ出發後五分時ヲ經過スルニ非サレハ之ヲ出發セシムルコトヲ得ス
- 第五十三條 通券ヲ携帯スル車輛ハ退出スルコトヲ得ス
- 第五十四條 車輛ノ乗務員ハ當該保安區間ノ通票ヲ確認スルニ非サレハ通券ヲ受領スルコトヲ得ス
- 第四節 指 導 法**
- 第五十五條 車輛ハ指導者乘込ムカ又ハ指導券ヲ携帯スルニ非サレハ指導法ヲ施行スル區間ヲ運轉スルコトヲ得ス
- 第五十六條 指導者ハ一區間一人トシ赤色ノ腕章ヲ附スヘシ
- 第五十七條 指導者ノ氏名及擔當區間ハ指導者ノ乗込前之ヲ關係係員ニ告知スヘシ
- 第五十八條 指導者ハ指導券ヲ發行スルコトヲ得但シ通票式ヲ施行スル區間ニ在リテハ此ノ限ニ在ラス
- 第五十九條 車輛ノ乗務員ハ指導者ヨリ直接指導券ヲ交付ヲ受クルニ非サレハ之ヲ受領スルコトヲ得ス
- 第六十條 指導法ヲ廢止セムトスル場合ニ於テハ指導法ニ依リ最終ニ運轉スル車輛ニハ指導者ヲ乗込マシメ且廢止後ニ施行スル保安法式ヲ併用スヘシ

及地方長官ニ之ヲ届出ツヘシ之ヲ變更シタルトキ亦同シ

第二節 通 票 式

- 第四十三條 車輛ハ當該閉塞區間ノ通票ヲ携帯スルニ非サレハ其ノ區間ヲ運轉スルコトヲ得ス
- 第四十四條 通票式ヲ施行スル區間ニハ通票ヲ備フヘシ
通票ハ一閉塞區間一箇トス
- 第四十五條 通票ニハ當該閉塞區間ノ兩端ノ停留場名ヲ記スヘシ
隣接閉塞區間ノ通票ハ其ノ形狀ヲ異ニスヘシ

第三節 票 券 式

- 第四十六條 票券式ハ線路ノ標準勾配五十分ノ一ヨリ緩ナル區間ニ限り之ヲ施行スルコトヲ得
地方鐵道運轉信號保安規程第二十一條第二項第一號ノ規定ハ前項ノ標準勾配ニ付之ヲ準用ス
- 第四十七條 車輛ハ當該保安區間ノ通票又ハ通券ヲ携帯スルニ非サレハ其ノ區間ヲ運轉スルコトヲ得ス
- 第四十八條 票券式ヲ施行スル區間ニハ通票及通券ヲ備フヘシ
通票ハ一保安區間一箇トス
- 通券ハ各保安區間ノ兩端ノ停留場ニ之ヲ備フヘシ
- 第四十九條 通票ニハ當該保安區間ノ兩端ノ停留場名ヲ記スヘシ
隣接保安區間ノ通票ハ其ノ形狀ヲ異ニスヘシ
- 第五十條 通券ニハ當該保安區間ノ兩端ノ停留場名ヲ記スヘシ

◎軌道法施行ニ關スル件(大正十二年十二月二十日發甲第一號各地方長官宛土木局長通牒)

今般軌道法施行規則公布相成同規則第十七條第二項、第二十三條及第二十四條第三項ノ規定ニ依ル届出ノ處理竝同規則第十九條乃至第二十二條ノ規定ニ依ル認可ハ鐵道大臣ノ權限ニ屬セシメラレ候處左記市内ニ敷設スル軌道及其ノ市ニ起點又ハ終點ヲ有スル軌道ニ關シ鐵道大臣カ右處分ヲ爲スニ方リテハ當省大臣ニ合議ノ上決定スルコトニ同省ト協議相整居候條右書類ヲ進達セララルトキハ同時ニ貴官ノ意見ヲ附シ其ノ副本ヲ當省大臣ニ進達候様御取扱相成度

記

東京市、京都市、大阪市、橫濱市、神戸市、長崎市、名古屋市、仙臺市、金澤市、廣島市、吳市、八幡市、鹿兒島市、札幌市、函館市、小樽市、堺市、尼崎市、新潟市、岡山市、下關市、福岡市、門司市、小倉市、若松市(福岡縣)、熊本市、濱松市、豊橋市、岐阜市、静岡市、大牟田市、以上

◎軌道法施行期日ノ件(大正十二年十二月十日勅令第五〇八號)

軌道法ハ大正十三年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

◎軌道法解釋ニ關スル件(大正十四年三月十日一三乙第一二六號) 福岡縣知事宛土木、監督兩局長回答)

客年十月六日土第九六〇九號照會標記ノ件左記ノ通御了知相成度

記

- 一 營業年限ハ制限ナキモノトス
- 二 燃料ニ關シテハ軌道法又ハ之ニ基ク命令ニ特別ノ規定ナキモ曩ニ爲シタル處分ハ公益上必要ナルモノトシテ制限セラレタルモノニシテ軌道法ニ抵觸スルモノニ非ス故ニ同法附則第三項主文ニ依リ仍効力ヲ有スルモノトス

理由

知事問合ノ要旨ハ軌道法實施以前軌道條例ニ依リ特許セラレタル軌道ニ在リテ一、營業年限ヲ指定セラタルモノノ二、動力車ノ燃料ヲ無煙炭骸炭ト指定セラレタルモノハ軌道法附則第三項但書ニ依リ効力ヲ失ヒ一ニ付テハ營業年限ニ制限ナク二ニ付テモ亦無煙炭又ハ骸炭以外ノモノヲモ使用シ得ルモノト解釋シ可然哉ト言フニ在リ仍テ左記理由ニ依リ前案ノ通回答セラレ可然

一 營業年限ノ制限

軌道條例ニ依ル軌道敷設ノ特許ニ方リテハ其ノ特許命令書ニ營業年限ヲ指定シ(命令書第二條)工事其ノ他ニ付正當ノ手續ヲ履行セサル場合營業廢止ノ許可ヲ受ケタル場合及指定シタル營業年限滿了ノ三ツノ場合ニ特許ノ効力ヲ消滅スル旨(命令書第三十四條)ヲ規定シタリシモ軌道法ニ於テハ工事其ノ他ニ付正當ノ手續ヲ履行セサル場合及事業廢止ノ許可ヲ受ケタル場合ノ二ツノ場合ニ限リ特許ノ効力ヲ消滅スル旨(軌道法第二十三條)ヲ規定スルニ過キス營業年限ニ付テハ何等ノ制限ヲ設ケス軌道經營者ノ意思ニ一任シタリ仍チ軌道條例ニ依ル營業年限ノ指定ハ軌道法ノ規定ニ抵觸ス

ルモノナルヲ以テ同法附則第三項但書ニ依リ其ノ效力ヲ失ヒ營業年限ハ制限ナキモノトス

二 動力車燃料ノ制限

軌道條例ニ依リ特許シタル軌道ノ動力車ノ燃料ヲ無煙炭骸炭ト限定シタルハ沿道ノ煤煙防止ノ爲其
ノ他保安上衛生上必要ナルモノトシテ特許命令書(雛形第二十八條)ニ基キテ爲シタル處分ニシテ
軌道法ニ於テハ此ノ如キ制限ニ關スル明文ナキモ機關車ニ火粉止灰燼止ヲ設備スヘキコトヲ規定シ
(軌道建設規程第二十七條第三號)タルト同趣旨ニシテ只事項カ物の設備ニ非サル點ヲ異ニスルノ
ミ恰モ併用軌道ニ於ケル車輛ノ運轉速度ニ制限ヲ附シ(軌道運轉信號保安規程第十八條)タルト軌
道法ニ依リ種ノ制限ハ其ノ軌道ノ周圍ノ狀況如何ニ依リ制限ヲ爲スヘキモノニシテ各個ノ軌道ニ
テ一ニス此ノ種ノ制限ナルヲ以テ法令ニ明定セサリシモノト爲スヘク現行法カ是等ノ處分ヲ爲スコト
就キ考覈スヘキ問題ナルヲ以テ法令ニ明定セサリシモノト爲スヘク現行法カ是等ノ處分ヲ爲スコト
ヲ得ル旨ヲ規定セルハ地方鐵道法第十一條(準用)軌道建設規程第三十五條軌道運轉信號保安規程
第一條ニ依リ明ナルヲ以テ本件軌道條例ニ依リ爲シタル制限ハ毫モ軌道法ノ規定スル所ト牴觸スル
モノニ非ス故ニ軌道法附則第三項主文ニ依リ仍其ノ效力ヲ有スルモノトス

福岡縣知事照會

軌道法發布以前ニ於テ特許セラレタル特許命令書中左記事項聊カ疑義相生シ候ニ付至急何分ノ御意見承
知致度此段及問合候也

軌道營業年限及原動力汽動車燃料ニ就テ右ハ軌道法ニ何等條文ナキニ依リ同法附則但書ニテ特許認
可其ノ他ノ處分ニ附シタル條件ニシテ本法ニ牴觸スルモノハ其ノ效力ヲ失フトアルヲ以テ即チ效力

ヲ失ヒタルモノト認メ年限ハ制限ナク燃料ハ無煙炭骸炭ト制限セラレタルモ是亦同様何等制限ナク
有煙炭ヲ使用スルモ差支ナキモノナル哉

◎軌道法疑義ノ件

(大正十三年八月二十九日鐵第一二號)兵庫縣知事宛監督、土木兩局長回答

本年七月十八日附保第五三四五號内ヲ以テ軌道法疑義ノ件照會有之候處軌道法施行規則第九條第一項第
十四號ハ車輛實施設計未確定ノ場合土木及電氣ノ實施設計ヲ申請スルニ當リ其ノ本件設計ヲ示セルモノ
ニシテ從テ同規則第十一條ノ規定中ノ車輛ニ對シテモ依然トシテ大體設計ヲ意味シ實施設計ハ軌道ニ準
用セラレアル地方鐵道法施行規則第二十條及第二十一條ニ依ルヘキ義ニシテ之カ認可ヲ受ケタル後ハ前
示第十一條中車輛ノ記載事項ハ當然不用ニ歸スヘキ次第ニ候條右ニ了知相成度候

兵庫縣知事照會

七月十一日附監軌第一一二二號一項通牒相成候神戸市營電氣軌道車輛讓渡ニ關シテハ軌道工事方法並記
載事項變更ノ申請ハ別ニ手續ヲ要セサル由ニ有之候處車輛數ノ増減ニ付テモ軌道法施行規則第九條第一
項第十四號ノ變更ニシテ同規則第十一條ニ依リ手續ヲ要スルモノト認メラレ同規則第二十七條ニ依ル地方鐵
道法施行規則準用ハ個々ニ於ケル申請ノ明細書ノ形式ヲ示シタルモノニアラサルヤト思料セラレ聊カ疑
義相生シ居リ候條施行規則第十一條ニ依ル軌道工事方法書記載事項變更トハ如何ナルモノヲ指稱スルモ
ノナリヤ御例示相願度此段及照會候也

◎御陵墓附近へ建造物及取締ノ件(明治三十年三月二十三日 内務省訓令訓第二六三號)

御陵ヨリ三町御墓ヨリ一町以内ノ地ニ火葬場、避病院、監獄、遊園(公衆ニ對シ營業ヲ爲スモノ)、製造所、劇場其ノ他公衆ノ集合スル建造物等ヲ設ケシムルヘカラス
御陵墓ノ御堀ノ水悉皆村方ヘ下賜相成候上ハ右水涸ノ間不敬ナキ様嚴重取締ヲ爲スヘシ

◎御陵墓附近へ電車鐵道敷設方ノ件(明治四十三年十一月十日 警普第八四號 號京都府知事宛内務省警保局長回答)

客月十二日附保第七〇四三號ヲ以テ御陵墓近傍ニ電氣鐵道敷設ノ件ニ付御照會ノ趣了承右ニ關シ一應宮内省ヘ意見問合候處別紙寫ノ通回答有之候間右趣旨ニ依リ御措置相成様致度此段及回答候也

宮内省諸陵頭ヘ照會(明治四十三年十月二日 警普第八四號)

御陵墓近傍ニ電氣鐵道敷設ニ關シ別紙ノ通京都府知事ヨリ照會有之候ニ付一應御意見承知致度此段及照會候也

宮内省諸陵頭回答(明治四十三年十一月十日 陵雜第一六二號)

御陵墓近傍ヘ電氣鐵道敷設方ノ件ニ付客月二十一日警普第八四號ノ内ヲ以テ御照會ノ趣了承右ハ差支無之候共車上ヨリ直接御陵墓ノ内部ヲ瞰下セサル爲相當ノ距離ヲ保タシムル等總テ御陵墓ノ尊嚴ヲ毀損セ

サル様敷設方御取締相成度此段及回答候也

京都府知事照會(明治四十三年十月十日 保第七〇四三號)

御陵墓取締方ニ關シ明治三十年訓第二六三號ヲ以テ訓令相成居候處軌道條例ニ據ル電氣鐵道敷設ノ如キハ御陵墓トノ距離ニ付如上ノ如キ制限ヲ要セサル義哉右ハ道路ニ準シ且相當ノ距離ヲ保タシムルハ差支ナキモノ、様被存候得共事業者ヨリ問合セノ向モ有之候條至急何分ノ御回答相成候様致度此段及照會候也

◎電氣軌道原動力ノ方式ニ關スル件(大正七年三月二十日 三特甲第七二九號 東京府知事宛土木、監督兩局長通牒)

大正三年十一月二十五日寅土甲第二八八六號ヲ以テ東京市長伺標記ノ件御進達相成候處右ハ明治四十四年遞信省令第二十六號電氣工事規程ニ據リ相當施設ヲ爲スニ於テハ東京市内ニ單線架空式ヲ使用スルモ大體支障ナキモノト被認候得共右ハ申請ノ都度夫々相當詮議可相成方針ニ有之候條其ノ趣旨東京市ヘ御示達相成度

追テ單線架空式用ノ爲メ文部省所管ノ建造物ニ影響ヲ及ホスヘキ場合ニ在リテモ大體本文ノ趣旨ニ依リ詮議ノ方針ニ候得共該省所管ノ建造物ニ對シテハ特ニ相當ノ距離ヲ有セシムルモノト適當ノ設備ヲ施スヘキモノト有之候ニ付右ニ關シテハ尙具體的施設ニ依リ何分ノ詮議可相成義ニ候條是亦併セテ御示達相成度

○市內軌道ニ單線架空式軌道敷設ノ件 (大正七年三月二十日三特甲第七二九號) 神奈川縣知事宛土木、監督兩局長回答

大正三年十二月十四日寅警保電收第一六六號ヲ以テ橫濱市長伺標記ノ件御進達相成候處右ハ明治四十四年遞信省令第二十六號電氣工事規程ニ據リ相當施設ヲ爲スニ於テハ橫濱市内ニ單線架空式ヲ使用スルモ大體差支ナキモノト被認候得共右ハ申請ノ都度夫々相當詮議可相成方針ニ有之候條其ノ旨橫濱市へ御示達相成度

○軌道事務取扱ニ關スル件 (大正十三年七月一日内務省靜土第一一五) 號靜岡縣知事宛土木、監督兩局長回答

三月二十七日土第一五五號ヲ以テ標記ノ件御問合セノ處第一問ニ付テハ御意見ノ通又第二問ニ付テハ前段御意見ノ通ニ有之候ニ付御承相成度

靜岡縣知事照會

軌道法實施上左記事項ニ付疑義有之候ニ付御指示相煩度候

記

- 一 軌道法施行規則第四條及第十條ノ規定ニ依リ道路管理者ノ意見ヲ決定スルニ付關係議會ノ意見ヲ徵スルハ軌道ヲ道路ヲ縱斷シテ敷設スル場合ニ限リ適用アルヘク單ニ道路ヲ橫斷スルニ止マル場合ハ舊軌道條例取扱心得第二條第一項但書ノ如キ明文ナキモ之ヲ要セサルモノト解シ可然哉
- 二 大正十二年十二月二十九日軌道法第二十五條ノ規定ニ依リ職權委任ニ關スル省令第二條第二項ノ

「内務大臣ノ指定スル市ニ敷設スル軌道」ハ其ノ市ニ起點又ハ終點ヲ有スル軌道ニ對シテハ其ノ市ノ区域内ニ付テノミ適用アルモノト解スヘキカ又ハ其ノ全線ニ涉リ適用アルモノト解スヘキ哉

○軌道敷設工事方法變更ニ付公共團體ノ議會ノ

意見ニ關スル件 (大正十五年一月二十日香土第三六號) 香川縣知事宛土木局長回答

客年十一月十一日一四發土第四七六號ヲ以テ標記ノ件御照會相成候處從來ノ通牒ハ舊法ノ改正ニ伴ヒ適用スヘキ限リニ無之候得共府縣制第四十二條又ハ第六十八條ノ規定ニ依リ參事會ニ於テ處理スルハ差支無之候

香川縣知事照會 (大正十四年十一月十一日一四發土第四七六號)

府縣道ニ敷設セル單線軌道ヲ複線ニ變更ノ認可申請アリタル場合軌道法施行規則第十一條ニ依リ道路管理者ハ道路ニ關スル費用ヲ負擔スル公共團體ノ議會ノ意見ヲ徵シ處理スルコト、相成居候處明治二十三年十月訓令第六六二號軌道條例ニ關シ出願者アリタルトキノ取扱方ノ件ニ就キ同三十三年三月十六日土木局長御通牒ニ依レハ府縣會招集ノ時期ニアラサル場合ハ參事會ノ意見ヲ聞キ處理シ可然趣ニ候得共軌道法施行規則ノ發布サレタル今日ト雖右御通牒ノ主旨ニ依リ府縣會招集ノ時期ニアラサルトキハ參事會ノ意見ヲ聽取シ可然候哉

◎軌道工事著手及竣工報告ノ件

(大正十三年八月七日發土第三三號)
各地方長官宛、土木監督兩局長通牒)

軌道法施行規則第十三條第二項ノ規定ニ依ル報告ハ軌道法第七條ニ依リ主務大臣カ工事施行認可ノ際期限ヲ指定シタルモノニ限ル義ニ候條自今右ニ依リ御取扱相成度

◎軌道ニ關スル書類ニ通送付ノ件

(明治四十一年十一月十八日鐵第六八七號)
各地方長官宛内務次官、遞信次官通牒)

本年十月鐵第六三六ノ二ヲ以テ軌道ニ關スル書類進達其他ニ付及通牒候處内務、遞信兩大臣宛進達及提出スヘキモノハ總テ二通(圖面共)送付相成度

◎軌道取扱ニ關スル件

(大正十四年三月三十日發甲第五號)
各地方長官宛土木、監督兩局長通牒)

標記ノ件ニ關シ左記ノ通決定相成候條御了知相成度

記

一 軌道ヲ道路ニ横斷シテ敷設スル場合ニハ軌道法施行規則第四條及第十條ノ規定ヲ適用セサルモノトス

二 大正十二年十二月軌道法第二十五條ノ規定ニ依ル職權委任ニ關スル省令第二條第二項ノ規定ハ指定セラレタル市ノ区域内ニ於ケル軌道工事ニ付テハ適用スルモノトス

三 地方ノ狀況ニ依リ軌道取締上必要ナル事項ハ軌道法附屬命令ノ規定ニ牴觸セサル範圍ニ於テ廳府

縣令ヲ以テ規定スルコトヲ得ルモノトス

◎軌道事務取扱ニ關スル件

(大正十五年六月)
於土木主任官會議指示)

(一)内ハ關係條項ヲ示ス

一 建設費概算書及運輸事業收支概算書ハ其ノ内容ニ付精査シタル上進達スルコト(軌、施、第一條

〔三〕〔四〕)

二 競願ノ場合ハ成ルヘク其ノ競願書類ヲ同時ニ進達スルコト(軌、施、第五條〔六〕)

三 平面圖ニハ道路横斷定規ノ適用區間並涉線、引込線及側線等ノ分岐點ノ哩程ヲ明示スルコト(軌、施、第八條〔一〕)

四 橋梁及溝橋ノ實施設計ニ付(軌、施、第九條第一項ノ〔七〕)

(一) 基礎 特殊ノモノニアリテハ其ノ耐力關係ヲ知ルニ足ル計算書ヲ添付スルコト(地、施、第十條九ノ〔ロ〕)

(二) 桁 斜橋ニ用ユル桁ノ構造ニシテ直角橋ト大體同一ナル橫構ヲ有スルモノハ模範設計ヲ定メ其ノ適用箇所ヲ明示スレバ足ルコト(地、施、第十二條九ノ〔ハ〕)

(三) 撓度 假設工事ヲ除ク外左記標準ニ依ルコト(地、施、第十二條九ノ〔ホ〕)

(イ) I字鋼桁ノ場合 計算徑間ノ八百分ノ一以下

(ロ) 板鋼桁ノ場合 計算徑間ノ千分ノ一以下

- (四) 河幅ヲ縮少スル如キ工事ニ就テハ其ノ理由ヲ附記スルコト(地、施、第十二條九ノ(ハ))
- 五 併用軌道ニ於ケル轉轍器、轍又ノ箇所ハ木石等ニテ鋪裝シ重錘取柄式轉轍器ノ取柄及給水器等ハ交通上支障ナキ位置ニ設置スルコト
併用軌道ノ軌條ハ可成溶接法ヲ用フルコト
異形軌條接續ノ場合ハ其ノ異形繼目板ノ設計圖ヲ添付スルコト
軌條重量ノ増加ニハ軌條形狀ノ變更及轉轍器轍又ヲ含マサルコト(軌、施、第九條第一項ノ(九)委、第二條第一項第一號ノ(チ))
- 六 主トシテ貨物ヲ取扱フ併用軌道ノ停留場ハ道路交通上支障ナキ様施設スルコト(軌、施、第九條第一項ノ(十))
- 七 重要ナル踏切道ニ就テハ其ノ前後道路ノ取付勾配其ノ適用箇所ヲ構造圖ニ明示スルコト(軌、施、第九條第一項ノ(十一))
- 八 複線軌道ニ於テハ線路ノ最小曲線半徑ノ箇所ヲ通過スル行違車輛ノ間隔ヲ圖示スルコト車輛ノ最大長又ハ最大幅ヲ増大シタル場合亦同シ(軌、施、第九條第一項ノ(十四)地、施、第二十條第二十一條)
- 九 發電所、變電所、蓄電所及配電所ノ工事竣功シタルトキハ地方鐵道法施行規則第二十三條第一項第二號ノ電氣工事竣功圖表ヲ提出スルコト
- 十 車輛ニ關シテハ別冊内規ニ依リ精査スルコト(軌、施、第九條第一項ノ(十四)軌、建、第二十二條)

- 十一 電車用電動機ニシテ新造又ハ變更スル場合ハ其ノ電動機ノ特性線圖ヲ提出スルコト(軌、施、第九條第二項ノ(六)地、施、第二十條、第二十一條)
- 十二 地方鐵道法施行規則第二十一條第一號及第二號ノ届出書ニハ其ノ認可年月日及番號ヲ附記セシムルコト
- 十三 工事方法書ニハ車輛ノ音響器及乗務員間合圖器ノ説明ヲ記載セシムルコトニ注意スルコト(軌、施、第九條第一項ノ(十四)軌、建、第二十三條)
- 十四 軌道ノ構造及道路ノ鋪裝ニ關シテハ騒音防止ニ付キ考慮セシムルコト(軌、施、第九條第四項ノ(一))
- 十五 軌道ノ排水設備ニ關シテハ單ニ路面排水ノミニ止ラス路床排水ニ就テモ考慮シ且ツ其ノ設置個所ヲ明示セシムルコト(軌、施、第九條第四項ノ(三)軌、建第十三條)
- 十六 工事方法書ノ變更認可申請書ヲ進達スル場合ハ關係道路管理者ノ意見ヲ徵スルコトニ留意スルコト(軌、施、第十條)
- 十七 新舊對照圖ハ可成同一圖面ニ色別(舊ハ黃色、新ハ赤色)スルコト
工事變更ノ爲地方鐵道法施行規則第十三條ニ依ル協定書並ニ契約書ニ變更ヲ生スル場合ハ之レカ階本ヲ添付セシムルコト(軌、施、第十一條)
- 十八 工事方法書ノ變更ニシテ既認可設計ト同一設計ニ依ルモノハ其ノ認可年月日及番號ヲ附記セシムルコト(軌、施、第十一條)

- 十九 併用軌道ノ輪縁路ハ車輪ニ對シ必要以外ノ部分ハ適當ノ材料ヲ以テ填充セシムルコト(軌、建、第七條)
- 二十 併用軌道ノ中心間隔ハ可成車輪ノ最大幅ニ一呎四吋ヲ加ヘタルモノトシ之ヨリ大ナル場合ハ其ノ事由ヲ説明セシムルコト(軌、建、第十條)
- 二十一 市街地ニ於ケル併用軌道ハ可成敷石其ノ他適當ノ鋪裝ヲナサシムルコト(軌、建、第十一條)
- 二十二 市街地内ニ於ケル電車柱ハ美觀ニ付テモ考慮セシムルコト(軌、建、第十二條)
- 二十三 本線路勾配百分ノ一ヨリ急ナル箇所ニ停留場ヲ設置スルノ已ムヲ得サル場合ハ其ノ事由ヲ詳記スルコト(軌、建、第十六條第二項)
- 二十四 職權委任事項第二條第一項第一號ノ(ワ)ノ規定ニ依リ認可スル場合ハ道路交通トノ關係ヲ考慮セラレ度キコト
- 二十五 鐵道用地ヲ使用スル場合ハ所轄鐵道局長ノ承認書寫ヲ提出セシムルコト
- 二十六 軌道法施行規則第十三條第二項ノ報告ニ付テハ大正十三年八月七日發土第三三號通牒ニ依リ取扱フコト
- 二十七 主任技術者ノ報告未濟ノ分ハ速カニ提出セシムルコト(軌、施、第三十一條)
- 二十八 地方鐵道法施行規則第四十九條ノ書類ハ大正十四年六月二十六日監軌第一二九四號ノ通牒ニ依リ手續セシムルコト
- 二十九 假線使用期限伸長ノ認可ハ六ヶ月以内ノ場合ニ限り委任セラレタルモノナルニ付注意スルコト

(委、第二條第一項第一號ノ(タ))

- 三十 手用制動機省略ノ場合ニハ大正十四年十二月十一日監軌第二二八九號通牒ニ依リ取扱フコトニ注意スルコト

◎軌道法施行規則ノ各樣式

第二號様式

運輸事業收支概算書

軌道

軌間 メートル又ハ呎 時 動力
 區間 延長 キロメートル又ハ 哩 鎖

		數量	金額	摘要
		割	合	
旅	客			
人	キロメートル又ハ人哩			
一	キロメートル又ハ一哩當			
一	日一キロメートル又ハ一日一哩當			
荷	物			
ト	ンキロメートル又ハ噸哩			
一	キロメートル又ハ一哩當			
一	日一キロメートル又ハ一日一哩當			
旅	客 收入			
一	キロメートル又ハ一哩當			
一	日一キロメートル又ハ一日一哩當			
荷	物 收入			
一	キロメートル又ハ一哩當			
一	日一キロメートル又ハ一日一哩當			
雜	收入			
收	入 合計			
一	日一キロメートル又ハ一日一哩當			
營	業 費			
一	日一キロメートル又ハ一日一哩當			
益	建設 費			
建	建設費ニ對スル益金割合			

第一號様式

間建設費概算書

延長 キロメートル又ハ 哩 鎖

軌道

項	數量	單價	金額	摘要
測量及監督費	キロメートル又ハ哩		圓 圓	
用地費	平方メートル又ハ坪			
土工費	平方メートル又ハ立坪			
路面費	平方メートル又ハ坪			
橋梁溝橋費	メートル又ハ呎			
隧道費	メートル又ハ呎			
軌道費	キロメートル又ハ哩			
停留場費	箇所			
車輛費	輛			
諸建物費	キロメートル又ハ哩			
通信線路費	キロメートル又ハ哩			
電力線路費	キロメートル又ハ哩			
發電所費	キロワット			
變電所費	キロワット			
總係費	キロメートル又ハ哩			
豫備費				
合計				
一	キロメートル又ハ哩當			

備考
 用地費、土工費、橋梁溝橋費、隧道費及軌道費ニ在リテハ併用軌道及新設軌道ニ區別

項	目	數量	平均 單價	金高	合
	踏切工	平方メートル 又ハ面坪			
橋梁費					
	何川橋梁	メートル 又ハ呎			
	何川拱橋	〃			
	何川外何箇所	〃			
隧道費					
	何隧道	メートル 又ハ呎			
	何隧道外何箇所	〃			
軌道費					
	軌道及附屬品	キロメートル 又ハ哩			
	轉轍器及轍叉	組			
	枕木	挺			
	道床	キロメートル 又ハ哩			
	敷設	〃			
	雜費				
溝橋費					
	開渠	箇所			
	暗渠	〃			
伏樋費		キロメートル 又ハ哩			
停留場費					
	何停留場	箇所			

第三號様式 間建設費豫算書

延長 キロメートル又ハ 哩 鎖節

軌道

項	目	數量	平均 單價	金高	合計
測量及監督費		キロメートル 又ハ哩	圓	圓	圓
用地費					
	線路用地	平方メートル 又ハ歩			
	道路用地	〃			
	停留場用地	〃			
	川道附替用地	〃			
	發電所用地	〃			
	變電所用地	〃			
	雜費	〃			
土工費					
	線路切取	立方メートル 又ハ立坪			
	線路築堤	〃			
	川道附換	〃			
	踏切道	〃			
	土留石垣	平方メートル 又ハ面坪			
路面費					
	鋪裝	平方メートル 又ハ面坪			
	排水設備	メートル 又ハ呎			
	地下工作物整理	〃			

項	目	數量	平均 單價	金高	合計
發電所費		キロワット			
變電所費		〃			
總係費					
豫備費					
合計					
一キロメートル 又ハ一哩當					

備考 建設資金出資ノ方法ヲ記載スヘシ

第四號様式 實測換算中心キロメートル程又ハ哩表
軌道

停留場名	キロメートル 程又ハ哩程	摘要

備考 停留場名ニハ振假名ヲ附シ摘要欄ニ所在地(府縣
郡市町村大字名)ヲ記載スヘシ哩程ニ在リテハ哩
鎖節ニテ記載スヘシ

項	目	數量	平均 單價	金高	合計
車輛費	停何留場外 何箇所	〃			
	(蒸汽)(電氣) 機關車	輛			
	(電動)(附隨) 客車	〃			
	(電動)(附隨) 貨車	〃			
	汽 動 車	〃			
器械費		キロメートル 又ハ哩			
建築物費		〃			
送電費		〃			
建築用具 費		〃			
垣及境 界杭費		〃			
通信線路 費		〃			
電力線路 費					
	送 電 線	キロメートル 又ハ哩			
	饋 電 線	〃			
	電 車 線	〃			
	電 柱	〃			
	架 線 材 料	〃			
	ボ ン ド	〃			
	電 氣 信 號	〃			
	工 費	〃			

第十號樣式(半紙判形)

年 月 日

軌道代表者

宛名 月分 事故 屆

事故ノ種類及原因	發生日時分	場所	當該車輛	現場ノ狀況及損害ノ程度	進行停止時間	常務者處分ノ顛末

備考 第九號樣式備考ニ同シ

軌道營業報告書樣式左ノ通り之ヲ定ム
(樣式次掲)

◎軌道營業報告書樣式ノ件 (大正十四年六月十三日)

◎軌道統計報告書樣式ノ件 (大正十四年六月十三日)

軌道統計報告書樣式左ノ通り之ヲ改ム
(樣式次掲)

◎軌道營業報告書樣式及軌道統計報告書樣式制定ノ件

(大正十四年六月二十九日 監軌第一二九四號 各地方長官宛 監督、土木兩局長 通牒)

今回鐵道内務省告示ヲ以テ軌道營業報告書樣式及軌道統計報告書樣式制定相成候ニ付別紙樣式及送付候追而右ハ本年十二月三十一日ヲ含ム營業年度ヨリ施行スル樣致度各軌道營業者ヘ其ノ旨通牒スルト同時ニ本樣式送付致置候條了知相成度(島根、徳島、宮崎縣ニハ追函書ヲ除ク)
(別紙)

軌道營業報告書樣式

年 月 日

貸借對照表

年 月 日 現在 軌道

借方		貸方	
科 目	金 額	科 目	金 額
資本建設費 (開業線)		資本金	
資本建設費 (未開業線)		特別準備金	
地方鐵道建設費		任意債	
電力興業費		軌道財團借入金	
電力供給費		地方鐵道財團借入金	
貯藏物品		借入金	
未收入		借越金	
未預有現		借越當金	
		借越立金	
		借越益金	
		借越純金	
		借越期金	
		借越前當	
合 計		合 計	

備考 假出金、未收入金、未拂金、假受金ニ付テハ其ノ主ナルモノノ性質及金額ヲ欄外又ハ別紙ニ記載スヘシ

鐵道省監督局長宛
內務省土木局長宛

年上(下)期自 年 年 月 月 日 營業報告書

- 一 概況 本項ハ事業ノ概要ヲ示スヲ目的トシ當該期間ニ於テ行政廳ニ申請シタル事項及其ノ指令ノ要領、商業登記、株主總會、軌道從事員、株主ニ關スル事項、訴訟其ノ他ノ重要ナル庶務事項ヲ記載スヘシ
- 二 工事 本項ハ工事ノ狀況ヲ示スヲ目的トシ建設改良及保存工事ニ分チ建設改良工事ニ付テハ當該期間ニ於ケル工事施行區域、工程及工事ノ現況ヲ記載シ繼續工事ニ係ルモノハ其ノ期間ニ於ケル竣功歩合及工事ノ現況ヲ記シ保存工事ニ付テハ其ノ重要ナルモノノ工程ヲ記載スヘシ車輛ノ増減、修繕、用地ノ増減亦同シ
- 三 運輸 本項ハ運輸ノ狀況ヲ示スヲ目的トシ當該期間ニ於ケル營業日數、旅客及貨物ノ數量、收入總額一日一哩ノ平均收入、營業費總額、一日一哩ノ平均營業費等ヲ表記シ前期及前々期ニ比較シテ増減ノ主因ヲ説明シ運輸上重大ナル事故ヲ記載スヘシ
- 四 會計 本項ハ會計ノ狀況ヲ示スヲ目的トシ當該期間ニ於ケル株式ノ増減、株金ノ拂込、借入金、社債金、其ノ他會計ニ關スル事項ヲ記載スヘシ
- 五 他ノ業務ヲ營ム場合ニ於テハ其ノ概況ヲ記載スヘシ
- 六 營業報告書ニハ別表ニ準シ諸表ヲ調製添付スヘシ

軌道代表者

利益金處分表

自年月日至年月日 軌道

收 入		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
前期繰越金	○	法定準備金	○
— — — —		任意準備金	
当期純益金		優先株配當金	(年何割何分)
— — — —		普通株配當金	(年何割何分)
合計		後期繰越金	
		合計	

備考 1. 優先株又ハ普通株ニ數種アルトキハ各種類毎ニ配當金ヲ記載スヘシ
2. 年度ノ中間ニ於テ株金ノ拂込アリタルトキハ其ノ期日及金額ヲ欄外ニ記載スヘシ

建設營業關聯費明細表

自年月日至年月日 軌道

科 目	金 額	摘 要
工事監督費	○	
— — — —		
總係報旅費		
— — — —		
何々々		
合計		

備考 (1) 建設營業關聯費ヲ建設費、營業費ニ分割スルトキハ其ノ割合ヲ説明スヘシ
(2) 各事業關聯費、各事業興業營業關聯費アルトキハ本表ニ準シ調製添附スヘシ

損益計算表

自年月日至年月日 軌道

收 入		支 出		損 益
科 目	金 額	科 目	金 額	
客車收入	○	保電運總諸	○	
貨車收入		存車係		
運輸雜收		費費費稅		
— — — —		建設營業關聯費分擔額		
計		對市償金		
雜收入		軌道業負擔		
— — — —		諸利子		
合計		社債差損金		
地方鐵道業收入		財產價額消却金		
電燈電力供給業收入		雜損		
— — — —		合計		
總計		地方鐵道業支出		
		電燈電力供給業支出		
		— — — —		
		總計		

備考 1. 財產價額消却金ハ其ノ内容ヲ説明スヘシ
2. 雜損ハ其ノ主ナル内課金額ヲ欄外ニ説明スヘシ
3. 運輸雜收及雜收入ハ其ノ主ナル内課金額ヲ欄外ニ記載スヘシ
4. 各事業ニ於テ諸利子ヲ分擔シタルトキハ其ノ金額ヲ欄外ニ記載シ其ノ計算方法ヲ説明スヘシ

第三表

客貨車表

年 月 日 現在

軌道

種 別		輛數	定員總數	積載總量	摘 要
客 車	客 車		人		
	電 動 車	"	"		
	汽 動 車	"	"		
	瓦斯動客車	"	"		
	計				
四 輪 車	客 車		人		
	電 動 車	"	"		
	汽 動 車	"	"		
	瓦斯動客車	"	"		
	計				
合 計					
貨 有蓋	貨 物 車			噸積	
	"			"	
	計				
	貨 物 車			噸積	
	"			"	
貨 無蓋	材 木 車			噸積	
	"			"	
	計				
	材 木 車			噸積	
	"			"	
各 計					

- 備 考
1. 定員總數ハ各車定員ノ合計ヲ又積載總量ハ各車標記ノ荷重噸數ノ合計ヲ記載スヘシ
 2. 手小荷物室、郵便物室容積ハ平方呎ヲ摘要欄ニ記載スヘシ
 3. 貨車ノ噸積ハ標記荷重噸數ヲ記載スヘシ

第四表

線路異動表

自 年 月 日 至 年 月 日

未 開 業 線		開 業 線		種 別	區 間	特許年 特許日	線 程		異 動 年 月 日
種 別	區 間	哩	計				哩	哩	
工事施可 特許	廢止	併用新設 軌道	併用新設 軌道	開業 廢止			單線	複線	
	修正 廢止			增減					

- 備考
1. 併用軌道ノ欄ハ國道、府縣道又ハ地方費道、準地方費道、市道、町村道等道路法ノ區分ニヨリ別記スヘシ
 2. 開業線中開業及修正ノ異動年月日、運輸開始ノ年月日、廢止ハ許可ノ年月日ヲ記載スヘシ

第五表

營業日數及使用延日車數表
 自 年 月 日 至 年 月 日 軌道

種 別	客 車 運 輸		貨 車 運 輸		摘 要
	自 年 月 日 至 年 月 日	何 日 間	自 年 月 日 至 年 月 日	何 日 間	
營業日數					
		ボギー車		ボギー車	
使用延日車數		四輪車		四輪車	
		計		計	

備考 1. 營業日數ノ何日間ニハ營業休止ノ日數（營業休止ノトキハ其理由ヲ摘要欄ニ記載スルコト）ヲ除キタルモノヲ記載スヘシ

2. 使用延日車數ハ自己線路上ヲ營業上使用シタル車輛ニ付調査記載スヘシ

第六表

機關車、客車及貨車走行哩表

自 年 月 日 至 年 月 日 軌道

種 別	哩 數	摘 要	
機關車走行哩	電氣機關車		
	蒸氣機關車		
	瓦斯機關車		
客車走行哩	ボギー車	電動車	
		客車	
		汽動車	
		瓦斯動車	
	計		
	四輪車	電動車	
		客車	
		汽動車	
瓦斯動車			
計			
合 計			
貨車走行哩	ボギー車	電動車	
		貨車	
		計	
	四輪車	電動車	
		貨車	
		計	
	合 計		

備考 1. 哩數ハ營業上運轉シタルモノヲ記載シ建築及保線用ニ係ルモノヲ算入スヘカラス

2. 電氣ヲ動力トスルモノニ在リテハ運轉回數（ボギー車、四輪車ヲ共用スルモノハ其ノ種別ニ尙區間ニヨリ運轉回數ヲ異ニスル場合ハ區間別ニ）ヲ摘要欄ニ記載スヘシ

3. 運轉系統ニ依リ運轉スルモノニアリテハ運轉系統別ニ其ノ區間、運轉回數及本表ニ準シ走行哩ヲ記載スヘシ

4. ボギー車ノ走行哩ハ換算セサルモノヲ記載スヘシ

5. 電氣、蒸氣、瓦斯機關車及汽動車並瓦斯動車ノ場合ニハ總走行哩ノ外各形式別（同一設計ノ構造ノモノチ一形式トシ）ニ走行哩ヲ摘要欄ニ記載スヘシ

第七表

運轉用電力、燃料及油脂消費額表

自 年 月 日至 年 月 日

軌道

種 別	車 車	數 量	代 價	摘 要
電 力	電 氣 機 關 動 車	石		
	蒸氣機關車	炭		
燃 料	汽 動 車	運 轉 用 計	石	炭
		運 火 用 計	石	炭
	瓦 斯 動 車	揮 發 油		
	電 氣 機 關 車	機 油		
	蒸 汽 機 關 車	機 油		
	汽 動 車	揮 發 油		
	汽 動 車	機 油		

備 考	瓦 斯 動 車		電 動 車		客 貨 車	
	量	價	量	價	量	價
1. 數量及代價ハ營業上使用シタルモノ(點燈用油脂ヲ除ク)ノミヲ記載スヘシ	〃	〃	〃	〃	〃	〃
2. 電氣機關車、電動車、蒸氣機關車、汽動車及瓦斯動車ニ在リテハ自己所屬ノ車輛(借入車ヲ含ム)カ自己線路ヲ走行シタル場合ニ於テ消費シタルモノノミヲ記載シ他ノ鐵道又ハ軌道所屬線路ヲ走行シタル場合ニ於ケルモノハ本表ニ準シ區別別記載スヘシ	〃	〃	〃	〃	〃	〃
3. 客貨車ニ在リテハ車輛所屬ヲ問ハズ自己線路ヲ走行シタル場合ニ於ケルモノノミヲ記載スヘシ	〃	〃	〃	〃	〃	〃
4. 電氣機關車ノ消費電力及蒸氣機關車、汽動車、瓦斯動車ノ燃料ハ總數量ノ外各形式別(同一設計ノ構造ノモノチ一形式トシ)ノモノヲ摘要欄ニ記載スヘシ	〃	〃	〃	〃	〃	〃
5. 種別欄ノ品名ハ例示ナリ	〃	〃	〃	〃	〃	〃
6. 自家發電ノ場合ニ於ケル電力代價ハ	〃	〃	〃	〃	〃	〃

(イ) 他ニ賣却スルモノアルトキハ其ノ單價ニヨリ算出シ
(ロ) 然ラサルトキハ發電所經費ヲ記シ其ノ旨摘要欄ニ記載スヘシ

第八表

旅客貨物數量及運輸收入月別表

自 年 月 日 至 年 月 日

軌 道

月 別	數 量				運 輸				收 入			
	旅 客	手 荷 物 (貨 物 小 荷 物 計)	貨 物 計	貨 物 計	手 荷 物 計	郵 便 物 計	貨 物 計	貨 物 計	運 輸 雜 收	合 計	通 行 稅	摘 要
月	人	斤	斤	噸分	噸分	噸分	圓	圓	圓	圓	圓	

備 考 1. 定期乗車ハ一日一往復トシ、回数乗車ハ其ノ回数(區間制ヲ除ク)團體、貨切乗車ハ現乗車人員ニ依リ往復乗車及同遊乗車ハ二人トシ延人員ヲ乗車券發賣當月分ニ算入シ該乗車券ノ券數、延人員及運賃ヲ摘要欄ニ記載スヘシ

2. 區間制(發著不明ノモノ)ニ依ル乗車人員計算方ハ次ノ方法ニ依ル

イ 普通乗車ノ各區券ハ一券ヲ以テ一人トナス

ロ 回数乗車ノ各區券ニヨルモノハ普通乗車ト同様ニ取扱フモノトス

但シ五十區券、百區券等ヲ以テ乘車區數ニ應シ乘車券ヲ使用シ得ルモノニ在リテハ次ノ算式ニ依ル

普通乗車總延區數 ÷ 一人平均乘車區數 = 乘車人員(推定)

以上ノ推定乘車人員ヨリモ實際乘車人員ノ近似數ヲ算出スル方法アルモノハ本算式ニ依ラサルコトヲ得但シ此ノ場合ニ在リテハ其ノ算出方ヲ説明スヘシ

ハ 數區間ヲ有シ一區乘車券ノミヲ發賣スルモノニ在リテハ其ノ推定乘車人員ハ適當ナル方法ニ依リ之ヲ算出シ其ノ方法ヲ附記スヘシ

3. 貨物ニテ斤又ハ噸ヲ以テ取扱ヒタルモノハ噸ニ換算(千七百斤又ハ二百七十貫ヲ一噸ニ)スヘシ

4. 貨切扱分ハ貫ヲ以テ取扱ヒタルモノハ運賃計算噸數ニ依リ之ヲ計上スヘシ

5. 噸扱アル場合ハ小口扱ト貨切扱トノ間ニ其ノ欄ヲ設ケ記載スヘシ

6. 個數扱ノ手小荷物ハ之ヲ斤(一個平均斤量ハ隨時調査シタル實績ニ依ル)ニ換算シ且該欄ニ其ノ個數ヲ朱書スヘシ

第九表 旅客運賃率及發賣乘車券明細表

自 年 月 日 至 年 月 日

軌 道

種 別	摘 要
旅客運賃率	制 (一哩當) 區 間 制 一 區 運 賃 平均一哩當運賃
哩 均	普通乘車券 片 往 復 道 復 道
制 制	割引乘車券 學生勞働者 片 往 復 道 復 道
	軍 人 片 往 復 道 復 道
同 數 乘 車 券	普 通 二 十 五 回 冊
	學 生 二 十 五 回 冊
區 間	總 區 間 數
	一 區 券 片 往 復 枚 冊
	二 區 券 〃 〃 〃 〃 冊
	〃 〃 〃 〃 〃 冊
	計
同 數 乘 車 券	一 區 券 二 十 五 回 冊
	二 區 券 〃 〃 〃 冊
	二 十 五 回 〃 〃 〃 冊
	〃 〃 〃 〃 〃 冊
計	
定 期 乘 車 券	一 區 券 一 々 月 冊
	二 區 券 三 々 月 冊
	〃 〃 〃 〃 冊
計	
制	割引乘車券 一 區 券 片 往 復 枚
	〃 〃 〃 〃 〃 冊
計	
回 遊 乘 車 券	何 々 間 枚
延 區 數 合 計	

備 考 1. 運賃率ハ年度末現在ヲ記載スヘシ
 2. 年度中運賃率ノ變更アリタルトキハ摘要欄ニ舊運賃率及新運賃率ノ實施年月日ヲ記載スヘシ
 3. 區間制ニ於テ異ナリタル運賃率ヲ設ケアルモノハ區分記載スヘシ
 4. 區間制延區數算出ハ普通乘車ノ往復ハ片道ノ二倍、同數乘車ハ其ノ回數、定期乘車ハ一日一往復トシ其ノ區數ヲ乘シタルモノヲ計上スヘシ

本日鐵道兩省告示ヲ以テ軌道營業報告書及軌道統計報告書ノ兩様式公布相成候ニ就テハ從來ノ內務報告
 例中軌道表ハ土木ニ關スル諸表ノ改正ト共ニ廢止セラレヘキ筈ニ付御了知相成度

◎軌道表ニ關スル件 (大正十四年六月十三日發甲第一) (五號各地方長官宛土木局長通牒)

◎鐵道船舶郵便法及鐵道船舶郵便規則ヲ軌道法ニ依ル
 運送業者ニ準用ノ件 (大正八年四月二十六日) (遞信省令第二一號)

鐵道船舶郵便法第八條、第九條、第十條第三項、第十三條、第十五條乃至第十九條及鐵道船舶郵便規則
 第一條乃至第三條、第十四條及第十五條ハ(軌道條例)ニ依リ電氣力、蒸氣力又ハ爆發力ヲ原動力トシ
 テ運送營業ヲ爲ス者ニ之ヲ準用ス但シ荷物運賃ノ制定ナキモノ又ハ主トシテ市又ハ區ノ交通運輸ヲ目的
 トスルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス
 本令ハ大正八年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

軌道ノ抵當ニ關スル法律 (明治四十二年四月十日 三日法律第二十八號)

- 第一條 軌道ノ抵當ニ關シテハ本法ニ別段ノ規定アルモノヲ除クノ外鐵道抵當法ヲ準用ス
- 第二條 軌道財團ハ左ニ掲クルモノニシテ軌道財團ノ所有者ニ屬スルモノヲ以テ之ヲ組成ス
 - 一 軌道線路、其ノ他ノ軌道用地及其ノ上ニ存スル工作物並之ニ屬スル器具機械
 - 二 工場、倉庫、厩舎、發電所、變壓所、配電所、事務所舎宅其ノ他工事又ハ運輸ニ要スル建物及其ノ敷地並之ニ屬スル器具機械
 - 三 用水ニ關スル工作物及其ノ敷地並之ニ屬スル器具機械
 - 四 軌道用通信、信號又ハ送電ニ要スル工作物及其ノ敷地並之ニ屬スル器具機械
 - 五 前四號ニ掲ケタル工作物ヲ所有シ又ハ使用スル爲他人ノ不動産ノ上ニ存スル地上權、登記シタル賃借權及前四號ニ掲ケタル土地ノ爲ニ存スル地役權
 - 六 車輛及馬匹並之ニ屬スル器具機械
 - 七 保線其ノ他ノ修繕ニ要スル材料及器具機械
- 軌道營業者力軌道ニ要スル電氣ノ餘力ヲ以テ電氣供給ノ業ヲ營ム場合ニ於テハ其ノ供給ノ爲要スル第一號乃至第五號及第七號ニ掲ケタルモノヲ軌道財團ニ屬セシムルコトヲ得
- 第三條 公共團體力軌道及附屬物件ヲ買上ケタル場合ニ於テハ鐵道抵當法第二十六條ノ規定ヲ準用ス
- 特許ニ附シタル條件ニ依リ軌道財團ニ屬スルモノヲ無償ニテ國又ハ公共團體ニ引渡スヘキトキハ其ノ

財團ヲ目的トスル抵當權ハ消滅ス

第四條 軌道營業者力株式會社ニ非サル場合ニ於ケル軌道ノ抵當ニ關シテハ勅令ノ定ムル所ニ依ル

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム (明治四十二年七月二十二日ヨリ施行)

○軌道抵當取扱規則 (明治四十二年七月二日 十一日閣令第六號) 一一一

○軌道抵當法取扱ニ關スル件 (明治四十二年十二月二十八日閣令第五四五號) 一一三

○登録税法第三條ノ二ニ依ル輕便鐵道及軌道ノ抵當原簿登録稅額報告方ノ件 (大正八年三月八日藏第二四八七號) 一一四

(監督局長宛大藏省主稅局長照會)

○軌道抵當取扱規則 (明治四十二年七月二日) (改 大正三年四月閣令第二號) (正 同八年八月同第一八號)

第一條 軌道抵當ノ取扱ニ關シテハ鐵道抵當法施行規則ヲ準用ス

第二條 抵當權ノ設定若ハ變更又ハ抵當證書若ハ信託證書ニ記載セル事項ノ變更ニ關スル書類ハ内閣總理大臣及内務大臣宛トシ地方長官ヲ經由シテ之ヲ差出スヘシ但シ動力ニ電氣ヲ使用スル場合ニ於テハ内閣總理大臣、内務大臣及逓信大臣宛トス

第三條 軌道抵當權設定ノ認可申請書ニハ鐵道抵當法施行規則第二條第一項ニ掲クル書類ノ外左ノ書類 附スヘシ

ヲ添物件擔保ノ負債アルトキハ其ノ總額及償還ヲ了ヘサル金額ノ證記抄本又ハ證明書
 第四條 軌道財團ニ關スル公告ノ申請書、抵當權ノ登録ニ關スル申請書及軌道財團目錄ニ關スル書類ハ
 内閣總理大臣宛トシ之ヲ差出スヘシ
 第五條 馬匹ノ財團目錄ハ別記様式ニ依リ之ヲ調製スヘシ
 第六條 馬匹、保線其ノ他ノ修繕ニ要スル材料及未開業線ノ軌道財團ニ屬スルモノノ變更又ハ消滅ノ届
 出ハ決算期ニ於テ之ヲ爲スヘシ
 第七條 執行力アル正本付與ノ申請書ハ内閣總理大臣宛トシ之ヲ差出スヘシ
 第八條 競落人ニ依リテ發起セラレタル會社又ハ競落人タル會社ヨリ差出ス特許及許可ノ申請書ハ内閣
 總理大臣及内務大臣宛トシ地方長官ヲ經由スヘシ
 第二條但書ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス
 第九條 裁定申請書、管理人推薦ノ申立書、計算報告書及配當報告書ハ内閣總理大臣及内務大臣宛トシ
 之ヲ差出スヘシ
 第二條但書ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

附 則

本令ハ明治四十二年法律第二十八號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス
 (別 記)

馬		匹	
種 類	名 稱	性	毛 色
内 國 種	、	牡	青
雜 種	、	、	、
外 國 種	、	、	、
			五 歲
			五 尺
		熊本縣	產 地
		頸ニ毛疵アリ	特 徵

◎軌道抵當法取扱ニ關スル件

(明治四十二年十二月二十八日閣甲第五四五)
 (號東京府知事宛土木局長經理部長回答)

本年十一月二十二日附酉土發第一八八六號ヲ以テ内閣總理大臣及内務大臣宛伺ノ軌道抵當法取扱ニ關ス

ル件ハ後段御見解ノ通ニテ可然ト認メ候

東京府知事伺(明治四十二年十一月二十
二日酉土發第一八八六號)

濱電氣鐵道株式會社ヨリ本年四月法律第二十八號軌道抵當法ニ依リ軌道財團ヲ擔保トシ抵當權設定ノ件
申請ニ付本月十二日附テ以テ御認可相成候處内務大臣カ同會社ニ下付セラレタル特許命令書第二十六條
ニ依レハ軌道工作物其ノ他營業上必要ナル物件ハ東京府知事、神奈川縣知事ノ許可ヲ得ルニ非サレハ之
ヲ讓渡シ又ハ義務履行ノ擔保ト爲スコトヲ得スト有之就テハ軌道抵當法ニ依リ抵當權設定ノ認可ヲ受ケ
ルモノト雖モ命令書ニ依リ齊シク許可ヲ要スルモノノ如ク被認候ヘ共同一事項ニ關シ一旦法律ノ規定ニ
從ヒ認可ヲ得タルモノニ對シ再ヒ命令書ニ依リ許可ヲ要スルカ如キハ取扱上穩當ナラサル儀ト被認候右
ハ軌道其ノ他營業物件中個々ノ物件ニ對シ擔保ト爲ス場合ハ命令書ノ規定ニ依リ許可ヲ要スルモノトシ
軌道抵當法ニ依リ軌道財團ヲ組成シ抵當權設定ノ場合ハ別段命令書ニ依リ許可ヲ要セサル儀ト認メ可然
哉取扱上疑義ニ涉リ候ニ付何分ノ御指揮相成度此段相伺候也

◎登錄稅法第三條ノ二ニ依ル輕便鐵道及軌道ノ抵當原簿

登錄稅額報告方ノ件

(大正八年三月八日藏第二四八七號)
監督局長宛大藏省主稅局長照會)

貴院管理ニ屬スル登錄稅法第三條ノ二ノ登錄稅ヲ種類毎ニ件數、課稅標準額、稅額ニ區分シ毎年四月三
十日迄ニ當局ヘ御通告相成度此段及照會候也

鐵 道

鐵道目次

地方鐵道法(大正八年四月十日法律第五二號)……………一

地方鐵道法其他施行期日ノ件(大正八年八月十二日勅令第三七四號)……………一三

地方鐵道法施行規則(大正八年八月十三日閣令第一〇號)……………一四

專用鐵道規程(大正八年八月十三日閣令第一九號)……………四〇

內務省ニ於テ敷設スル鐵道ト一般交通ノ用ニ供スル鐵道ト接續ニ關スル件(大正六年二月十六日監第六〇號)……………四三

地方鐵道法第四條但書ニ依ル線路敷設ノ許可手續(明治四十三年八月二日內務省訓令第二七號)……………四二

地方鐵道法第四條但書ニ依リ線路敷設許可申請アル場合進達方ノ件(明治四十三年八月二日內務省訓令第一三號)……………四四

輕便鐵道抵當ノ疑義ニ關スル件(大正三年一月十二日監輕第四〇六號)……………四四

電氣ヲ原動力トスル鐵道及輕便鐵道ノ免許假免許及許可ノ場合通報ノ件(明治四十四年十二月二十五日監乙第一七四七號電氣局長宛監理部長回答)……………四四

輕便鐵道線路及設計變更運轉開始免許失效ノ場合通報ノ件 (明治四十三年九月二十九日監第一四) 四五

○七號陸軍次官宛鐵道院副總裁回答) 四五

輕便鐵道工事施行ニ關シ通報方ノ件 (明治四十五年七月二十四日監第一二) 四六

三七號陸軍次官宛鐵道院副總裁回答) 四六

河川ノ水理ニ關係アル鐵道工事施行ニ關スル件 (大正九年五月十五日發土第四四) 四七

號各地方長官宛土木局長通牒) 四七

河川ノ水理ニ關係アル鐵道工事施行ニ關スル件 (大正十四年九月二十二日發土第三三) 四八

一號各府縣知事宛土木局長通牒) 四八

河川ノ水理ニ關係アル鐵道工事施行ニ關スル件 (大正九年五月十五日發土第四四號) 四九

各土木出張所長宛土木局長通牒) 四九

河川ノ水理ニ關係アル鐵道工事施行ニ關スル件 (大正九年五月十五日發土第四四) 四九

號鐵道院副總裁宛土木局長通牒) 四九

河川ノ水理ニ關係アル鐵道工事施行稟伺ニ添附スヘキ圖面ノ件 (大正十年四月五日發土第三六) 四九

號各地方長官宛土木局長通牒) 四九

地方鐵道法第二十四條ニ依ル證票樣式 (大正八年九月三日) 五〇

鐵道院告示第七八號) 五〇

地方鐵道法第三十一條ニ依ル營業收入及營業費計算方法 (大正九年八月九日) 五一

鐵道省令第二號) 五一

鐵道敷設出願ニ關シ意見開申方ノ件 (大正四年六月十五日發土第五〇) 五二

七號各地方長官宛土木局長通牒) 五二

鐵道敷設出願ニ關シ意見開申方注意ノ件 (大正五年四月十一日發第一五三號) 五三

ノ内各地方長官宛土木局長通牒) 五三

地方鐵道敷設出願ニ關スル件 (大正十一年四月二十日發土第三三) 五三

一號各地方長官宛土木局長通牒) 五三

輕便鐵道法施行規則第十七條第三號解釋ニ關スル件 (大正六年十月二日成例第) 五四

三八號鐵道院議決定) 五四

輕便鐵道、專用鐵道又ハ軌道車輛ノ直通運轉ニ關スル件 (大正八年一月八日成例第五) 五四

一號鐵道業者宛鐵道院通牒) 五四

蒸氣機關車汽罐々胴ノ從繼手腐蝕並胴ノ破裂ニ關スル件 (大正十三年十月二十五日監鐵第六三) 五五

一八號鐵道經營者宛監督局長通牒) 五五

地方鐵道所屬直通貨車ニ踏段及綱掛取付方ノ件 (大正十四年十月鐵運乙第四四〇一號直通貨車ヲ) 五五

所有スル鐵道經營者宛運輸、監督兩局長通牒) 五五

地方鐵道ノ工事ニ因リ必要ヲ生シタル道路河川等ノ工事ニ關スル件 (大正八年十一月二十七日發土第一一六) 五六

號各地方長官宛土木、監督兩局長通牒) 五六

鐵道ノ假設工事其ノ他ニ關スル件 (大正六年二月十五日監輕) 五七

第五四號鐵道院議決定) 五七

地方鐵道法施行規則第二十六條ニ據ル他鐵道所屬車輛運轉ニ關スル件 (大正十五年十月十八日監雜第七一二號) 五七

西部鐵軌懇和會宛監督、運輸兩局長回答) 五七

直通貨車設計ノ申請並屆出手續ニ關スル件 (大正十三年九月十一日鐵運乙第三三) 五八

四五二號運輸、監督兩局長通牒) 五八

地方鐵道法施行規則ニ依ル各種樣式) 六〇

地方鐵道法施行規則第四十九條營業報告書樣式 (大正八年八月二十八日) 九五

地方鐵道法施行規則第四十九條統計報告書樣式 (大正八年八月二十八日) (鐵道院告示第六四號) 一〇六

地方鐵道法施行規則第五十條鐵道臺帳樣式 (大正八年八月二十八日) (鐵道院告示第六六號) 一〇〇

地方鐵道建設規程 (大正八年八月十三日) (日閣令第一一號) 一四一

鋼鐵道橋設計示方書 (鐵道省規定) (改正案) 一五七

地方鐵道運轉信號保安規程 (大正八年八月十三日) (日閣令第一二號) 一七七

地方鐵道係員職制 (大正八年八月十三日) (日閣令第一三號) 二〇二

地方鐵道會計規程 (大正八年八月十三日) (日閣令第一四號) 二〇七

公共團體其ノ他ノ者ヨリ受クル補助金又ハ寄附金ニ關スル件 (大正十三年十月二十五日監鐵第六三) (一九號鐵道經營者宛監督局長通牒) 二〇九

地方鐵道補助法 (明治四十四年三月二日) (十三日法律第一七號) 二一一

地方鐵道補助法施行規則 (大正三年九月二十日) (一日閣令第三號) 二二三

地方鐵道補助法第一條ノ營業費算出方法 (大正七年四月一日) (日閣令第二號) 二二七

株式會社ノ設立費用負擔ニ關スル件 (大正九年二月十三日) (日鐵道省省議決定) 二二八

寄附金ヲ建設費ニ充當シタルトキ建設費決算ニ關スルノ件 (大正三年十月二十二日監輕第三五) (四七號各鐵道業者宛監督局長通牒) 二二八

建設費利息ニ關スル件 (大正五年一月一日監第一) (〇四號鐵道院議決定) 二二九

營業費ノ分割方法ニ關スル件 (大正七年五月十一日成例) (第四六號鐵道院議決定) 二三〇

補助輕便鐵道ニ於テ運輸營業ヲ休止シタル日數ヲ補助日數ニ算入ノ件 (大正七年四月五日監第五) (六九號鐵道院議決定) 二三〇

地方鐵道補助金概算渡ノ件 (明治四十四年十二月二日) (十五日勅令第二九二號) 二三二

北海道拓殖鐵道補助ニ關スル件 (大正九年八月七日) (日法律第五六號) 二四五

北海道ニ於テ經營スル地方鐵道及軌道ノ補助ニ關スル件 (大正十一年四月十日) (日勅令第一九七號) 二四五

北海道拓殖促進ノ爲必要アリト認ムル地方鐵道及軌道ノ補助施行ニ關スル件 (大正十一年四月十日) (日內務省令第八號) 二四六

鐵道營業法 (明治三十三年三月十日) (六日法律第六五號) 二四九

鐵道運輸規程 (明治三十三年八月十日) 二五九
(日遞信省令第三六號)

傳染病患者乘車規程 (明治三十三年八月十日) 二七四
(日遞信省令第三八號)

火藥類鐵道運送規程 (大正四年十月八日) 二七六
(日閣令第一號)

荷受人及荷送人ヲ確知スルコト能ハサル鐵道運送品等ノ公告ニ關スル件 (明治四十三年五月十日) 二八一
(一日閣令第一一號)

鐵道抵當法 (明治三十八年三月十日) 二八三
(三法律第五三號)

鐵道抵當法施行期日ノ件 (明治三十八年六月二十日) 二八二
(六日勅令第一八六號)

鐵道抵當法施行規則 (明治三十八年五月二十日) 二八〇
(二日遞信省令第三七號)

地方鐵道法

(大正八年四月十日)改(大正十年四月二日)法律第五二號(正)法律第三八號

第一條 本法ハ軌道條例ニ規定スルモノヲ除クノ外道府縣其ノ他ノ公共團體又ハ私人カ公衆ノ用ニ供スル爲敷設スル地方鐵道ニ之ヲ適用ス

地方鐵道業者カ運送營業ノ爲支線ヲ敷設スルトキハ公衆ノ用ニ供セサル場合ト雖本法ヲ適用ス

道府縣其ノ他ノ公共團體又ハ私人カ專用ニ供スル爲敷設スル鐵道ニシテ政府ノ鐵道又ハ地方鐵道ニ接續スルモノニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

◎專用鐵道規程 (大正八年八月十三日) 四〇
(日閣令第一九號)

◎內務省ニ於テ敷設スル鐵道ト一般交通ノ用ニ供スル鐵道ト接續ニ關スル件

(大正六年二月十六日)監第六〇號(四二)
(內務次官宛鐵道院副總裁照會)

第二條 地方鐵道ハ人力又ハ馬力其ノ他之ニ類スルモノヲ以テ動力ト爲スコトヲ得ス

第三條 地方鐵道ノ軌間ハ三呎六吋トス特別ノ場合ニ在リテハ四呎八吋半又ハ二呎六吋ト爲スコトヲ得

第四條 地方鐵道ハ之ヲ道路ニ敷設スルコトヲ得ス但シ已ムコトヲ得サル場合ニ於テ主務大臣ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

◎地方鐵道法第四條但書ニ依ル線路敷設ノ許可手續 (明治四十三年八月二日) 四二
(內務省令第二七號)

◎地方鐵道法第四條但書ニ依リ線路敷設許可申請アル場合進達方ノ件

(明治四十三年八月二日) 四四
(內務省訓令第一三號)

第五條 地方鐵道會社ノ株金ノ第一回拂込金額ハ株金ノ十分ノ一迄下ルコトヲ得但シ兼業トシテ地方鐵道ヲ敷設スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第六條 地方鐵道會社ハ株金全額拂込前ト雖監督官廳ノ認可ヲ受ケ線路ノ延長又ハ改良ノ費用ニ充ツル爲其ノ資本ヲ増加スルコトヲ得但シ軌道會社ニ非サル會社カ兼業トシテ地方鐵道ヲ敷設スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第七條 地方鐵道會社ハ監督官廳ノ認可ヲ受クルニ非サレハ社債ヲ募集スルコトヲ得ス

社債ハ總株金四分ノ一以上ノ拂込アリタル後ニ非サレハ之ヲ募集スルコトヲ得ス

社債ノ額ハ鐵道抵當法ニ依ル債務ノ額ト併セテ總株金拂込額ヲ超ユルコトヲ得ス但シ舊債償還ノ爲ニスル場合ニ於テハ舊債務ノ額ハ之ヲ算入セス

第八條 鐵道及其ノ附屬物件ハ鐵道抵當法ニ依ルニ非サレハ之ヲ擔保ト爲スコトヲ得ス

鐵道ノ附屬物件ハ命令ノ定ムル所ニ依リ監督官廳ノ認可ヲ受クルニ非サレハ之ヲ貸渡又ハ讓渡スルコトヲ得ス

◎輕便鐵道抵當ノ疑義ニ關スル件

(大正三年一月十二日監輕第四〇六號ノ) 四四
(一耶馬溪鐵道株式會社宛監督局長通牒)

第九條 地方鐵道會社ハ監督官廳ノ認可ヲ受クルニ非サレハ他ノ事業ヲ營ムコトヲ得ス

第十條 地方鐵道會社ハ監督官廳ノ認可ヲ受クルニ非サレハ合併ヲ爲スコトヲ得ス

合併後存續スル會社又ハ合併ニ因リテ設立シタル會社ハ合併ニ因リテ消滅シタル會社ノ免許ニ屬スル權利義務ヲ繼承ス

第十一條 免許、許可又ハ認可ニハ條件ヲ附スルコトヲ得

第十二條 地方鐵道業ヲ營ムトスル者ハ左ノ書類及圖面ヲ提出シ主務大臣ノ免許ヲ受クヘシ

一 起業目論見書

二 線路豫測圖

三 建設費概算書

四 運送營業上ノ收支概算書

免許ニハ工事施行ノ認可ヲ申請スヘキ期限ヲ附ス

◎電氣ヲ原動力トスル鐵道及輕便鐵道ノ免許假免許及許可ノ場合通報ノ件

(明治四十四年十二月二十五日監乙第) 四四
(一七四七號電氣局長宛監督局長) 答

◎輕便鐵道線路及設計變更運轉開始免許失效ノ場合通報ノ件

(明治四十三年九月二十九日監第一四)四五
○七號陸軍次官宛鐵道院副總裁回答

◎輕便鐵道工事施行ニ關シ通報方ノ件 (明治四十五年七月二十四日監第一二)四六
(三七號陸軍次官宛鐵道院副總裁回答)

第十三條 免許ヲ受ケタル者ハ左ノ書類及圖面ヲ監督官廳ニ提出シ工事施行ノ認可ヲ受クヘシ

一 線路實測圖

二 工事方法書

三 建設費豫算書

四 免許ヲ受ケタル者カ會社ノ發起人ナルトキハ定款及會社ノ設立登記謄本

工事施行ノ認可ニハ工事ノ著手及竣功ノ期限ヲ附ス

第十四條 地方鐵道業者ハ天災事變其ノ他已ムコトヲ得サル事田アル場合ニ限り第十二條第二項又ハ前

條第二項ノ規定ニ依リテ附セラレタル期限ノ伸長ヲ申請スルコトヲ得

第十五條 左ニ掲クル土地ヲ以テ鐵道用地トス

一 線路用地

二 停車場、信號所、車庫及貨物庫等ノ建設ニ要スル土地

三 鐵道專用ニ供スル發電所、變電所及配電所等ノ建設ニ要スル土地

四 鐵道構内ニ職務上常住ヲ要スル鐵道係員ノ舍宅及運輸保線ノ職務ニ従事スル鐵道係員ノ駐在所等ノ建設ニ要スル土地

五 鐵道ニ要スル車輛、器具、機械ヲ修理製作スル工場及其ノ資材、器具、機械ヲ貯藏スル倉庫等ノ建設ニ要スル土地

第十六條 道路、橋梁、河川、運河及溝渠等ニ關スル工事ノ施設ハ所管行政廳ノ許可ヲ受クヘシ

◎河川ノ水理ニ關係アル鐵道工事施行ニ關スル件

(大正九年五月十五日發土第四四)四七
號各地方長官宛土木局長通牒

◎河川ノ水理ニ關係アル鐵道工事施行ニ關スル件

(大正十四年九月二十二日發土第三)四八
一號各府縣知事宛土木局長通牒

◎河川ノ水理ニ關係アル鐵道工事施行ニ關スル件

(大正九年五月十五日發土第四四號)四九
各土木出張所長宛土木局長通牒

◎河川ノ水理ニ關係アル鐵道工事施行ニ關スル件

(大正九年五月十五日發土第四四)四九
號鐵道院副總裁宛土木局長通牒

5 道鐵方地

◎河川ノ水理ニ關係アル鐵道工事施行稟伺ニ添付スヘキ圖面ノ件

(大正十年四月五日發土第三六)四九
(號各地方長官宛土木局長通牒)

第十七條 政府又ハ政府ノ許可ヲ受ケタル者ニ於テ地方鐵道ニ接續シ若ハ之ヲ橫斷シテ鐵道若ハ軌道ヲ敷設シ又ハ地方鐵道ニ接近シ若ハ之ヲ橫斷シテ道路、橋梁、河川、運河及溝渠等ヲ造設スルトキハ地方鐵道業者ハ之ヲ拒ムコトヲ得ス
前項ノ場合ニ於テ公益上必要アリト認ムルトキハ主務大臣ハ地方鐵道業者ニ設備ノ共用又ハ變更ヲ命スルコトヲ得

設備ノ共用又ハ變更ニ要スル費用ノ負擔ニ付協議調ハサルトキハ申請ニ因リ主務大臣之ヲ裁定ス

第十八條 地方鐵道業者ハ監督官廳ノ許可ヲ受ケタル場合ニ限り免許ニ屬スル權利義務ヲ他人ニ讓渡スルコトヲ得

第十九條 左ノ場合ニ於テハ免許ハ其ノ效力ヲ失フ

- 一 工事施行ノ認可ヲ申請スヘキ期限迄ニ認可ヲ申請セサルトキ
 - 二 工事施行ノ認可ヲ受ケサルトキ
 - 三 工事施行ノ認可ニ附シタル工事著手ノ期限迄ニ工事ニ著手セサルトキ
 - 四 營業廢止ノ許可ヲ受ケタルトキ
- 免許ヲ受ケタル者死亡シタルトキハ相續人ハ免許ニ屬スル權利義務ヲ繼承スルコトヲ得

第二十條 地方鐵道業者ハ監督官廳ノ認可ヲ受クルニ非サレハ運輸ヲ開始スルコトヲ得ス

第二十一條 地方鐵道業者ハ旅客及荷物ノ運賃其ノ他運輸ニ關スル料金ヲ定メ監督官廳ノ認可ヲ受ノヘシ

監督官廳ハ公益上必要アリト認ムルトキハ運賃及料金ノ變更ヲ命スルコトヲ得

第二十二條 地方鐵道業者ハ旅客列車及混合列車ノ發著時刻及度數ヲ定メ監督官廳ノ認可ヲ受クヘシ

監督官廳ハ公益上必要アリト認ムルトキハ列車ノ發著時刻及度數ノ變更ヲ命スルコトヲ得

第二十三條 監督官廳ハ監査員ヲ派遣シテ鐵道ノ工事、運輸保線ノ狀態、會計及財産ノ實況ヲ監査セシムルコトヲ得

鐵道ノ工事、運輸保線ノ狀態及會計ノ整理ニ付法令若ハ法令ニ基キテ爲ス命令ニ違ヒ又ハ不適當ナリト認ムルモノアルトキハ監督官廳ハ其ノ改築又ハ改善ヲ命スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ其ノ工事、運輸又ハ設備使用ノ停止ヲ命スルコトヲ得

監査員ハ地方鐵道業者又ハ其ノ役員若ハ使用人ニ説明ヲ求メ金櫃、帳簿、書類及圖面ヲ檢閲スルコトヲ得

第二十四條 地方鐵道業者ハ地方鐵道ノ監督事務ニ關シ往復スル吏員ニシテ監督官廳ノ發行スル證券ヲ携帯スル者ヲ無償ニテ乗車セシムヘシ

◎地方鐵道法第二十四條ニ依ル證券樣式(大正八年九月三日鐵道院告示第七八號)五〇

第二十五條 主務大臣ハ公益上必要アリト認ムルトキハ地方鐵道業者ニ他ノ鐵道又ハ軌道トノ連絡運輸又ハ直通運輸ヲ命スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ設備ノ共用又ハ變更、運輸ノ手續、運賃ノ割合及費用ノ負擔ニ付協議調ハサルトキハ申請ニ因リ主務大臣之ヲ裁定ス

第二十六條 地方鐵道業者ハ監督官廳ノ許可ヲ受クルニ非サレハ鐵道ノ貸借又ハ營業若ハ運轉ノ管理ノ委託若ハ受託ヲ爲スコトヲ得ス

營業又ハ運轉ノ管理ノ委託ヲ受ケタル地方鐵道業者ハ其ノ管理ニ付監督官廳ニ對シ委託ヲ爲シタル者ト共ニ其ノ責ニ任ス

第二十七條 地方鐵道業者ハ主務大臣ノ許可ヲ受クルニ非サレハ運輸營業ノ全部又ハ一部ヲ休止シ又ハ廢止スルコトヲ得ス

地方鐵道會社ノ解散ノ決議ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第二十八條 主務大臣ハ地方鐵道ノ會計及運賃ノ割引ニ關シ特別ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第二十九條 地方鐵道業者ハ法令ノ定ムル所ニ依リ平時及戰時ニ於テ鐵道ヲ軍用ニ供スル義務ヲ負フ

第三十條 政府カ公益上ノ必要ニ因リ地方鐵道ノ全部又ハ一部及其ノ附屬物件ヲ買收セムトスルトキハ地方鐵道業者ハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

地方鐵道ノ一部買收セラレタル爲殘存線路ノミニ付營業ヲ繼續スルコト能ハサルニ至リタルトキハ地方鐵道業者ハ該線路及其附屬物件ノ買收ヲ申請スルコトヲ得

第三十一條 買收價格ハ最近ノ營業年度末ヨリ遡リ既往三年間ニ於ケル建設費ニ對スル益金ノ平均割合ヲ買收ノ日ニ於ケル建設費ニ乗シタル額ヲ二十倍シタル金額トス

前項ノ益金トハ營業收入ヨリ營業費及賞與金ヲ控除シタルモノヲ謂ヒ益金ノ平均割合トハ三年間ニ於ケル每營業年度末ノ開業線建設費ノ合計ヲ以テ同期間ニ於ケル益金ノ合計ヲ除シタルモノニ一年間ニ於ケル營業年度ノ數ヲ乗シタルモノヲ謂フ

營業收入及營業費ノ計算ハ命令ノ定ムル所ニ依ル

◎地方鐵道法等三十一條ニ依ル營業收入及營業費計算方法(大正九年八月九日)五一
(鐵道省令第二號)

第三十二條 買收ノ日ニ於テ運輸開始後前條第一項ニ規定スル三年ヲ經過シタル線路ヲ有セサル場合又ハ前條第一項ノ金額カ建設費ニ達セサル場合ニ於テハ其ノ建設費以內ニ於テ協定シタル金額ヲ以テ買收價格トス

第三十三條 地方鐵道業者カ鐵道若ハ其ノ附屬物件ノ補修ヲ爲サス又ハ法令若ハ法令ニ基キテ爲ス命令ニ依リ改築若ハ改造ヲ爲スヘキ場合ニ於テ之ヲ爲ササルトキハ補修ニ要スル金額ハ之ヲ營業費ニ加算シ改築又ハ改造ニ要スル金額ハ之ヲ買收價額ヨリ控除ス

第三十四條 買收ヲ受クヘキ地方鐵道業者カ兼業ヲ營ム場合ニ於テハ其ノ兼業ニ屬スル資産ヲ併セテ買收スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ買收價額ハ協定ニ依ル

第三十五條 買收代價ハ券面金額ニ依リ五十五年内ニ償還スヘキ五分利付國債證券ヲ以テ之ヲ交付ス此ノ場合ニ於テ五十圓未滿ノ端數ハ之ヲ券面金額五十圓トス

第三十六條 政府ニ於テ地方鐵道ニ接近シ又ハ並行シテ鐵道ヲ敷設シタル爲地方鐵道業者カ其ノ接近シ又ハ並行スル區間ノ營業ヲ繼續スルコト能ハサルニ至リタルトキハ政府ハ其ノ營業廢止ニ因リテ生スル損失ヲ補償スルコトヲ得殘存線路ノミニ付營業ヲ繼續スルコト能ハサルニ至リタルトキ亦同シ
補償金額ハ第三十一條乃至第三十三條ノ規定ニ依リテ算出シタル價額ヨリ殘存物件ノ價額ヲ控除シタル金額以内ニ於テ政府之ヲ定ム

前條ノ規定ハ補償金ノ支拂ニ付之ヲ準用ス

第三十六條ノ二 政府ニ於テ地方鐵道ニ接近シ又ハ並行シテ鐵道ヲ敷設シタル爲地方鐵道ノ每營業年度ニ於ケル益金又ハ益金ト地方鐵道補助法ニ依リ受クル補助金トノ合計カ當該營業年度ノ建設費ニ益金ノ平均割合ヲ乘シタル額ニ不足スルトキハ政府ハ政府ノ該鐵道運輸開始ノ日ヨリ五年ヲ限り帝國鐵道特別會計收益勘定豫算ノ範圍内ニ於テ其ノ不足額ヲ補償スルコトヲ得但シ每營業年度ニ於ケル補償額ハ益金又ハ益金及補助金ト合セ建設費ノ百分ノ七ニ相當スル額ヲ超ユルコトヲ得ス

前項ノ益金ノ平均割合トハ政府ノ該鐵道運輸開始ノ日ノ屬スル營業年度ノ前營業年度末ヨリ遡リ既往三年間ニ於ケル每營業年度ノ開業線建設費ノ合計ヲ以テ同期間ニ於ケル營業收入ヨリ營業費及賞與金ヲ控除シタル殘額ノ合計ヲ除シタルモノヲ謂フ

第三十一條第三項ノ規定ハ前二項ノ益金、營業收入及營業費ニ、地方鐵道補助法第六條及第七條ノ規

定ハ第一項ノ補償ニ付之ヲ準用ス

第三十七條 地方鐵道業者カ法令若ハ法令ニ基キテ爲ス命令又ハ免許、許可若ハ認可ニ附シタル條件ニ違反シ其ノ他公益ヲ害スル行爲ヲ爲シタルトキハ主務大臣ハ左ノ處分ヲ爲スコトヲ得

- 一 取締役其ノ他ノ役員ヲ解任スルコト
- 二 政府ニ於テ又ハ他ノ地方鐵道業者ヲシテ地方鐵道業者ノ計算ニ於テ必要ナル施設若ハ營業ノ管理ヲ爲シ又ハ爲サシムルコト
- 三 免許ノ全部又ハ一部ヲ取消スコト

前項ノ規定ニ依リテ解任セラレタル取締役其ノ他ノ役員ハ再任セララルコトヲ得ス

第三十八條 免許ヲ受ケスシテ地方鐵道ヲ敷設シ又ハ認可ヲ受ケスシテ運輸ヲ開始シタル者ハ百圓以上二千圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十九條 左ノ場合ニ於テハ地方鐵道業者又ハ其ノ役員若ハ使用人ヲ十圓以上千圓以下ノ過料ニ處ス

- 一 前條ノ場合ヲ除クノ外本法ニ依リ許可又ハ認可ヲ受クヘキ事項ヲ許可又ハ認可ヲ受ケスシテ爲シタルトキ
- 二 法令ニ基キテ爲シタル命令又ハ免許、許可若ハ認可ニ附シタル條件ニ基キテ爲シタル命令ニ違反シタルトキ
- 三 監査員ノ職務ノ執行ヲ妨ケタルトキ
- 四 法令又ハ法令ニ基キテ爲ス命令ニ依リテ爲スヘキ届出、報告其ノ他ノ書類、圖面ノ提出若ハ調製

ヲ怠リ又ハ虚偽ノ届出、報告若ハ記載ヲ爲シタルトキ
非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前項ノ過料ニ之ヲ準用ス
第四十條 前二條ノ規定ハ公共團體カ地方鐵道業ヲ營ム場合ニ之ヲ適用セス

附 則

第四十一條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四十二條 私設鐵道法及輕便鐵道法ハ之ヲ廢止ス

舊法ニ依リテ爲シタル免許若ハ指定、許可又ハ認可ハ本法ニ依リテ爲シタル免許、許可又ハ認可ト看
做ス但シ其ノ免許若ハ指定、許可又ハ認可ニ附シタル條件ニシテ本法ニ牴觸スルモノハ其ノ效力ヲ失
フ

第二條及第三條ノ規定ハ舊法ニ依リテ免許又ハ指定ヲ受ケタルモノニ之ヲ適用セス

第四十三條 輕便鐵道法ニ依リテ輕便鐵道抵當原簿ニ登録セラレタル事項ハ之ヲ鐵道抵當法ニ依リ鐵道

抵當原簿ニ登録セラレタルモノト看做シ輕便鐵道抵當原簿ハ鐵道抵當原簿ト看做ス

第四十四條 輕便鐵道法ニ依リテ爲シタル處分、手續其ノ他ノ行爲ハ本法中之ニ相當スル規定アル場合

ニ於テハ本法ニ依リテ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第四十五條 軌道又ハ專用鐵道ヲ地方鐵道ニ變更セムトスルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ主務大臣ノ許
可ヲ受クヘシ(大正八年勅令第三百七十四號ヲ以テ同年八月十五日ヨリ施行)

◎地方鐵道法其他施行期日ノ件(大正八年八月十二日勅令第三七四號)

地方鐵道法、大正八年法律第五十一號、同年法律第五十三號、同年法律第五十四號、同年法律第五十五
號及同年法律第五十六號ハ大正八年八月十五日ヨリ之ヲ施行ス

◎地方鐵道法施行規則

(大正八年八月十三)改(大正十年八月四日) 日閣令第一〇號 正(鐵道省令第一號)

第一條 地方鐵道ノ免許、許可及認可申請書並届出ニシテ地方長官ヲ經由スヘキモノハ鐵道ヲ敷設スル地ヲ管轄スル地方長官ヲ經由シ之ヲ提出スヘシ但シ二府縣以上ニ亘リ敷設スル地方鐵道ニ在リテハ其ノ起點所在地ヲ管轄スル地方長官ヲ經由スヘシ

◎鐵道敷設出願ニ關シ意見開申方ノ件 (大正四年六月十五日發土第五七) 五二 (號各地方長官宛土木局長通牒)

◎鐵道敷設出願ニ關シ意見開申方注意ノ件 (大正五年四月十一日發第一五三號) 五三 (ノ内各地方長官宛土木局長通牒)

◎地方鐵道敷設出願ニ關スル件 (大正十一年四月二十日發土第三) 五三 (一號各地方長官宛土木局長通牒)

第二條 地方長官ハ免許申請書ニ左ノ事項ニ關スル調査書及免許ノ許否ニ關スル意見書ヲ附シ之ヲ進達スヘシ

- 一 申請者ノ資産及信用程度
- 二 事業ノ成否
- 三 事業ノ效用
- 四 他ノ鐵道又ハ軌道(未開業ノ鐵道又ハ軌道ヲ含ム)ニ及ホス影響

五 他ノ鐵道又ハ軌道ノ競願アルトキハ其ノ鐵道又ハ軌道ノ名稱區間及申請書ノ受付年月日

六 其ノ他必要ト認ムル事項
前條但書ノ場合ニ於テハ免許申請書ヲ受付ケタル地方長官ハ關係地方長官ニ商議シ前項ノ調査書及意見書ヲ作製スヘシ

第三條 免許ノ申請書ニハ左ノ書類ヲ添附シ申請者又ハ其ノ代理人記名捺印スヘシ但シ代理人ニ於テ記名捺印スルトキハ代理權ヲ證スル書面ヲ添付スヘシ

- 一 組合ニ在リテハ組合契約書ノ謄本
 - 二 會社ヲ設立セムトスルモノニ在リテハ定款ノ謄本
 - 三 既設會社ニ在リテハ地方鐵道ノ營業ヲ目的トスルモノヲ除クノ外定款及登記謄本
 - 四 公共團體ニ在リテハ地方鐵道經營ニ關スル決議要領書
- 第四條 起業目論見書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 目的
- 二 商號又ハ名稱及主タル事務所ノ設置地
- 三 鐵道事業ニ要スル資金ノ總額及其ノ出資方法
- 四 線路ノ起終點及其ノ經過スヘキ主ナル市町村名並線路ノ一部ヲ道路ニ敷設セムトスルトキハ其ノ區間及道路ノ種別
- 五 軌間

六 動力 蒸氣、電氣等ノ別、電氣ヲ動力トスルモノニシテ自ラ發電設備ヲ有スルモノニ在リテハ原動力ノ種類(火力、水力ノ別)、他ヨリ電力ノ供給ヲ受クルモノニ在リテハ供給者名

第五條 線路豫測圖ハ左ノ二種トス

一 平面圖
縮尺ハ一時三十釐以上トシ、線路經過地ノ地名及地勢、停車場ノ位置及名稱並半哩毎ニ哩程ヲ記シ方位ヲ示スヘシ

二 縱斷面圖

縮尺ハ距離ヲ一時三十釐以上、高サヲ一時百五十呎以上トシ中心線地面及施工基面ノ高低ヲ示シ隧道及橋梁ノ長、線路ノ勾配並停車場ノ位置及名稱ヲ記スヘシ

第六條 建設費ノ概算書ハ第一號様式ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第七條 運送營業上ノ收支概算書ハ第二號様式ニ依リ之ヲ調製シ第三號様式ニ依ル運輸數量表ヲ添付スヘシ

第八條 免許ヲ受ケタル者會社ノ發起人又ハ組合員ナルトキハ發起人又ハ法人ニ非サル組合ノ組合員ノ加入又ハ脱退ハ地方長官ヲ經由シ監督官廳ノ許可ヲ受クヘシ但シ死亡ニ因ル脱退ハ此ノ限ニ在ラス

第九條 免許ヲ受ケタル後工事施行ノ認可ヲ受クル前ニ於テ起業目論見書ニ記載シタル事項ヲ變更セントスルトキハ地方長官ヲ經由シ監督官廳ノ認可ヲ受クヘシ但シ商號又ハ名稱、主タル事務所ノ設置地

及電力供給者ノ變更ハ此ノ限ニ在ラス

前項但書ニ於テハ遲滞ナク地方長官ヲ經由シ之ヲ届出ツヘシ

第十條 工事施行ノ認可申請書ハ地方長官ヲ經由シ之ヲ提出スヘシ

鐵道カ二府縣以上ニ亘ル場合ニ於テハ其ノ關係部分ニ對スル書類及圖面ノ謄本ヲ調製シ之ヲ關係地方

長官ニ提出スヘシ

第十一條 線路實測圖ハ左ノ二種トス

一 平面圖

縮尺ハ一時三十釐以上トシ線路ノ左右各十釐以内ノ地勢ヲ明ニシ其ノ他附近ノ市街、村落、社寺、名稱、舊蹟、公園、道路、鐵道、軌道、山岳、河川(氾濫地域ヲ記載スルコト)、運河、港灣、要塞

地帶等ヲ記シ府、縣、郡、市、町、村ノ境界及方位ヲ示スヘシ

線路中心線ニハ半哩毎ニ哩程ヲ記シ曲線ノ半徑及交角並停車場、停留場及信號所ノ位置、名稱及中

心哩程ヲ記スヘシ

二 縱斷面圖

縮尺ノ長ハ平面圖ト同一ニシテ高ハ一時百五十呎以上トシ中心線地面及施工基面ノ高低並築堤ノ高及切取ノ深ヲ十釐毎ニ記シ隧道ノ長、橋梁(溝橋ヲ含ム以下同シ)ノ徑間及徑間數、桁ノ種類及材質、

停車場、停留場及信號所ノ名稱及中心哩程、重要ナル踏切道並線路ノ勾配ヲ記スヘシ

線路カ他ノ鐵道又ハ軌道ト交叉、連絡又ハ接近スルトキハ其ノ鐵道又ハ軌道ノ前後各半哩間ノ中心線

及高低ノ關係ヲ明ニスヘシ
線路カ市街地ヲ通過シ又ハ之ニ接近スルトキハ別ニ縮尺一吋三釐ノ平面圖及縮尺長一吋三釐高一吋三
十呎ノ縱斷面圖ヲ添附スヘシ

第十二條 工事方法書ニハ左ノ實施設計ヲ記載スヘシ

- 一 動力
- 二 軌間
- 三 單線、複線等ノ別及其ノ區間
- 四 軌道ノ中心間隔
- 五 建築定規及車輛定規(各部寸法、兩定規相互ノ關係及建築定規軌條部分ノ明細ヲ記入シタル圖面ニ依リ明示スルコト)
- 六 最小曲線半徑
- 七 最急勾配
- 八 土工定規(第四號樣式ニ依ル圖面添附)
 - (イ) 線路施工基面ノ幅(築堤、切取等ヲ區別シ側溝ヲ除キタル幅ヲ記載スルコト)
 - (ロ) 築堤及切取斜面ノ勾配(高又ハ地質ニ應スル斜面ノ勾配ヲ記載スルコト)
 - (ハ) 用地ノ限界(築堤法尻又ハ切取法肩ヨリ用地ノ境界迄ノ距離ヲ乾地、濕地ニ區別シ記載スルコト)

九 橋梁

- (イ) 橋臺、橋脚(粗石積、煉瓦積、混凝土工、木造等ノ別ヲ記載スルコト)
- (ロ) 基礎(抗打混凝土工、煉瓦沈井工等ノ別ヲ記載スルコト)
- (ハ) 桁(鋼、鐵筋混凝土、松等ノ別並工字形桁、鈹桁、溝桁等ノ別ヲ記載スルコト)
- (ニ) 拱(煉瓦卷、鐵筋混凝土工等ノ別ヲ記載スルコト)
- (ホ) 橋梁ノ所定動荷重及桁ノ最大應力(第五號樣式ニ依ル圖表添附)
- (ヘ) 重要ナル架橋河川ノ平水位、最高水位及其ノ水位ト桁ノ下端トノ距離
- (イ) 乃至(ニ)ニ付テハ各部分材質及構造寸法ヲ示ス設計圖並異ル徑間ヲ使用スル橋梁ニ在リテハ徑間配置圖ヲ各橋梁毎ニ添附スヘシ但シ模範設計ヲ定メ之ヲ適用スヘキ箇所ヲ示シタルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

十 隧道

- (イ) 各其ノ地質ニ應スル施工斷面(拱、側壁、仰拱及排水渠ノ材質及構造寸法ヲ圖面ニ依リ明示スルコト)
- (ロ) 坑門(材質及構造寸法ヲ圖面ニ依リ明示スルコト)
- 十一 軌條、轉轍器、轍叉及枕木
 - (イ) 軌條ノ重量(重量ノ異ル軌條ヲ使用スルトキハ各軌條ノ使用區間ヲ明示スルコト)
 - (ロ) 軌條及附屬品ノ材質及形狀(軌條又ハ附屬品ノ異ル毎ニ形狀寸法ヲ明示スル圖面添附)

(ハ) 轉轍器及轍叉ノ構造(轉轍器ニ在リテハ重錘取柄式又ハ自動彈機式等ノ別、轍叉ニ在リテハ番號ヲ記シ轉轍器尖端軌條ノ開キ並轍叉翼軌條及護輪軌條ノ間隔等各部ノ寸法ヲ詳記セル圖面添

附)

(ニ) 枕木ノ寸法及敷設間隔(軌條重量ノ異ル毎ニ中心距離ノ最大ナルモノヲ記載スルコト)

十二 停車場、停留場及信號所

(イ) 建造物、配線、用地境界及實測中心哩程(本屋、待合所、貨物庫、車庫、乘降場、貨物積卸場、常置信號機、跨線橋、地下道、轉車臺、給水器、石炭臺、灰坑等ノ位置、乘降場及貨物積卸場ノ長及幅、轍叉ノ番號、線路ノ配置、用地境界及實測中心哩程ヲ平面圖(縮尺一吋一釐)ニ依リ明示スルコス)

(ロ) 軌道ト乘降場及貨物積卸場トノ關係(橫斷面圖ニ依リ明示スルコト)

(ハ) 聯動裝置(圖表ヲ添附シ説明スルコト)

十三 他ノ鐵道又ハ軌道トノ交叉方法(交叉設計圖ヲ添附シ停車場、信號所以外ニ於テ人力又ハ馬力ヲ動力トスル鐵道又ハ軌道ト平面交叉ヲ爲ス場合ニ在リテハ其ノ保安設備ニ付説明スルコト)

十四 閉塞信號機(設計及位置ヲ明示スル圖面ヲ添附シ作用ヲ説明スルコト)

十五 車輛

(イ) 機關車

一 形式(四輪聯結六輪タンク機關車、六輪聯結十輪テンダー機關車等ノ別ヲ記載スルコト)

一 輛數

一 重量(運轉整備ノトキニ於ケル總重量ヲ英噸ヲ以テ記載スルコト)

一 働輪一對ノ軌條面最大壓力(運轉整備ノトキニ於ケル重量ヲ英噸ヲ以テ記載スルコト)

(ロ) 客車及貨車

一 車種(ボギー車、四輪車等ノ別ヲ記載スルコト)

一 輛數

一 自重(英噸ヲ以テ記載スルコト)

一 定員

一 積載重量(英噸ヲ以テ記載スルコト)

(ハ) 汽動車(機關車及客貨車ニ準シ記載スルコト)

十六 車輛修繕設備ノ大要

十七 特殊設計

電氣ヲ動力トスルモノニ在リテハ前項ノ外左ノ實施設計ヲ記載スヘシ

一 送電系統(發電所、變電所、蓄電所、配電所及電車線路間相互ノ送電關係ヲ圖面ニ依リ明示スルコト)

二 電氣鐵道ノ方式(直流、交流、架空單線式、架空複線式、第三軌條式等ノ別及電車線ノ電壓ヲ記載スルコト)

三 發電所、變電所、蓄電所及配電所

- (イ) 所在地(道、府、縣、郡、市、町、村、番地ヲ記載スルコト)
- (ロ) 出力(最大出力、平均出力及最大出力ノ繼續時間ヲ記載スルコト)
- (ハ) 原動機、發電機、電動發電機、回轉變流機、周波數、變換機、變壓器、蓄電池、昇壓機等ノ種類、箇數(常用ト豫備トニ別テ記載スルコト)容量(馬力數、キロワット數、キロヴォルトアンペア又ハアンペア時數ヲ記載スルコト)電壓、電流、相及周波數

四 送電線路及饋電線路(電線路毎ニ記載スルコト)

- (イ) 電氣方式(直流及交流ノ別並相及線式ヲ記載スルコト)及最大電壓
- (ロ) 電線路ノ構造

- 一 電線ノ種類(材質並單一線、撚線、被覆線及裸線ノ別ヲ記載スルコト)及太サ
- 一 架設方法(架空式ニ在リテハ木柱、鐵柱、鐵塔等ノ別、地中式ニ在リテハ暗渠、線渠、直接埋設等ノ別ヲ記載スルコト)

五 電車線路

(イ) 架空複線式

- 一 電線ノ種類、太サ及吊架方法(スパン線式又ハハブラケット式及直接吊線式又ハ鏈線吊線式等ノ別ヲ記載シ其ノ構造寸法ヲ示ス圖面添附)
- 一 支持物ノ種類(木柱、鐵柱、鐵塔等ノ別ヲ記載スルコト)建植方法(中央柱及側柱ノ別ヲ記載スルコト)柱間距離(平均及最大距離ヲ記載シ最大距離二百呎以上ナルトキハ其ノ電線ノ弛度

及支持物ノ強度ニ關スル計算ヲ示スコト)

- 一 他ノ建造物トノ關係上施設スヘキ設計(圖面ヲ添附シ説明スルコト)

(ロ) 架空單線式

一 (イ)ニ掲クル事項

- 一 軌條ノ接續方法(圖面ヲ添附シ説明スルコト)
- 一 補助線及軌條ポンドノ種類及太サ
- (ハ) 第三軌條式
 - 一 敷設方法(圖面ヲ添附シ説明スルコト)
 - 一 第三軌條ノ重量及形狀
 - 一 第三軌條及軌道軌條ノ接續方法(圖面ヲ添附シ説明スルコト)
 - 一 軌條ポンドノ種類及太サ

六 電氣機關車及電車

- (イ) 電動機ノ種類、箇數、馬力數及電壓
 - (ロ) 制御裝置ノ種類及制御器ノ箇數
 - (ハ) 聚電裝置ノ種類及箇數
- 七 鐵道ノ動力トシテ他ヨリ電力ノ供給ヲ受クル場合
- (イ) 供給電力ノ電氣方式、最大電壓、容量及供給時間

(ロ) 送電上ノ責任分界點、電氣工作物ノ所有權分界點(圖面ニ依リ明示スルコト)

(ハ) 受電設備ノ大要(圖面ヲ添附シ説明スルコト)

第十三條 他ノ鐵道又ハ軌道ト交叉又ハ連絡スル場合ニ於テハ交叉又ハ連絡ニ關スル協定書ノ謄本及鐵道ノ動力トシテ他ヨリ電力ノ供給ヲ受クル場合ニ於テハ供給契約書ノ謄本ヲ工事方法書ニ添附スヘシ

第十四條 建設費豫算書ハ第六號様式ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第十五條 建設費豫算總額ノ變更ハ第七號様式ニ依リ之ヲ届出ツヘシ

第十六條 免許ヲ受ケタル鐵道線路ノ全部ニ對シ工事施行ノ認可ヲ一時ニ申請スルコト能ハサルトキハ其ノ理由ヲ具シ分割シテ認可ヲ申請スルコトヲ得

第十七條 地方鐵道法第十四條ノ規定ニ依ル期限伸長ノ申請書ハ其ノ理由ヲ具シ地方長官ヲ經由シ之ヲ提出スヘシ

第十八條 工事施行ノ認可ヲ受ケタル後線路又ハ工事方法書ニ記載シタル事項ヲ變更セムトスルトキハ其ノ理由ヲ具シ第十一條及第十二條ノ規定ニ準シ線路實測圖及變更セムトスル事項ニ關スル工事方法書(線路及停車場ノ變更ニ在リテハ新舊對照圖添附)ヲ調製シ監督官廳ノ認可ヲ受クヘシ

前項ノ認可申請書ニハ工費豫算書ヲ添附シ工費支出ノ途ヲ明ニスヘシ但シ重要ナラサル變更ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

停車場ノ廢止、線路及橋梁ノ重要ナル變更並洪水氾濫地域ニ於ケル線路及橋梁ノ變更ノ認可申請書ハ地方長官ヲ經由シ之ヲ提出スヘシ

第十八條 線路及工事方法書ニ記載シタル事項ノ變更ニシテ左ニ掲クルモノハ其ノ理由ヲ具シ新舊ヲ對照シ監督官廳ニ之ヲ届出ツヘシ

一 線路中心線ノ變更カ市街又ハ家屋稠密ノ地ニ在リテハ左右各一鎖以内其ノ他ノ地ニ在リテハ各五鎖以内ナルトキ(圖面添附)

二 曲線ノ半徑ヲ變更シテ之ヲ長カラシムルトキ又ハ軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ八鎖迄其ノ他ノモノニ在リテハ十二鎖迄之ヲ短縮スルトキ(圖面添附)

三 施工基面高低ノ變更カ市街又ハ家屋稠密ノ地ニ在リテハ二呎以内其ノ他ノ地ニ在リテハ六呎以内ナルトキ(圖面添附)

四 線路ノ勾配ヲ變更シテ之ヲ緩ナラシムルトキ又ハ電氣ヲ動力トスルモノニ在リテハ四十分ノ一迄其ノ他ノモノニ在リテハ六十分ノ一迄之ヲ急ナラシムルトキ(圖面添附)

五 線路ノ勾配二百分ノ一ヨリ急ナラサル箇所ニ於ケル停車場ノ中心哩程ノ變更カ市街又ハ家屋稠密ノ地ニ在リテハ一鎖以内其ノ他ノ地ニ在リテハ五鎖以内ナルトキ(圖面添附)

六 停車場、停留場及信號所ノ名稱變更

七 停留場及側線ノ設ナキ信號所ノ新設又ハ位置變更(圖面添附)

八 踏切道ノ増減

九 二十呎以内ノ橋梁及五鎖以内ノ隧道ノ廢止並認可ヲ得タル設計ト同一設計ニ依ル橋梁及隧道ノ新設又ハ伸縮(圖面添附)

十 停車場、停留場及信號所ニ於ケル建造物及線ノ伸縮増減（停車場ヲ停留場ニ又ハ停留場ヲ停車場ニ變更スル場合ヲ除ク）並用地境界ノ變更（圖面添附）
洪水氾濫地域ニ於ケル線路及橋梁ノ變更ニ付テハ前條ノ規定ノ適用ヲ妨ケス

◎輕便鐵道法施行規則第十七條第三號解釋ニ關スル件

（大正六年十月二日成例第）五四
三八號鐵道院議決定

第十九條 工事ニ著手シタルトキハ一週間以内ニ監督官廳ニ之ヲ届出テ毎年六月及十二月ノ末日現在ニ依リ翌月十五日迄ニ第八號様式ニ依ル工程表ヲ提出スヘシ

第二十條 車輛ニ關シテハ其ノ製作又ハ購入前設計ヲ定メ左ノ事項ヲ記載シ監督官廳ノ認可ヲ受クヘシ
但シ政府ノ鐵道所屬ノ車輛又ハ既認可ノ車輛ニシテ改造ヲ加ヘサルモノヲ購入スル場合ニ於テハ前使用者名、舊形式稱號及番號ヲ記載シ左ノ事項ノ記載ヲ省略スルコトヲ得
一 機關車 設計ノ異ル毎ニ設計書ヲ作製スルコト

（イ） 形式（四輪聯結六輪タンク機關車、六輪聯結十輪テンダー機關車等ノ別ヲ記載スルコト）
（ロ） 輛數

（ハ） 重量（運轉整備ノトキニ於ケル汽關車及炭水車ノ各車輪一對ノ軌條面壓力ヲ英噸ヲ以テ記載スルコト）

（ニ） 主要寸法（平面、側面及端面並要部ノ斷面ヲ示シ且主要ナル構造寸法ヲ記入シタル組立圖ヲ

添附シ端面圖ニハ車輛定規トノ關係ヲ示スコト）

一 最大寸法（長ハ前後緩衝器間ノ距離、幅ハ車體中心線ヨリ側部ニ於ケル最出部迄ノ距離ノ二倍、高ハ軌條面ヨリ最高部迄ノ距離）

一 車輪輪軸距（機關車及炭水車ヲ區別シ固定輪軸距、全輪軸距、機關車及炭水車ヲ合シタル全輪軸距）

一 軌條面ヨリ緩衝器及聯結器ノ中心迄ノ高

一 兩側緩衝器中心間ノ距離

（ホ） 汽罐ノ構造（罐胴、煙櫃及火室ノ構造寸法並各飯ノ繼手及各種繫桿ノ構造配置ヲ示ス（圖面添附）

一 火床面積（平方呎ヲ以テ記載スルコト）

一 傳熱面積（總面積ヲ記載シ焔管ノ面積、火室ノ面積、過熱面積等ヲ區別シ平方呎ヲ以テ記載スルコト）

一 焔管ノ外徑及長（長ハ管飯管ニテ計リタルモノヲ記載スルコト）

一 實用最高汽壓（一平方吋ニ付封度ヲ以テ記載スルコト）

（ヘ） 汽機ノ構造（汽笛ノ直徑及衝程ヲ記載シ汽笛及汽櫃ノ構造並擺動弁運動裝置ヲ圖面ニ依リ明示スルコト）

（ト） 臺框ノ構造（圖面ニ依リ明示スルコト）

- (チ) 聯結桿及併行桿ノ構造(圖面ニ依リ明示スルコト)
- (リ) トラックノ構造(圖面ニ依リ明示スルコト)
- (ヌ) 車輪車軸ノ構造(車輪車軸圖、作圖上必要ナル寸法ヲ詳記シタル輪鐵ノ現尺断面圖及車輪ト轍又トノ關係ヲ明示セル断面圖添附)
 - 一 車輪ノ直徑(働輪、導輪、從輪及炭水車ノ各輪ヲ區別シ記載スルコト)
 - 一 車輪一對ノ輪鐵内側距離
- (ル) 擔彈機ノ構造及裝置(圖面ニ依リ明示スルコト)
- (ヲ) 緩衝器、聯結器ノ種類及構造(兩側緩衝器、中央緩衝聯結器、自動聯結器、螺旋聯結器等ノ別ヲ記載シ其ノ構造ヲ圖面ニ依リ明示スルコト)
- (ワ) 制動機ノ種類及裝置、手用、蒸氣、真空制動機等ノ別ヲ記載シ制動裝置圖添附)
- (カ) 燃料櫃ノ容積(立方呎ヲ以テ記載スルコト)及水槽容量(英ガロンヲ以テ記載スルコト)
- (ヨ) 牽引重量(一時間二十哩ノ速度ニテ百分ノ一勾配ヲ上ルトキ計算上牽引シ得ヘキ重量ヲ英噸ヲ以テ記載スルコト)但シ軌間二呎六吋ノ鐵道ニ在リテ八十哩ノ速度ニ依リ計算スルコト)
- (タ) 特殊設計(圖面ヲ添附シ構造裝置ヲ説明スルコト)
- 二 客車及貨車(設計ノ異ル毎ニ設計書ヲ作製スルコト)
 - (イ) 車種(ボギー車、四輪車等ノ別、客車ニ在リテハ特等、並等、手小荷物緩急車等、貨車ニ在リテハ有蓋、無蓋、貨物緩急車等ノ別ヲ記載スルコト)

- (ロ) 輛數
- (ハ) 自重(英噸ヲ以テ記載スルコト)
- (ニ) 定員(座席定員及起立定員ヲ等級別ニ記載スルコト)
- (ホ) 定員一人ニ對スル客室面積(等級ニ依リ區別シ平方呎ヲ以テ記載スルコト)
- (ヘ) 積載容積及積載重量(郵便室、手小荷物室等ヲ區別シ積載容積ハ立方呎及百立方呎ヲ容積一噸ニ換算シタル噸數ヲ記載シ積載重量ハ英噸ヲ以テ記載スルコト)
- (ト) 主要寸法(平面、側面及端面並要部ノ断面ヲ示シ且主要ナル構造寸法ヲ記入シタル組立圖ヲ添附シ端面圖ニハ車輛定規トノ關係ヲ示スコト)
 - 一 最大寸法(長ハ前後緩衝器間ノ距離、幅ハ車體中心線ヨリ側部ニ於ケル最突出部迄ノ距離ノ二倍、高ハ軌條面ヨリ最高部迄ノ距離)
 - 一 車體内寸法(客車ニ在リテハ各客室、郵便室、手小荷物室、車掌室ヲ貨車ニ在リテハ車掌室アルモノハ之ニ區別シ長、幅及高ヲ記載スルコト)
 - 一 固定輪軸距及ボギー中心間ノ距離
 - 一 軌條面ヨリ緩衝器及聯結機ノ中心迄ノ高(空車ノトキ)
 - 一 兩側緩衝器中心間ノ距離
 - (チ) 臺框ノ構造(圖面ニ依リ明示スルコト)
 - (リ) トラックノ構造(圖面ニ依リ明示スルコト)

(ヌ) 車輪車軸ノ構造(車輪車軸圖、作圖上必要ナル寸法ヲ詳記シタル輪鐵ノ現尺断面圖及車輪ト轆又トノ關係ヲ明示セル断面圖添附)

一 車輪ノ直徑

一 車輪一對ノ輪鐵内側距離

(ル) 擔彈機ノ構造及裝置(圖面ニ依リ明示スルコト)

(ヲ) 緩衝器及聯結器ノ種類及構造(兩側緩衝器、中央緩衝聯結器、自動聯結器、螺旋聯結器、連環聯結器等ノ別ヲ記載シ其ノ構造ヲ圖面ニ依リ明示スルコト)

(ワ) 制動機ノ種類及裝置(手用、壓搾空氣、車側制動機等ノ別ヲ記載シ制動裝置圖添附)

(カ) 客車内點燈ノ種類及設備(電燈ニ在リテハ電線接續圖添附)

(ヨ) 特殊設計(圖面ヲ添附シ構造裝置ヲ説明スルコト)

三 汽動車(機關車及客貨車ニ準シ記載スルコト)

四 電氣機關車及電車

(イ) 第一號及第二號ニ掲クル事項

(ロ) 電動機ノ構造(圖面添附)種類、箇數、馬力數、齒車ノ比(電動機及齒輪ノ回轉數ノ割合ヲ記載スルコト)及電壓

(ハ) 制御器ノ種類、箇數及裝置

(ニ) 聚電裝置ノ構造(圖面添附)種類及箇數

(ホ) 車内電線接續(圖面ニ依リ明示スルコト)
車輛ノ圖面ニハ第九號様式ニ依ル主要材料表ヲ添附スヘシ

◎輕便鐵道、專用鐵道又ハ軌道車輛ノ直通運轉ニ關スル件
(大正八年一月八日成例第五) 五四
(一號鐵道業者宛鐵道院通牒)

◎蒸氣機關車汽罐罐胴ノ縱繼手腐蝕並胴ノ破裂ニ關スル件
(大正十三年十月二十五日監鐵第六三) 五五
(一八號鐵道業者宛監督局長通牒)

◎地方鐵道所屬直通貨車ニ階段及網掛取付方ノ件
(大正十四年十月鐵運乙ハ四四〇一號直通貨車ヲ) 五五
(所有スル鐵道經營者宛運輸、監督兩局長通牒)

第二十一條 前條ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケタル後車輛ノ設計ヲ變更セムトスルトキハ新舊ヲ對照シ其ノ理由及圖面ヲ具シ監督官廳ノ認可ヲ受クヘシ但シ左ニ掲クルモノハ其ノ理由ヲ具シ之ヲ届出ツヘシ

一 認可ヲ受ケタル設計ト同一設計ニ依ル車輛ノ增加及改造

二 認可ヲ受ケタル設計ト同一設計ニ依ル客車及貨車ノ車種變更

三 客車内點燈ノ種類及設備ノ變更(電燈ニ在リテハ電線接續圖添附)

四 定員又ハ定員一人ニ對スル客室面積ノ變更

五 吊革又ハ網棚ノ設置、廢止又ハ變更及坐席、暖房其ノ他客車内設備ノ輕微ナル變更（必要ニ應シ
圖面添附）

第二十二條 車輛ヲ製作、購入又ハ改造シタルトキハ第十號様式ニ準シ型式稱號ノ異ル毎ニ竣功圖ヲ添
附シ監督官廳ニ届出ツヘシ

第二十三條 運輸開始ノ認可申請書ニハ左ノ圖面及諸表ヲ添附スヘシ

一 線路平面圖及縱斷面圖（第十一條ノ規定ニ準シ之ヲ作製シ線路實測哩程ニ端鎖アルトキハ停車場、
停留場及信號所ノ換算中心哩程ヲ併記スルコト）

二 電氣工事竣功圖表（第十一號様式）

地方鐵道法第十六條ニ規定スル工事竣功セサルトキハ運輸開始ノ申請ヲ爲スコトヲ得ス但シ其ノ工事
ニ付所管行政廳ノ承認ヲ得タル場合ハ此ノ限ニ在ラス

◎地方鐵道ノ工事ニ因リ必要ヲ生シタル道路河川等ノ工事ニ關スル件

（大正八年十一月二十七日發土第一一六號）
號各地方長官宛土木、監督兩局長通牒）五六

第二十四條 運輸ヲ開始シタルトキハ即日電信、電話又ハ口頭ヲ以テ之ヲ届出ツヘシ

第二十四條ノ二 軌道ヲ地方鐵道ニ變更ノ許可申請書ニハ其ノ理由並左ノ書類及圖面ヲ具シ地方長官ヲ
經由シ鐵道大臣及内務大臣ニ之ヲ提出スヘシ但シ内務大臣ニ提出スル申請書ニハ書類及圖面ヲ具備スル
コトヲ要セス

一 工事施行ノ認可ヲ受ケサル區間ニ在リテハ第三條、第四條第三號、第五條及第六條ノ規定ニ依ル
書類及圖面

二 工事施行ノ認可ヲ受ケタル區間ニ在リテハ第三條、第十一條、第十二條、第十四條及第二十條ノ
規定ニ依ル書類及圖面

軌道ノ特許又ハ工事施行ノ認可申請ニ際シ提出シタル書類又ハ圖面ニシテ前項ニ掲グル書類又ハ圖面
ニ該當スルモノアルトキハ其ノ旨ヲ附記シ之カ提出ヲ省略スルコトヲ得

第二十四條ノ三 専用鐵道ヲ地方鐵道ニ變更ノ許可申請書ニハ其ノ理由及運送營業上ノ收支概算書ヲ具
シ地方長官ヲ經由シ鐵道大臣ニ之ヲ提出スヘシ

前條第一項第二號、第二項及第七條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二十五條 假設工事ヲ施行セムトスルトキハ其ノ理由、工事設計書及圖面ヲ具シ使用期間ヲ定メ監督
官廳ノ認可ヲ受クヘシ

天災事變ノ際一時ノ用ニ供スル爲假設工事ヲ施行シタルトキハ其ノ使用期間ヲ定メ之ヲ届出ツヘシ
洪水氾濫地域ニ係ル線路及橋梁ニ關スル假設工事及流水斷面ヲ縮小スル橋梁ニ關スル假設工事ノ認可
申請書及届書ハ地方長官ヲ經由シ之ヲ提出スヘシ

◎鐵道ノ假設工事其ノ他ニ關スル件
（大正六年二月十五日監輕
第五四號鐵道院議決定）五七

第二十六條 他ノ鐵道又ハ軌道ノ車輛ヲ運轉セムトスルトキハ該車輛ノ屬スル鐵道又ハ軌道及車輪一對

ノ軌條面最大壓力ヲ記載シ監督官廳ノ認可ヲ受クヘシ
機關車ニ在リテハ前項ノ外型式稱號及番號ヲ附記スヘシ

◎地方鐵道法施行規則第二十六條ニ據ル他鐵道所屬車輛運轉ニ關スル件

(大正十五年十月十八日監雜第七一二號西) 五七
部鐵軌懇話會宛監督、運轉兩局長回答

第二十七條 株金全額拂込前ノ資本増加ノ認可申請書ニハ其ノ理由ヲ具シ資本増加ヲ決議シタル株主總會ノ議事及決議ノ要領書(株式合資會社ニ在リテハ無限責任社員ノ同意書ノ謄本添附)ヲ添附シ延長線路ノ工事施行ノ認可申請書又ハ改良工事ノ認可申請書ト同時ニ之ヲ提出スヘシ

第二十八條 社債募集ノ認可申請書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 社債募集ヲ要スル事由
 - 二 社債ノ總額
 - 三 各社債ノ金額
 - 四 社債ノ利率
 - 五 社債募集ノ始期及終期
 - 六 社債元利償還ノ方法及期限
- 前項ノ認可申請書ニハ株金ノ總額及拂込額並償還ヲ了ヘサル社債ノ登記抄本ヲ添附スヘシ
- 第二十九條 兼業ノ認可申請書ニハ興業費ノ豫算書(内譯及財源ヲ記載スルコト)及營業收支概算書ヲ添

附スヘシ

第三十條 會社合併ノ認可申請書ニハ合併ノ事由及方法ヲ具シ合併契約書ノ謄本ヲ添附シ地方長官ヲ經由シ之ヲ提出スヘシ

第三十一條 工事施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ主任技術者ヲ置キ技術ニ關スル事項ヲ擔任セシムヘシ
主任技術者ヲ置キタルトキハ遲滯ナク其ノ履歷書ヲ添附シ監督官廳ニ之ヲ届出ツヘシ之ヲ變更シタルトキ亦同シ

主任技術者ヲ不適任ト認ムルトキハ監督官廳ハ其ノ解任ヲ命スルコトアルヘシ

第三十二條 鐵道ノ讓渡、貸借又ハ營業若ハ運轉ノ管理ノ委託若ハ其ノ受託ノ許可申請書ハ連署ノ上左ノ書類ヲ添附シ之ヲ提出スヘシ

- 一 株主總會ノ議事及決議ノ要領書(株式合資會社ニ在リテハ無限責任社員ノ同意書ノ謄本添附)
- 二 組合員又ハ社員ノ同意書ノ謄本
- 三 讓渡、貸借又ハ管理委託ニ關スル契約書ノ謄本

鐵道ノ讓渡許可申請書ハ地方長官ヲ經由スヘシ

第三十三條 車輛ノ讓渡又ハ貸渡ヲ爲サムトスルトキハ其ノ契約ノ要領ヲ記載シ認可ヲ受クヘシ但シ二月以内ノ貸渡ハ此ノ限ニ在ラス

第三十四條 旅客運賃ノ認可申請書ニハ哩制ニ在リテハ對哩運賃(第十二號様式ニ依ル)區間制ニ在リテハ各區間ノ運賃、均一制ニ在リテハ均一運賃ヲ記載シ各驛ノ實測換算中心哩程表(第十三號様式)及營

業哩程表(第十四號樣式)ヲ添附スヘシ

第三十五條 荷物運賃ノ認可申請書ニハ手荷物、小荷物及大貨物ヲ區別シ哩制ニ在リテハ對哩運賃、均

一制ニ在リテハ均一運賃並荷物ノ品種及等級ヲ記載シ計算方法(計算上生シタル厘以下ノ取捨重量、

容積ノ計算方法等ヲ説明スルコト)ヲ附記スヘシ

大貨物ニ關シ別ニ營業哩程ヲ制定セントスルトキハ其ノ增加割合ヲ前項ノ申請書ニ記載シ計算方法

(割増ニ依リテ生シタル哩以下端數ノ取捨)ヲ附記スヘシ

第三十六條 旅客運賃又ハ荷物運賃ヲ變更セムトスルトキハ其ノ理由ヲ具シ變更後ニ於ケル收支豫算書

ヲ添附シ監督官廳ノ認可ヲ受クヘシ

第三十七條 前三條ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケタル運賃ヲ實施シタルトキハ其ノ月日ヲ記載シ各驛間ノ旅

客運賃表(第十五號樣式)及大貨物營業哩程表(第十六號樣式)ヲ添附シ之ヲ届出ツヘシ

第三十八條 現ニ營業中ノ線路ニ於テ新設シタル停車場又ハ停留場ニ係ル旅客運賃又ハ荷物運賃ヲ認可

ヲ受ケタル方法ト同一方法ニ依リ制定シタルトキハ實測換算中心哩程表、營業哩程表、各驛間ノ旅客

運賃表及大貨物營業哩程表ヲ添附シ實施ノ月日ヲ監督官廳ニ届出ツヘシ

前項ノ規定ハ停車場又ハ停留場ノ實測換算中心哩程ニ異動ヲ生シタル場合ニ之ヲ準用ス但シ營業哩程

ニ變更ヲ生セサルトキハ營業哩程表、各驛間ノ旅客運賃表及大貨物營業哩程表ノ添附ヲ要セス

第三十九條 運輸ニ關スル料金ノ認可申請書ニハ其ノ種類及金額ヲ記載スヘシ

運輸ニ關スル料金ヲ變更セムトスルトキハ其ノ理由ヲ具シ監督官廳ノ認可ヲ受クヘシ

前二項ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケタル料金ヲ實施シタルトキハ其ノ月日ヲ記載シ之ヲ届出スヘシ

第四十條 旅客列車及混合列車ノ發著時刻及度數ノ認可申請書ニハ發著時刻表(第十七號樣式)運行圖表

(第十八號樣式)及運轉速度表(第十九號樣式)ヲ添附スヘシ

第四十一條 旅客列車及混合列車ノ發著時刻及度數ヲ變更セムトスルトキハ其ノ理由ヲ具シ變更發著時

刻表、新舊對照運行圖表及運轉速度表ヲ添附シ監督官廳ノ認可ヲ受クヘシ但シ度數ノ増減、各驛間ノ

上下列車最少運轉時分ノ短縮又ハ行違驛ノ新設ナキトキハ此ノ限ニ在ラス

前項但書ノ場合ニ於テハ變更ノ理由ヲ具シ變更發著時刻表及運行圖表各三部並新舊對照運行圖表ヲ添

附シ實施ノ月日ヲ届出ツヘシ

第四十二條 前二條ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケタル發著時刻及度數ヲ實施シタルトキハ其ノ月日ヲ記載シ

發著時刻表及運行圖表各三部ヲ添附シ之ヲ届出ツヘシ

第四十三條 貨物列車ノ發著時刻表及度數ヲ定メタルトキハ發著時刻表、運行圖表及運轉速度表ヲ添附

シ實施ノ月日ヲ監督官廳ニ届出ツヘシ之ヲ變更シタルトキ亦同シ

第四十四條 天災事變其ノ他已ムコトヲ得サル事由ニ因リ一時旅客列車及混合列車ノ發著時刻及度數ヲ

變更シタルトキハ其ノ理由ヲ具シ發著時刻表ヲ添附シ遲滞ナク監督官廳ニ之ヲ届出ツヘシ

第四十五條 營業ノ休止又ハ廢止ノ許可申請書ハ其ノ理由ヲ具シ地方長官ヲ經由シ之ヲ提出スヘシ

會社解散ノ決議認可申請書ニハ其ノ理由ヲ具シ社員ノ同意書又ハ株主總會ノ議事及決議ノ要領書(株

式合資會社ニ在リテハ無限責任社員ノ同意書ノ謄本添附)ヲ添附シ地方長官ヲ經由シ之ヲ提出スヘシ

第四十六條 第二十七條、第三十二條及前條ノ株主總會ノ議事及決議ノ要領書ニハ左ノ事項ヲ附記スヘシ

- 一 資本ノ總額
 - 二 株式ノ總數
 - 三 株主ノ總數
 - 四 出席株主ノ總數
 - 五 出席株主ノ有スル株式ノ總數
- 第四十七條 列車ノ衝突、脱線及顛覆、機關車ノ汽罐破裂、十二時間以上列車運轉不能其ノ他ノ重大ナル事故ハ即時電信、電話又ハ口頭ヲ以テ報告スルノ外五日以内ニ第二十號様式ニ依リ監督官廳ニ之ヲ届出ツヘシ
- 前項以外ノ事故ハ一月分ヲ取纏メ翌月十五日限り第二十一號様式ニ依リ之ヲ届出ツヘシ
- 第四十八條 他ノ鐵道又ハ軌道ト連絡運輸又ハ直通運輸ヲ爲ストキハ左ノ事項ヲ記載シ契約書ノ謄本ヲ添附シ實施後一週間内ニ監督官廳ニ之ヲ届出ツヘシ
- 一 連滯驛名
 - 二 旅客及荷物ノ取扱方法
 - 三 賃金割賦方法
 - 四 共用停車場、倉庫等ニ關スル使用料其ノ他ノ事項

- 五 線路及車輛ノ使用料並遲滯料ニ關スル事項
- 六 運輸上ノ責任負擔方法
- 七 運輸開始ノ年月日

◎直通貨車設計ノ申請並届出手續ニ關スル件(大正十三年九月十一日鐵運乙第三) 四五二號運輸、監督兩局長通牒 五八

第四十九條 鐵道業者ハ每營業年度經過後二月内ニ營業報告書及統計報告書ヲ調製シ監督官廳ニ之ヲ提出スヘシ

第五十條 地方鐵道業者ハ鐵道臺帳ヲ調製シ之ヲ備ヘ置クヘシ

第五十一條 地方鐵道會社ハ商法ニ依ル登記ヲ爲シタルトキ又ハ定款ヲ變更シタルトキハ監督官廳ニ之ヲ届出スヘシ

第五十二條 免許失效シタルトキハ遲滯ナク地方長官ヲ經由シ免許狀ヲ返納スヘシ

附 則

本令ハ大正八年八月十五日ヨリ之ヲ施行ス
私設鐵道法施行規則、輕便鐵道法施行規則、鐵道事故届出ニ關スル規程、鐵道臺帳規程及鐵道統計規程ハ之ヲ廢止ス
舊令ニ依リテ爲シタル處分、手續其ノ他ノ行爲ハ本令中之ニ相當スル規定アル場合ニ於テハ本令ニ依リテ之ヲ爲シタルモノト看做ス

◎專用鐵道規程(大正八年八月十三日閣令第一九號)

- 第一條 本規程ハ道府縣其ノ他ノ公共團體又ハ私人カ専用ニ供スル爲敷設スル鐵道ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノニ之ヲ適用ス
- 一 公衆ノ用ニ供スル鐵道又ハ軌道ト直通スルモノ
 - 二 公衆ノ用ニ供スル鐵道又ハ軌道ト連絡スルモノ但シ人力又ハ馬力ヲ動力トスルモノヲ除ク
 - 三 前各號ノ専用鐵道ト直通スルモノ
- 第二條 専用鐵道ヲ敷設セムトスル者ハ申請書ニ使用ノ目的ヲ記載シ鐵道ヲ敷設セムトスル地ヲ管轄スル地方長官ヲ經由シ左ノ書類及圖面ヲ提出シ主務大臣ノ免許ヲ受クヘシ
- 一 線路實測圖
 - 二 工事方法書
 - 三 建設費豫算書
 - 四 他ノ鐵道又ハ軌道ト連絡又ハ直通ニ關スル協定書ノ謄本
- 第三條 免許ニハ工事ノ著手及竣工ノ期限ヲ附ス
- 前項ノ期限ハ天災事變其ノ他已ムコトヲ得サル事由アル場合ニ限り其ノ伸長ヲ申請スルコトヲ得
- 第四條 工事ニ著手シタルトキハ一週間以内ニ監督官廳ニ之ヲ届出ツヘシ
- 第五條 免許ヲ受ケタル者ハ運轉、信號及列車保安ニ關スル規定ヲ定メ監督官廳ノ認可ヲ受クヘシ之ヲ

- 變更スルトキ亦同シ
- 第六條 専用鐵道ノ運轉ノ管理ノ委託ヲ爲サムトスルトキハ申請書ニ運轉ノ管理ノ委託ニ關スル協定書ノ謄本ヲ添附シ監督官廳ノ許可ヲ受クヘシ
- 第七條 運輸ヲ開始シタルトキハ遲滞ナク監督官廳ニ之ヲ届出ツヘシ
- 第八條 専用鐵道ヲ讓渡セムトスルトキハ讓受人ト連署シ鐵道ヲ敷設スル地ヲ管轄スル地方長官ヲ經由シ監督官廳ノ許可ヲ受クヘシ
- 第九條 専用鐵道ハ監督官廳ノ認可ヲ受クルニ非サレハ使用ノ目的ニ屬セサル物品運送ノ用ニ供スルコトヲ得ス
- 第十條 監督官廳ハ公益上必要アリト認ムルトキハ工事方法、運轉、信號又ハ列車保安方法ノ變更ヲ命スルコトヲ得
- 第十一條 免許ヲ受ケスシテ専用鐵道ヲ敷設シ又ハ認可ヲ受ケスシテ運輸ヲ開始シタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス
- 前項ノ規定ハ公共團體カ専用鐵道ヲ敷設スル場合ニ之ヲ適用セス
- 第十二條 地方鐵道法第十一條、第十六條、第十七條、第十九條第一項第三號、同條第二項、第二十條、第二十三條、第二十五條、第三十七條第一項、第三十九條、第四十條、地方鐵道法施行規則第三條、第十一條、第十二條、第十七條、第十八條、第二十條、第二十一條、第二十六條、第五十二條、地方鐵道建設規程第十九條、第二十一條、第三十條ノ規定ハ専用鐵道ニ之ヲ準用ス

附 則

本令ハ大正八年八月十五日ヨリ之ヲ施行ス
專用鐵道規則ハ之ヲ廢止ス

本令ニ依リ免許、許可又ハ認可ヲ受クヘキ事項ニシテ舊規則ニ依リ免許、許可又ハ認可ヲ受ケタルモ
ノハ本令ニ依リ免許、許可又ハ認可ヲ受ケタルモノト看做ス

舊規則ニ依リテ爲シタル處分、手續其ノ他ノ行爲ハ本令中之ニ相當スル規定アル場合ニ於テハ本令ニ
依リテ之ヲ爲シタルモノト看做ス

◎内務省ニ於テ敷設スル鐵道ト一般交通ノ用ニ供スル鐵道

ト 接續ニ關スル件(大正六年二月十六日監第六〇號)
内務次官宛鐵道院副總裁照會

將來貴省ニ於テ敷設セラルル鐵道ニシテ一般運送ノ用ニ供スル鐵道ニ接續スル場合ハ線路圖面及工事
方法書ヲ添ヘ該鐵道ノ軌道幅員線路起終點並ニ其ノ經過地等豫メ照會相成候様致度

◎地方鐵道法第四條但書ニ依ル線路敷設ノ許可手續

(明治四十三年八月二日)改(大正八年八月内)
日内務省令第二七號)正(務省令第九號)

第一條 地方鐵道法第四條但書ニ依リ線路敷設ノ許可ヲ得ントスル者ハ道路上ニ敷設スル必要ナル事由
ヲ詳記シ左ノ書類及圖面ヲ具シ敷設地ノ地方長官ヲ經由シテ内務大臣ニ申請スヘシ

一 起業目論見書

二 工事方法概略書

三 全線路ノ豫測平面圖及道路上ニ敷設ス可キ線路ノ豫測圖並説明書

四 道路上ニ於ケル敷設費ノ概算書

第二條 全線路ノ豫測平面圖ハ縮尺一吋三十釐(二萬分ノ一)ヲ以テ代用スルコトヲ得トシ沿線ノ地勢市
街村落附近ノ道路及既設又ハ未設ノ鐵道又ハ軌道及其ノ名稱ヲ記入スヘシ

第三條 道路上ニ敷設スヘキ線路ノ豫測圖ハ左ノ二種トス

一 豫測平面圖

縮尺ハ五千分ノ一トシ鐵道ノ中心線ハ赤色ヲ以テ之ヲ彩リ鐵道ヲ敷設セントスル國道縣道里道ノ分
界並其ノ地名及沿線ノ地勢市街村落附近ノ道路又ハ既設若ハ未設ノ鐵道又ハ軌道及其ノ名稱等ヲ明
ニシ距離ハ百間毎ニ記入ス可シ

二 豫測縱斷面圖

縮尺ハ平面圖ト同一ニシ高ハ縮尺五百分ノ一トシ鐵道中心線路面ノ高低(黑色)鐵道面ノ高低(赤色)
及隧道橋梁ノ長鐵道ノ勾配並其ノ距離ヲ記入ス可シ

第四條 線路豫測圖ノ説明書ニハ沿線ノ地勢及線路撰定ノ理由ヲ詳記シ附近ノ道路、市街、村落、池沼、

河川、港灣、社寺、公園、名所、舊蹟、學校、病院、兵營、工場等重ナルモノトノ關係ヲ説明スヘシ
第五條 道路上ニ於ケル敷設費ノ概算書ニハ其ノ總額及用地、橋梁、溝渠、伏樋、隧道、軌道、土工、

雜費其ノ他各種ノ項目ニ區別シ其ノ金額ヲ記載スヘシ
第六條 本則ニ規定シタルモノノ外必要ナル事項ハ許可ノ際命令書ヲ以テ之ヲ定ム

◎地方鐵道法第四條但書ニ依リ線路敷設許可申請アル場合

進達方ノ件 (明治四十三年八月二日)改(大正八年八月) (月同第九號)

地方鐵道法第四條但書ニ依リ線路敷設ノ許可ヲ申請スル者アルトキハ明治三十四年本省訓令第十七號ニ準シ意見書ヲ調製シ命令書案ヲ添附シテ之ヲ本大臣ニ進達ス可シ

◎輕便鐵道抵當ノ疑義ニ關スル件 (大正三年一月十二日監輕第四〇六號ノ)

客年十月十一日附ヲ以テ何出相成候輕便鐵道抵當ニ關スル疑義ノ件前後段共御見解ノ通
耶馬溪鐵道株式會社伺

輕便鐵道抵當ニ關シテハ輕便鐵道法第七條及ヒ同法施行規則第二十七條ノ規定有之候處右ハ線路敷設中一部營業開始ノ場合ハ其ノ營業開始ノ部分ニ對シテハ財團ヲ組成シ抵當權ヲ設定シ得ル義ニ候哉又工事中未タ一部ノ營業ヲモ開始セサル場合ニ於テモ右同様抵當權ヲ設定シ得ル義ニ候哉差當リ疑義相生シ候間何分ノ義御指示煩度奉願候也

◎電氣ヲ原動力トスル鐵道及輕便鐵道ノ免許假免許及許可

ノ場合通報ノ件 (明治四十四年十二月二十五日監乙第)

本月十二日附電監乙第一九三八號ヲ以テ御照會ノ趣了承右ハ其ノ都度御通知可致候

逋信省電氣局長照會

電氣ヲ原動力トスル鐵道、輕便鐵道ニ關シ免許、假免許及許可等ノ處分ヲ與ヘラレタルトキ又ハ其ノ處分ノ效力ヲ失ヒタル等ノ場合ニハ其ノ都度左記事項御通知相煩度候

- 一 起業者名
- 二 線路ノ起點及終點
- 三 處分ノ年月日

◎輕便鐵道線路及設計變更運轉開始免許失效ノ場合通報ノ件

(明治四十三年九月二十九日監第一四) (〇七號陸軍次官宛鐵道院副總裁回答)

輕便鐵道ニ關スル事項通報方ノ件本年九月十九日附陸軍普第三八二五號照會ノ趣了承左記ノ通可取計候條御承知相成度候

- 一 免許前線路略圖ヲ附シ通報スヘシ
- 二 設計ノ概要ニ就テハ後日工事施行認可申請アリタル際其旨可及通報候條貴省ヨリ主任官差遣ノ上調査セシメラレ度

- 三 運轉開始、免許失效等ノ場合ハ官報ニ就キ承知アリタシ
- 四 私設鐵道法ニ依レル鐵道及軌道條例ニ依レル軌道ヲ輕便鐵道ニ指定シタル場合ハ通報スヘシ
- 五 線路及設計ノ變更ニ付テハ全然線路ノ方向ヲ變更シテ經過地ヲ改ムルモノニ限り通報スヘシ

陸軍次官照會 (明治四十三年九月十日)
 (九日第三八二五號)

輕便鐵道法ニ依ル輕便鐵道ニ關スル事項ハ貴院限リ處理セララルコトニ相成居候處軍事交通調査上必要有之候ニ付免許前豫メ其ノ線路及設計ノ概要ヲ承知致度尙又其後線路若ハ設計ノ變更、運轉開始免許失效ノ場合ニハ其ノ都度通報相成候様致度候也

追テ從來私設鐵道法ニ依レル鐵道、軌道條例ニ依レル軌道ニシテ輕便鐵道法ノ支配ヲ受クルコトニ變更セルモノヲモ通報相成度候也

◎輕便鐵道工事施行ニ關シ通報方ノ件

(明治四十五年七月二十四日監第一二二)
 (三七號陸軍次官宛鐵道院副總裁回答)

本年六月二十二日陸普第二二〇四號輕便鐵道工事施行認可ノ際ニ於ケル事務取扱ニ關スル回答並照會ノ件了承私設輕便鐵道ニ在リテハ工事施行認可前豫メ通報シ官設輕便鐵道ニ在リテハ普通鐵道ニ準シ通報スルコトトシ尙官設輕便鐵道既設ノ分ハ此際略圖ニ記入送付可致候

陸軍次官照會 (明治四十五年六月十二日第二二〇四號)

輕便鐵道工事施行認可ノ際ニ於ケル事務取扱方ノ件ニ關シ監第五七四號照會ノ趣一應了承右ハ從前ノ通工事施行認可前貴院ヨリ通知ヲ受ルコトナク當省ニ於テ調査ノ必要ヲ認ムル場合ニ限リ主任官ヲ差遣シ其ノ他ノ場合ニ在リテハ直ニ異存ノ有無ヲ回答シ便宜ノ節主任官ヲ差遣調査セシムル様致度尙官設輕便鐵道ニ在リテモ私設ノモノニ準シ取扱相成度從テ從來既ニ敷設ノモノハ此ノ際略圖ヲ以テ通報相成様致シ度此段回答旁及照會候也

追テ去ル明治三十一年六月鐵第六七六號遞信大臣ヨリ當省大臣宛回答中第二、三、四項ニ對スル事項ハ漏ナク通報相成度申添候

◎河川ノ水理ニ關係アル鐵道工事施行ニ關スル件

(大正九年五月十五日發土第四四)
 (號各地方長官宛土木局長通牒)

當省直轄河川其ノ他河川法ヲ施行シ若ハ同法ノ規定ヲ準用スル河川ノ水理ニ關係アル左記ノ箇所ニ官設鐵道工事ヲ施行スル場合ハ其ノ新設タルト改良タルト將又變更タルトヲ問ハス設計確定前所管管理局長、建設事務所長又ハ改良事務所長ヨリ貴官ヘ直接協議ヲ爲スヘキコトニ鐵道院ト協定ヲ了シ候ニ付右協議ヲ受ケラレタル場合ニハ水理上ノ關係御調査ノ上回答前御意見ヲ詳具シ當省大臣ヘ稟伺相成度又該箇所ニ施行スル私設鐵道工事ニ關シ地方鐵道法施行規則第十條及第十七條第三項ノ規定ニ依ル申請書貴

官經由ノ場合ニ於テ同様調査ヲ遂ケ御意見ヲ詳具シ當省大臣ノ指揮ヲ受ケラレタル上申請書御進達相成度

追テ當省ニ於テ改修工事ヲ施行スル河川ノ水理ニ關係アル事件ニ付本文ノ稟伺ヲ爲シ又ハ指揮ヲ受ケラルルモノハ總テ當省土木出張所ヲ經由相成度

記

- 一 河川法ヲ施行シ若ハ同法ノ規定ヲ準用スル河川(水流水面ヲ含ム)ノ幹、支、派川筋全部
- 二 前項河川ノ水源山地及洪水ノ氾濫區域堤防ノ破壊シタル場合ニ於テ其ノ箇所ヨリ洩水氾濫スヘキ區域ヲ含ム
- 三 河川法ヲ施行シ若ハ同法ノ規定ヲ準用スル河川ノ河川附近ノ土地及新ニ河川トナルヘキ區域

◎河川ノ水理ニ關係アル鐵道工事施行ニ關スル件

(大正十四年九月二十二日發土第三) 一號各府縣知事宛土木局長通牒

大正九年五月十五日發土第四四號ヲ以テ標記ノ件ニ付及通牒置候處爾今左記各號ニ該當スルモノニ限り稟伺ノ上處分相成其ノ他ノ事項ニ付テハ貴官限り御處理相成可然

追テ本文ノ稟伺ニ付テハ河川法第八條第一項ノ規定ニ依ル河川工事施行區域ニ屬スルモノニ限り當省土木出張所ヲ經由相成貴官限り處理セラルルモノニ付テハ出張所ト協議可相成

記

一 河川ニ關スル法令及訓令通牒ニ依リ内務大臣ニ稟伺ヲ要スヘキ事項

二 多量ノ土砂ヲ河川ニ流入セシムルノ虞アル工事及河川ノ流水斷面積又ハ堤内地若ハ堤外地ニ於ケル氾濫區域ヲ著シク縮小スルノ虞アル工事

◎河川ノ水理ニ關係アル鐵道工事施行ニ關スル件

(大正九年五月十五日發土第四四號) 各土木出張所長宛土木局長通牒

當省直轄河川ノ水理ニ關係アル鐵道敷設ノ場合ニ於テハ當該鐵道官廳ヨリ當省ニ協議ヲ爲スヘキコトニ相成居候處今般鐵道院ト協議ノ上右手續ヲ廢シ別紙寫ノ通地方長官ヘ依命通牒候ニ付テハ自今該通牒追書ニ基キ當省ヘ提出スヘキ書類貴官經由ノ場合ニハ意見ヲ詳具シ進達相成度

◎河川ノ水理ニ關係アル鐵道工事施行ニ關スル件

(大正九年五月十五日發土第四四號) 號鐵道院副總裁宛土木局長通牒

客年十二月十三日發土第一四八號照會ニ對シ本月八日工第一五五號ヲ以テ御回答相成候處本日別紙寫ノ通各地方長官ニ對シ及通牒置候條御承相成度

河川ノ水理ニ關係アル鐵道工事施行稟伺ニ添附スヘキ圖面

ノ件 (大正十年四月五日發土第三六) 號各地方長官宛土木局長通牒

大正九年五月十五日發土第四四號ヲ以テ標記ノ件ニ付及依命通牒置候處右ニ依リ稟伺又ハ指揮ヲ請ハルル向ニシテ往々附屬圖書中橫斷面圖ノ添附ナキモノ有之候條自今必ス附近ノ現狀ヲモ記入シタル橫斷面圖及架橋位置附近ニ於ケル擴大平面圖添附相成度

◎地方鐵道法第二十四條ニ依ル證票樣式(大正八年九月三日鐵道院告示第七八號)

地方鐵道法第二十四條ニ依ル證票樣式左ノ通定ム

縱二寸 横三寸

第 號	氏 名
監查員證	
年 月 日	
鐵道院總裁氏名	

注 意
一 本證票ハ地方鐵道ノ監督事務ニ關シ往復スル場合ニ限り之ヲ使用スルコトヲ得
一 本證票ハ記名人以外ノ者ニ於テ之ヲ使用スルコトヲ得ス
一 本證票ヲ亡失シタルトキハ速ニ發行者ニ届出ツヘシ

◎地方鐵道法第三十一條ニ依ル營業收入及營業費計算方法

(大正九年八月九日鐵道省令第二號)

第一條 營業收入ハ客車收入、貨車收入其ノ他運輸營業上ノ諸收入トス

第二條 營業費ハ鐵道及其ノ附屬物件ノ保存復舊ノ費用、諸稅其ノ他運輸營業上ノ諸費用トス

第三條 一部買收ノ場合ニ於ケル買收及殘存區間ノ營業收入及營業費ハ營業年度毎ニ各區間ニ付之ヲ計算ス

買收及殘存區間ニ跨ル營業收入及營業費ハ左ノ各號ニ依リ營業年度毎ニ各區間ニ付之ヲ分割ス

一 客車收入ハ買收及殘存區間ニ跨ル乗客ノ各區間ニ於ケル延入哩數ニ依ル百分率

二 貨車收入ハ買收及殘存區間ニ跨ル貨物ノ各區間ニ於ケル延噸哩數ニ依ル百分率

三 前二號ニ掲クルモノ以外ノ收入ハ買收及殘存各區間ニ於ケル他ノ收入總額ニ依ル百分率

四 營業費ハ買收及殘存各區間ニ於ケル營業收入ニ依ル百分率

第四條 地方鐵道會計規程第十條乃至第十二條ノ規定ハ本令ニ依ル營業收入及營業費ノ計算ニ之ヲ準用ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

◎鐵道敷設出願ニ關シ意見開申方ノ件(大正四年六月十五日發土第五七號各地方長官宛土木局長通牒)

標記ノ件ニ關シ大正元年十二月十二日土第二八一號ヲ以テ通牒致置候次第有之候處今回更ニ當省次官ト鐵道院總裁ト別紙ノ通り照復相成候ニ付キ之ニ該當ノ出願有之候場合ハ鐵道院へ書類進達ト同時ニ其ノ要旨當省へ開申相成度

(別紙)

鐵道院總裁宛內務次官照會

私設鐵道又ハ輕便鐵道敷設ノ設計ニ對シ地方公益ニ關スル地方長官ノ意見書送付方ニ付テハ大正元年八月二十七日土第二八十一號當省照會ニ對シ同年九月七日御回答ノ次第有之候處尙左記ノ場合ニ在リテハ軌道ノ取扱上必要有之候ニ付自今其許否ニ關スル御詮議前一應御協議相成候様致度

- 一 軌道ノ特許線ト一部又ハ全部併行又ハ近接スル場合
- 二 地方長官ニ於テ軌道ニ影響アリト認メ副申シタル場合
- 三 軌道ト競願ノ場合

鐵道院總裁回答

客月十五日附發土第五七號ヲ以テ鐵道敷設出願ニ關シ御照會ノ件ハ軌道取扱上貴省土木局ト當院監督局トノ協議會席上ニテ其都度御相談スルコトニ可致候

◎鐵道敷設出願ニ關シ意見開申方注意ノ件

(大正五年四月十一日發第一五三號ノ內各地方長官宛土木局長通牒)

標記ノ件ニ關シ大正四年六月十五日發土第五十七號ヲ以テ及通牒候次第有之候處該通牒ニ該當スルモノニシテ往々當省へ開申セサル向モ有之支障不尠候間御注意相成様致度爲念通牒候也

◎地方鐵道敷設出願ニ關スル件(大正十一年四月二十日發土第三號各地方長官宛土木局長通牒)

標記ノ件ニ關シ大正四年六月十五日發土第五七號ヲ以テ意見開申方及通牒置候處地方鐵道ノ敷設ハ軌道交通ハ勿論道路交通ト密接ノ關係ヲ有スルヲ以テ自今地方鐵道敷設免許申請書ヲ鐵道大臣ニ進達セラレタルトキハ同時ニ別紙事項御報告相成度

鐵道敷設願書進達報告

出願者
敷設區
延目
軌動
間的
力的

何鐵道株式會社發起人何某外何名
自郡何町村(陸地測量部發行帝國地形圖ニ依リ明示スルコト)
至郡何町村
哩鎖節

蒸汽、電氣等ノ別

建	設	費
年	願	受
月	書	日
日	理	

建設費ニ對スル益金ノ割合
知事意見ノ概要

◎輕便鐵道法施行規則第十七條第三號解釋ニ關スル件

(大正六年十月二日成例第
三八號鐵道院議決定)

輕便鐵道法施行規則第十七條第三號ニ所謂側線トハ停車場ニ於ケル列車ノ發著若ハ通過スル線路以外ノ線路ヲ指スモノトシテ取扱可然哉

◎輕便鐵道、専用鐵道又ハ軌道車輛ノ直通運轉ニ關スル件

(大正八年一月八日成例第五
一號鐵道業者宛鐵道院通牒)

貴鐵道ニ於テ他ノ鐵道又ハ軌道ノ所屬ノ車輛ヲ直通運轉セムトスル場合ハ豫メ該車輛ノ所屬鐵道又ハ軌道名並其ノ型式稱號(型式稱號ナキモノハ車種及番號)ヲ記載シ車輛工事方法トシテ認可申請ヲ爲スヘキコトニ相成居候處自今右ノ場合ニ於テ直通運轉スヘキ車輛ノ型式稱號ニ代フルニ其ノ最大軸重ヲ明示スルコトニ改メ候條了知相成度

追テ最大軸重以下ノ車輛ニ在リテモ其ノ構造上直通運轉ニ適セサルモノアル場合ハ該車輛ノ型式稱號(型式稱號ナキモノハ車種及番號)ヲ明示シ除外スヘキ旨併記ヲ要シ候

◎蒸氣機關車汽罐々胴ノ縱繼手腐蝕並胴ノ破裂ニ關スル件

(大正十三年十月二十五日監鐵第六三
一八號鐵道經營者宛監督局長通牒)

蒸氣機關車汽罐々胴ノ縱繼手カ「ラツプジョイント」ナルトキハ其ノ繼手ニ沿ヒ腐蝕シ易ク往々罐胴破裂ノ原因ヲ爲シ最近其ノ實例モ有之候ニ付此種機關車ニ付テハ平素検査ヲ嚴密ニスルハ勿論特ニ定期検査施行期間ヲ短縮スル等相當汽罐保全ニ留意相成リ度尙將來機關車設計又ハ購入ノ際ハ此種構造ヲ避クル様注意相成度

◎地方鐵道所屬直通貨車ニ踏段及綱掛取付方ノ件

(大正十四年十月鐵道乙第四〇一號直通貨車ヲ
所有スル鐵道經營者宛運輸、監督兩局長通牒)

貨車ノ連結機取付前ニ在リテハ從業員カ聯結セル車輛間ヲ橫斷ノ際緩衝器ヲ踏段ニ利用シ又無蓋貨車棧側綱掛裝置ナキモノハ緩衝器ヲ利用シ來候處自動聯結器實施後ニ於テハ踏段若ハ綱掛ニ利用スルモノ無之尙無蓋貨車ニシテ棧ニ綱掛裝置アルモノモ綱カ解放挺ヲ支障シ不便尠カラス候ニ付當省所屬貨車ニ對シテハ別紙圖面ノ踏段並綱掛ヲ裝置スルコトト致居候貴社所有貨車ニシテ省線ニ直通スルモノニ對シテハ該圖面ニ依リ省有貨車同様右裝置ヲ施行スルコトニ御取計相成度

追テ本文裝置竣功シタルトキハ地方鐵道法施行規則第二十二條ニ依リ届出有之度

◎地方鐵道ノ工事ニ因リ必要ヲ生シタル道路河川等ノ工事ニ

關スル件

(大正八年十一月二十七日發土第一一六號各地方官宛土木、監督兩局長通牒)

標記ノ件ニ付左ノ通御承相成度

- 一 地方鐵道法施行規則第二十三條第二項ノ規定ニ所謂工事竣功ト稱スルハ當該工事ニ付所管行政廳ニ於テ竣功検査ヲ爲ス場合ニ在リテハ其ノ検査ノ完了ヲ必要トスル筋合ニ付御承相成度
- 二 地方鐵道業者ヨリ地方鐵道法第十六條ノ規定ニ依ル工事ノ竣功検査ノ申請アリタルトキハ遲滯ナク處理セラルヘキハ勿論輕易ナル事件ニ付テハ豫メ郡市町村長其ノ他地方ニ駐在スル官吏等ヘ其ノ検査ノ權限ヲ委任スル等便宜ノ方法ヲ採リ努メテ簡易迅速ニ之カ検査ヲ完了セシメ苟モ鐵道ノ運輸開始ヲ遲滯セシムルカ如キコトナキ様厚ク御注意相成度
- 三 鐵道工事ノ竣功検査ハ監督官廳ニ於テ地方官立會ノ上之ヲ行フコトト相成候ニ付其ノ機會ヲ利用シ地方鐵道法第十六條ノ規定ニ依ル工事ノ監督ニ關シ一層御注意相成度
- 四 從來鐵道業者ノ地元トノ設計協議ヲ爲スニ當リ往々地元ヨリ過大ノ要求ヲナシ爲ニ起業者ノ困惑ヲ來ス場合有之哉ニ及聞候ニ付爾今如斯コト無之様〔郡〕市町村長ニ篤ト御示達相成度尙地元トノ纏マラサル場合ニ於テハ可然御配慮相煩度

◎鐵道ノ假設工事其ノ他ニ關スル件 (大正六年二月十五日監輕第五四號鐵道院議決定)

輕便鐵道法施行規則第二十條ノ解釋及輕便鐵道ノ停車場ニ於ケル施設省略停車場ト停留場トノ區別ニ關シテハ其ノ取扱從來區々ニ相成居候處自今左ノ通心得可然哉

- 一 輕便鐵道法施行規則第二十條ニ於ケル假設工事ノ範圍ニ關スル件運轉開始後ノ假設工事ハ法文ノ文句通り總テ届出事項ト爲スコト尤モ交通上危険ナリト認ムル場合ハ直ニ其ノ使用ヲ停止シ改築ヲ命スルコト又假令一時的假設備ナリトモ交通保安上重要ナル工事ニシテ本設計ハ期限附變更ト認ムルヲ適當トスル場合ハ工事方法ノ認可ヲ申請スルコトニ致度
- 二 停車場ニ於ケル施設省略ノ件
從來許可ヲ得シテ驛員ノ常置又ハ時計ノ備付ヲ省略シタルモノアルモ自今驛員時計又ハ電氣通信設備ハ輕便鐵道營業規程第二條ニ依リ許可ヲ得ルニ非サレハ之ヲ省略スルコトヲ得サルコトニ致度
- 三 停車場ト停留場トノ區別ノ件
側線ノ有無ニ依リ之ヲ區別シ側線アルモノヲ停車場トシ側線ナキモノヲ停留場トシテ取扱フコトニ致度

◎地方鐵道法施行規則第二十六條ニ據ル他鐵道所屬車輛運轉

ニ關スル件 (大正十五年十月十八日監雜第七一二號西)

(部鐵軌懇話會宛監督、運輸兩局長回答)

本年九月十三日附同十月四日附門鐵寅發第四三四號ヲ以テ御申出ノ件軌條負擔力ノ範圍内ニ於テ貨車ノ他線運轉ノ自由ヲ認ムルコトハ輪軸距其ノ他ノ關係モアリ且ツ之方實行ハ關係法規ノ改正ヲ伴フモノニシテ直ニ實行スルコトハ困難ナルノミナラス現在ニテモ聯帶鐵道ノ車輛ニシテ乘入運轉可能ノモノニ對シ豫メ認可ヲ受ケ置クニ於テハ實際上殆ト不便ナキモノト被認候條右ニ了知相成度

申請

本會第五回定期總會ニ於テ藝備鐵道會社ヨリ提出ノ貨車及客車ハ他鐵道所屬ノモノト雖軌條負擔力ノ範圍内ニ於テ自由ニ運轉セシメ得ルコトニ關シ左記ノ通議決候間願意相達候様御取計相成度此段及申請候

記

本問題ヨリ客車ヲ除キ貨車ノミハ地方鐵道法施行規則第二十六條ノ認可ヲ要セスシテ軌條負擔力ノ範圍以内ニ於テ自由ニ運轉シ得ル様鐵道省ニ申請スルコト

◎直通貨車設計ノ申請並届出手續ニ關スル件

(大正十三年九月十一日鐵運乙第三四五二號運輸、監督兩局長通牒)

從來省線ニ直通運轉ノ貨車ヲ新造又ハ改造等ノ場合其ノ認可申請又ハ届出等ニ對シテハ大正九年十一月十七日鐵運乙第二一七號ニ依リ又貨車ヲ省線ニ直通運轉申出ノ場合ハ大正十一年八月二十一日鐵運乙第三二二〇號ニ依リ取計相成様通知致置候處自今左記ニ依リ御取計相成度

記

- 一 貨車新造又ハ改造若ハ讓受ノ認可申請又ハ届出ヲ爲ス場合ニ於テ直通運轉ニ使用スルモノ及將來直通運轉ニ使用スル見込ノモノニ對シテ認可申請ノ場合ハ大臣宛届出ノ場合ハ監督運輸兩局長宛連名何レモ正副二通ヲ監督局ヘ提出スルコト但シ添附圖面ハ一部ニテ差支ナシ
- 二 第一項ニ依ル貨車ヲ直通運轉ニ使用開始セムトスル場合又從來直通運轉ヲ爲サル貨車ヲ新ニ直通運轉ニ使用セムトスル場合ハ竣功圖(製作又ハ購入ノ際ニ於ケル設計認可年月日及同番號並無蓋貨車同手用制動機附及無蓋緩急車ニ對シテハ石炭荷重ヲ附記スルコト)ヲ添ヘ其ノ旨運輸局長宛申出ツルコト

第二號様式

營業收支概算書

鐵道

軌間 呎 吋 動力
區間 延長 哩 鎖

	數量金額割合	摘要
旅客人哩		
一哩當		
一日一哩當		
貨物噸哩		
一哩當		
一日一哩當		
旅客收入		
一哩當		
一日一哩當		
貨物收入		
一哩當		
一日一哩當		
雜收入		
收入合計		
一日一哩當		
營業費		
一日一哩當		
益金		
建設費		
建設費ニ對スル 益金割合		

第一號様式

間建設費概算書

延長 哩 鎖 鐵道

項	數量	單價	金額	摘要
測量及監督費		哩	圓	
用地費		段		
土工費		立坪		
橋梁費		延長呎		
隧道費		哩		
軌道費		哩		
停車場費		箇所		
車輛費		輛		
諸建物費				
通信線路費		哩		
電力線路費		哩		
發電所費		キロワット		
變電所費		哩		
.....				
.....				
總係費		哩		
豫備費		哩		
合計				
一哩當				

◎地方鐵道法施行規則ニ依ル各種様式